令和元年度

長泉町住民意識調査報告書

長泉町

目　次

１．調査概要 1

２．調査結果 2

▼　あなたのことについて 2

Ⅰ　あなたの定住意識について 6

Ⅱ　あなたが持っている「長泉町の印象」について 13

Ⅲ　あなたの住む地区の生活環境や自治会活動について 21

Ⅳ　町の取り組みについて 30

Ⅴ　「総合計画の指標に関する項目」などについて 34

Ⅵ　あなたの身近な緑について 68

Ⅶ　上水道について 71

Ⅷ　下水道について 73

Ⅸ　町議会について 75

３．自由意見のまとめ 78

４．調査結果のまとめと分析 79

５．調査票 83

１．調査概要

調査目的

住民の方々の定住意識や住環境への評価などの経年変化を把握するとともに、これまでの行政の取り組みに対して、どの程度満足しているか、今後どのような取り組みが重要と感じているか、などについて意識調査を行い、今後の行政施策へ反映していくことを目的としています。

調査項目

▼ 回答者のことについて
Ⅰ あなたの定住意識について
Ⅱ あなたが持っている「長泉町の印象」について
Ⅲ あなたの住む地区の生活環境や自治会活動について
Ⅳ 町の取り組みについて
Ⅴ 「総合計画の指標に関する項目」などについて
Ⅵ あなたの身近な緑について
Ⅶ 上水道について
Ⅷ 下水道について
Ⅸ 町議会について

調査設計

・調査対象：長泉町在住の20歳以上の男女
・抽出方法：無作為抽出
・対象者数：1,000人
・調査方法：郵送配布・郵送回収
・調査期間：令和元年８月２日（金）～令和元年８月19日（月）

調査結果

・発　送　数：1,000通
・有効回収数：543通
・有効回収率：54.3%

報告書を見る際の注意事項

・回答は各質問の回答者数（Ｎ）を基数とした百分率（%）で示しています。
・百分率は小数点以下第２位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
・１つの質問に２つ以上答えられる複数回答可能の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
・○の数の指定がない質問は、単数回答の質問です。
・質問文や選択肢が長い場合、グラフやコメントにおいて省略した表記をしていることがあります。

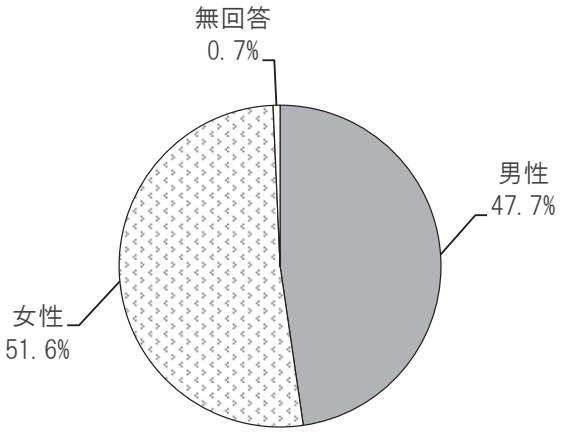
２．調査結果

▼　あなたのことについて

性別

ア　あなたの性別を教えて下さい。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

(N=543)

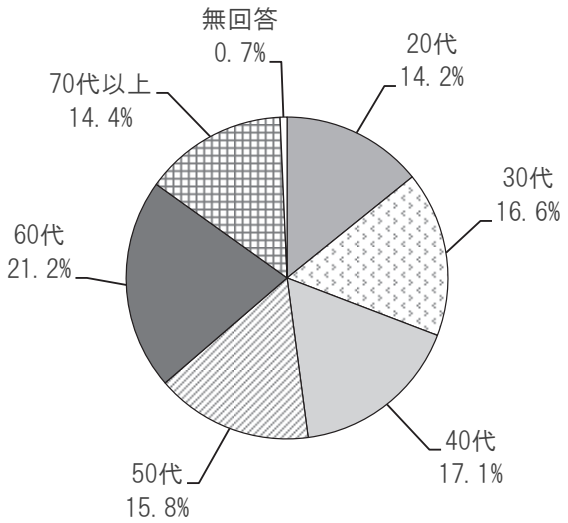


性別は、「男性」が47.7%、「女性」が51.6%となっています。

年齢（令和元年８月１日現在）

イ　あなたの年齢を教えて下さい。【８月１日現在】（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

(N=543)

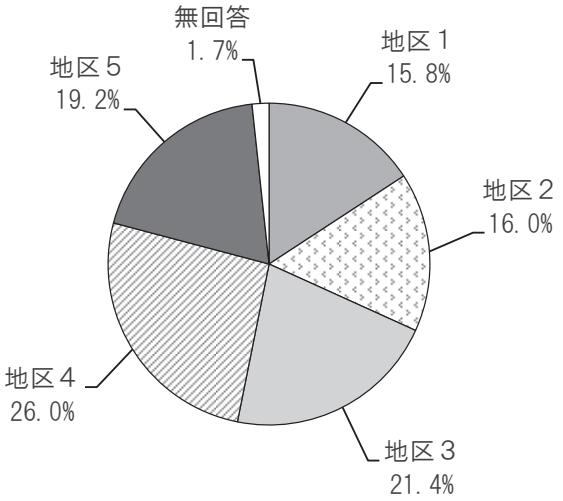


年齢（令和元年８月１日現在）は、「60代」が21.2%と最も多く、次いで「40代」が17.1%、「30代」が16.6%などとなっています。

居住地区（自治会）

ウ　お住まいの自治会を教えて下さい。（お住まいの区名に１つ○をつけて下さい）

(N=543)

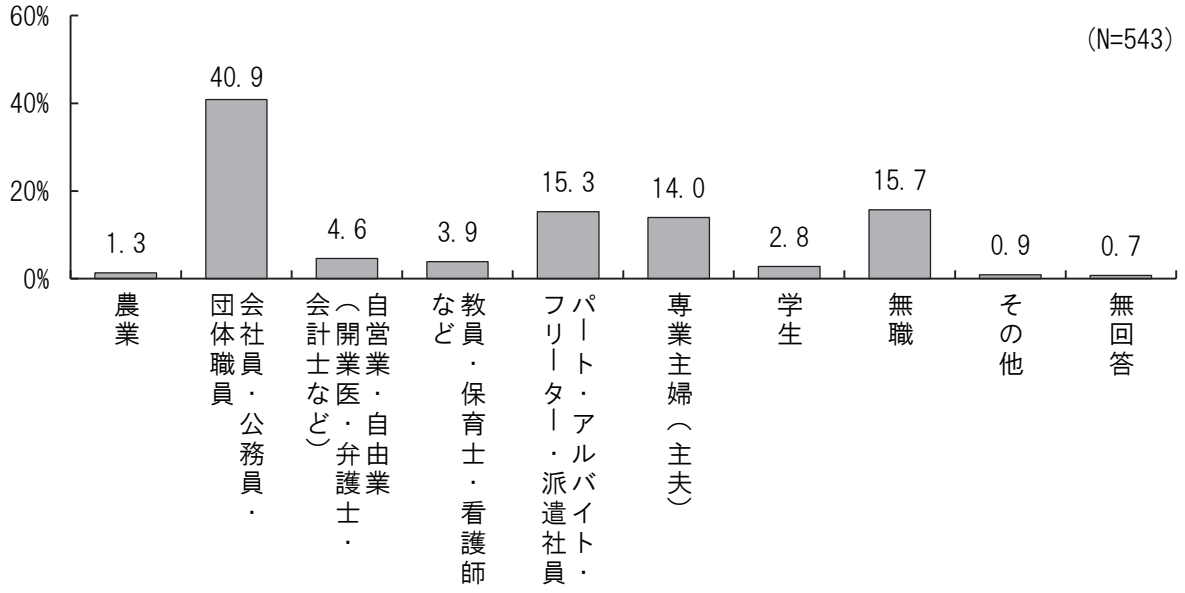


地区１	元長窪、上長窪、屋代住宅、下長窪、池田、尾尻住宅、谷津
地区２	南一色、東べ南一色、納米里、駿河平、八分平
地区３	上土狩、惣ヶ原、エンゼル、シャリエ中土狩、中土狩、東レ自治会、東
地区４	荻素、新屋町上、新屋町中、新屋町下、鮎壺、駅上、駅中、駅下、薄原上、薄原下、西、原、シャルマン、シャリエ南、シャリエ東
地区５	三軒家、エンゼル西、グランツ、杉原、原分、高田、竹原、シャルマン竹原、本宿

居住地区（自治会）は、「地区４」が26.0%と最も多く、次いで「地区３」が21.4%、「地区５」が19.2%などとなっています。

職業

エ　あなたの職業を教えて下さい。（複数該当する場合は、主な番号に１つ○をつけて下さい）

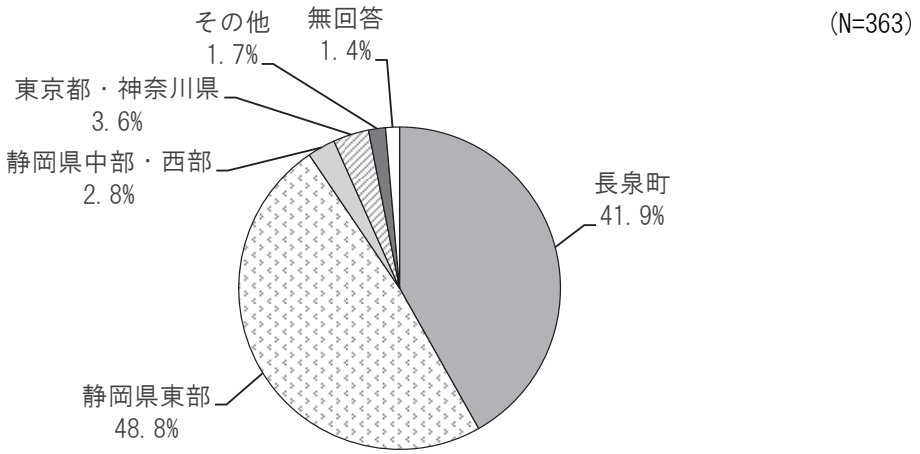


職業は、「会社員・公務員・団体職員」が40.9%と最も多く、次いで「無職」が15.7%、「パート・アルバイト・フリーター・派遣社員」が15.3%などとなっています。

勤務地

※現在働かれている方にお伺いします。

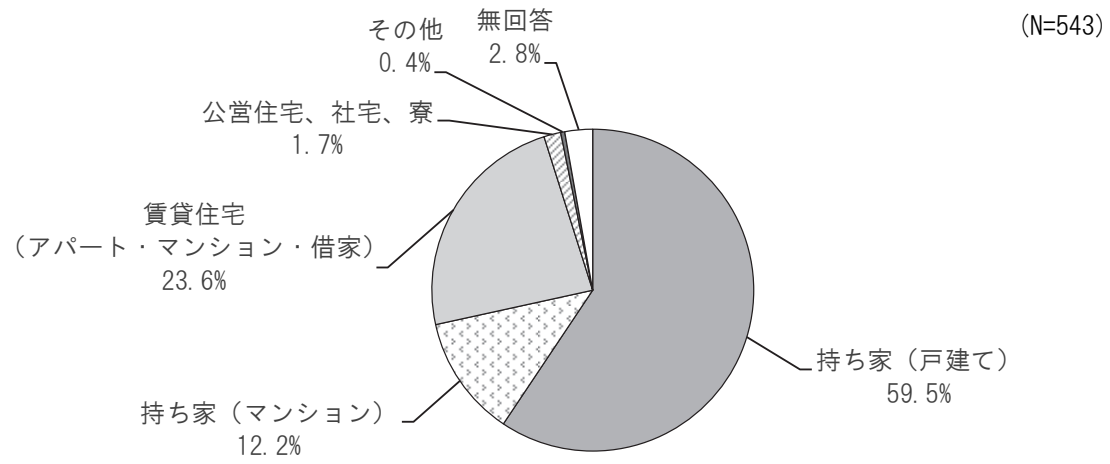
オ　現在の勤務地を教えて下さい。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



勤務地は、「静岡県東部」が48.8%と最も多く、次いで「長泉町」が41.9%、「東京都・神奈川県」が3.6%などとなっています。

住まいの形態

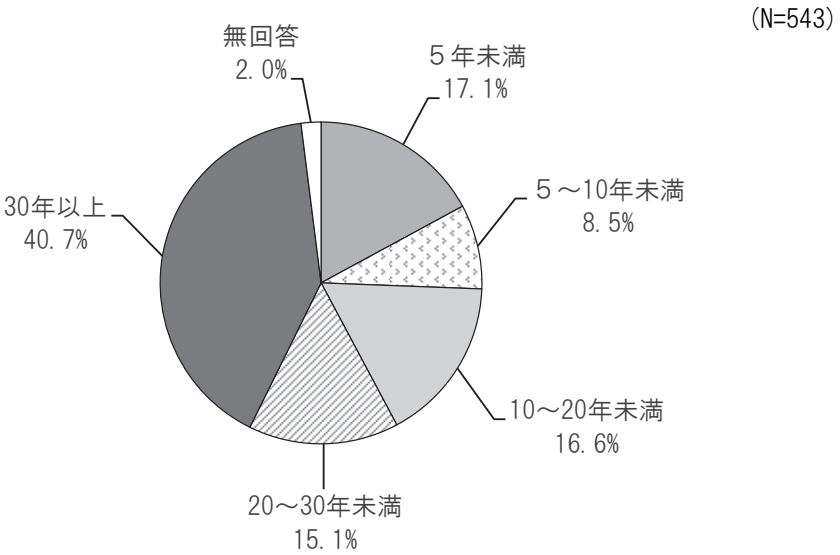
カ　あなたのお住まいの形態を教えて下さい。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



住まいの形態は、「持ち家（戸建て）」が59.5%と最も多く、次いで「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」が23.6%、「持ち家（マンション）」が12.2%などとなっています。

長泉町での居住年数

キ　長泉町にお住まいの年数を教えて下さい。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）
＜通算年数をお答え下さい。一時的に町外に住んだ時期は除きます。＞

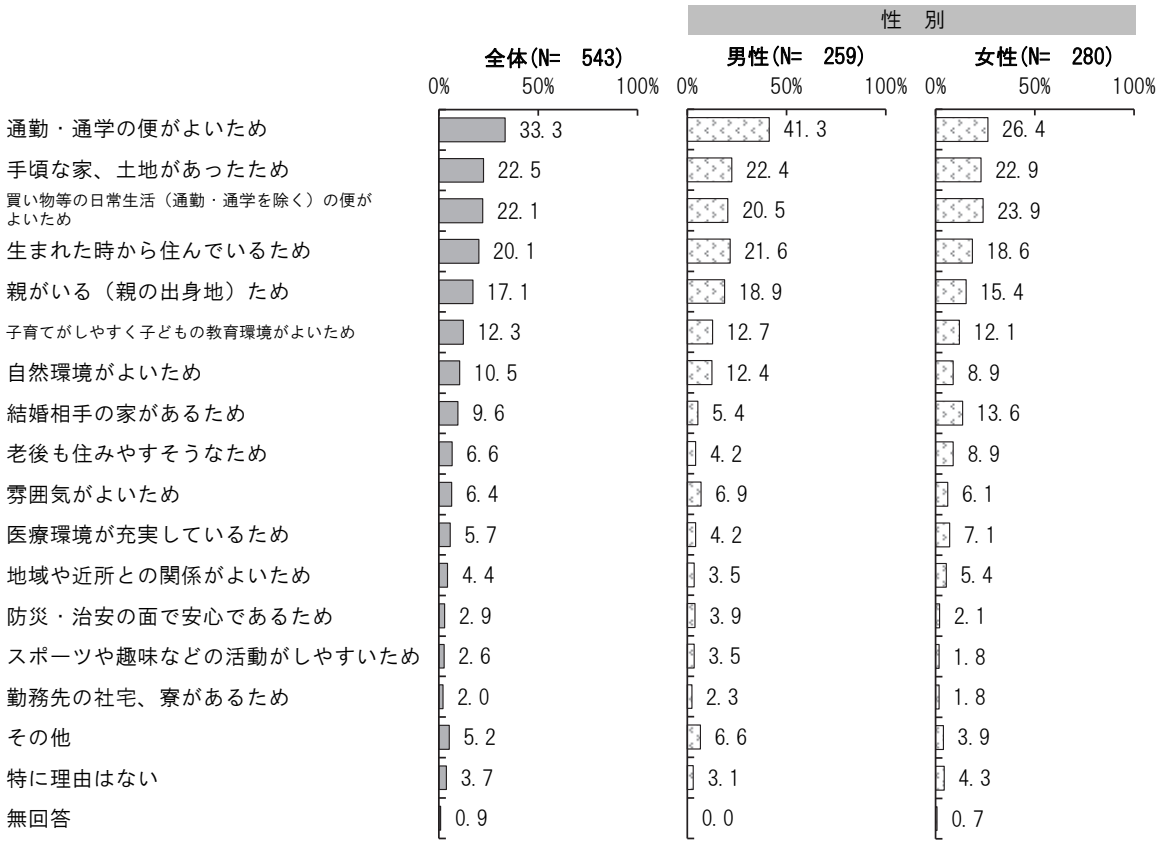


長泉町での居住年数は、「30年以上」が40.7%と最も多く、次いで「５年未満」が17.1%、「10～20年未満」が16.6%などとなっています。

Ⅰ　あなたの定住意識について

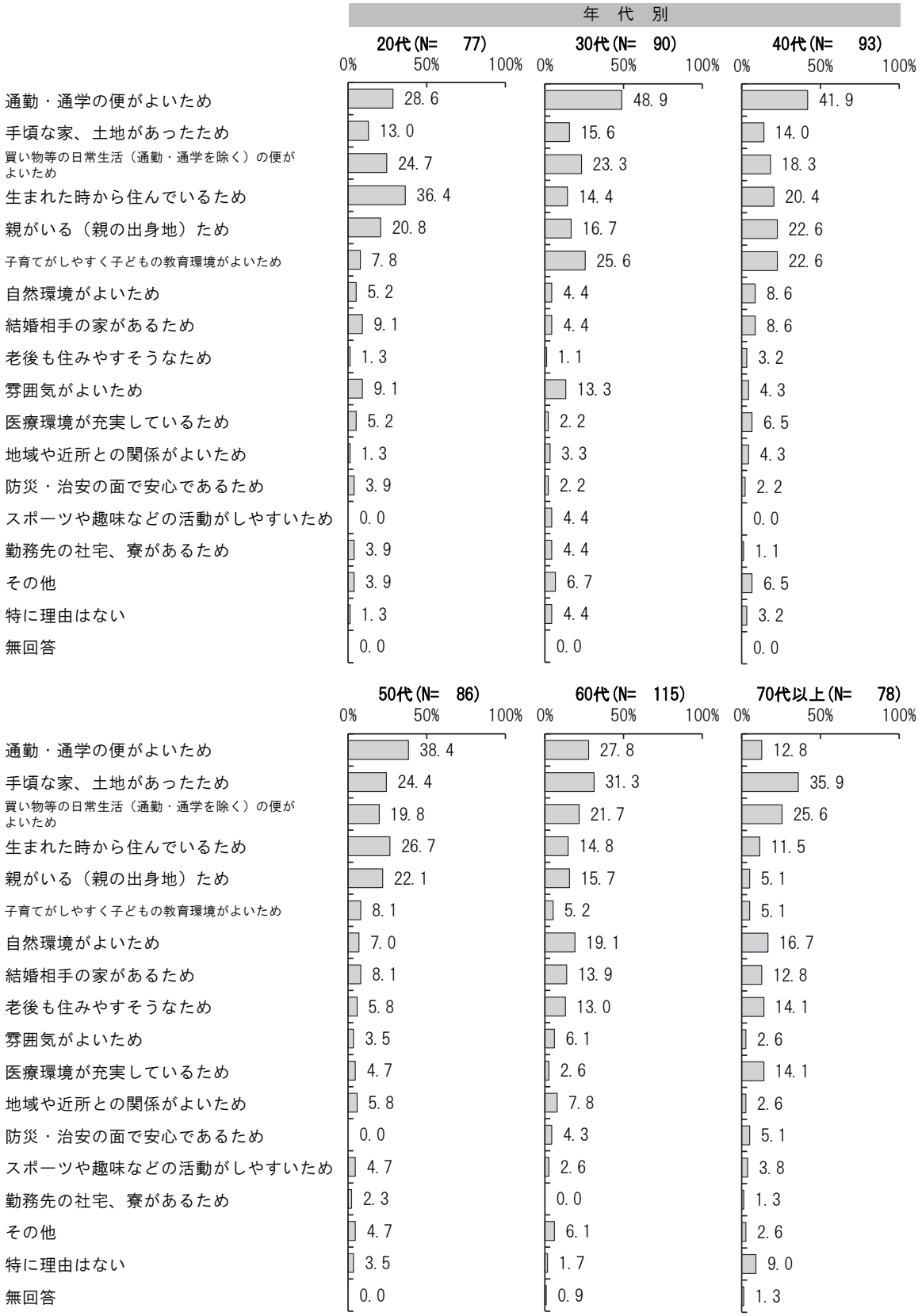
現在の地区に住んでいる理由

問１　現在の地区にお住まいの理由は何ですか。（該当する番号に３つ以内で○をつけて下さい）

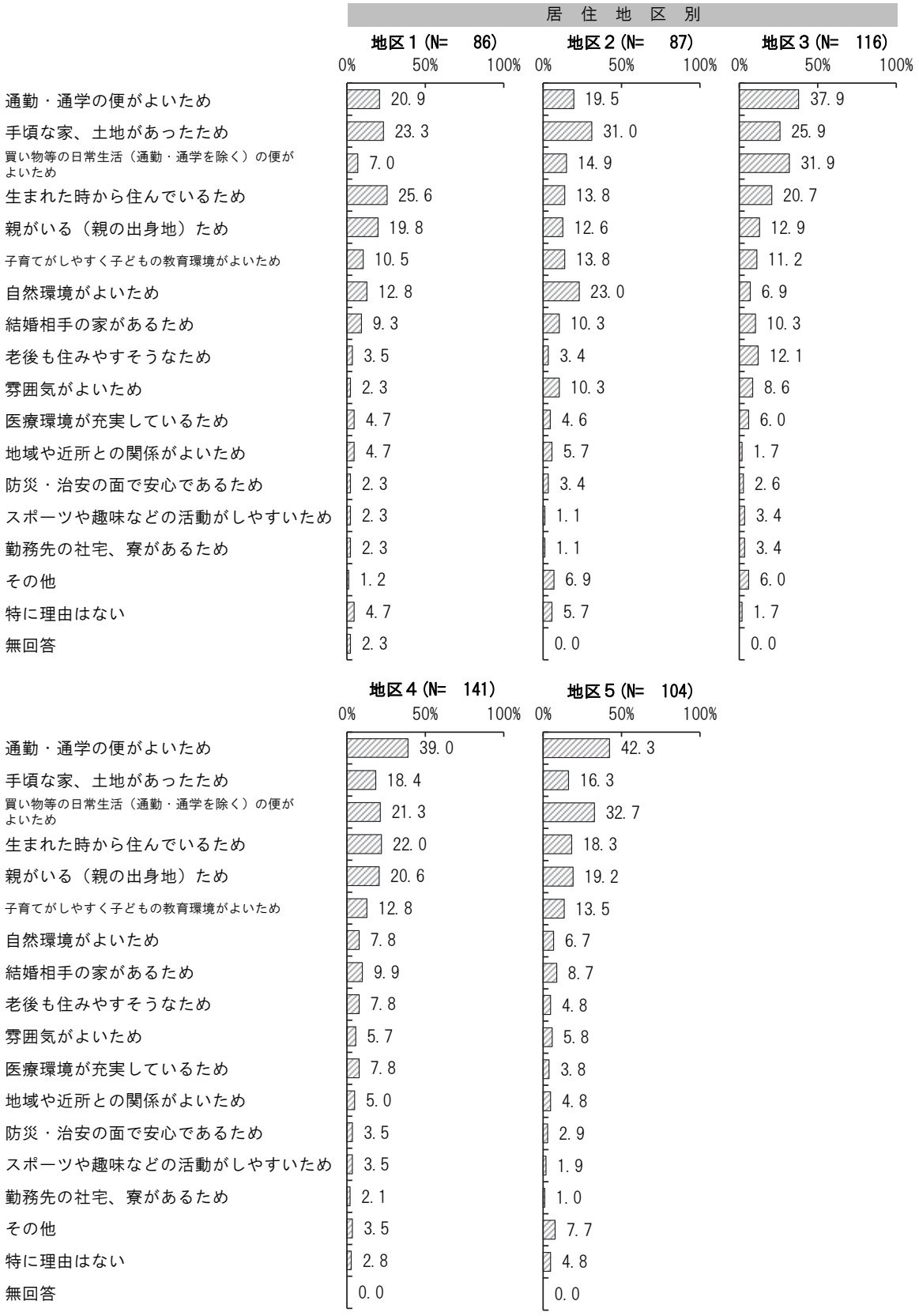


現在の地区に住んでいる理由は、「通勤・通学の便がよいため」が33.3%と最も多く、次いで「手頃な家、土地があったため」が22.5%、「買い物等の日常生活（通勤・通学を除く）の便がよいため」が22.1%などとなっています。

性別にみると、「結婚相手の家があるため」が、“女性”で13.6%と多くなっています。

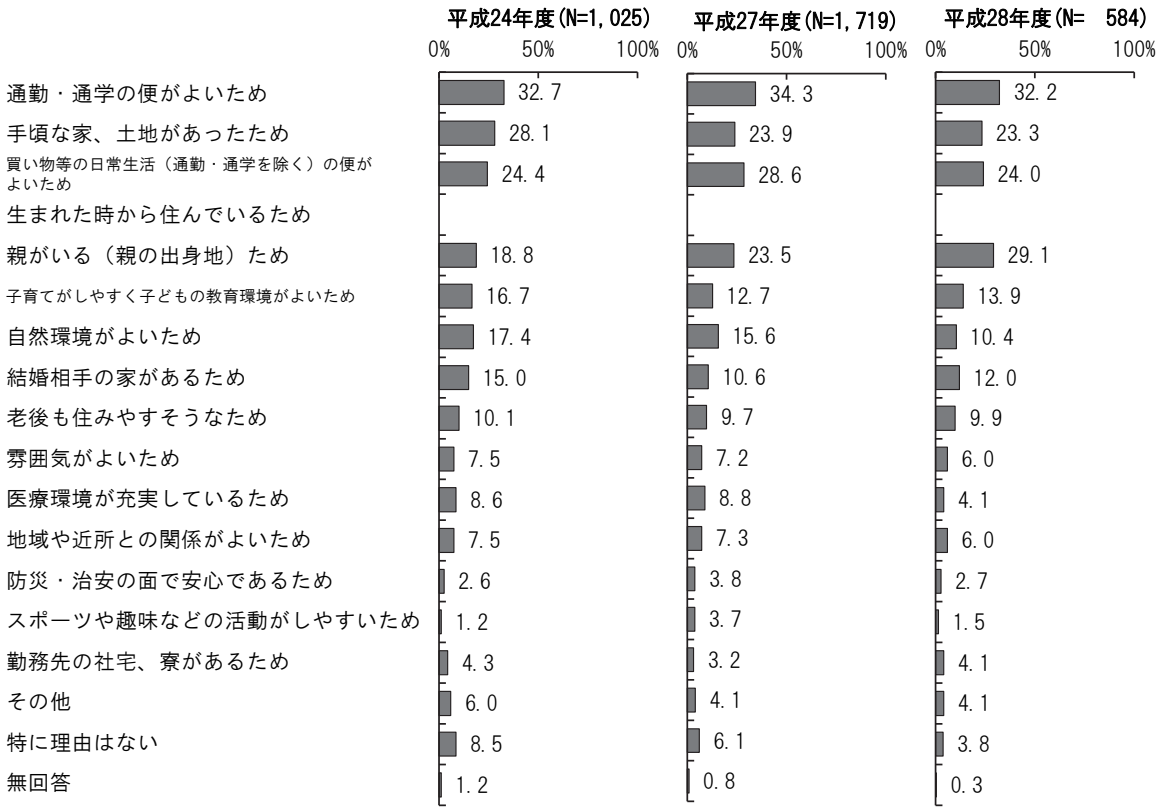


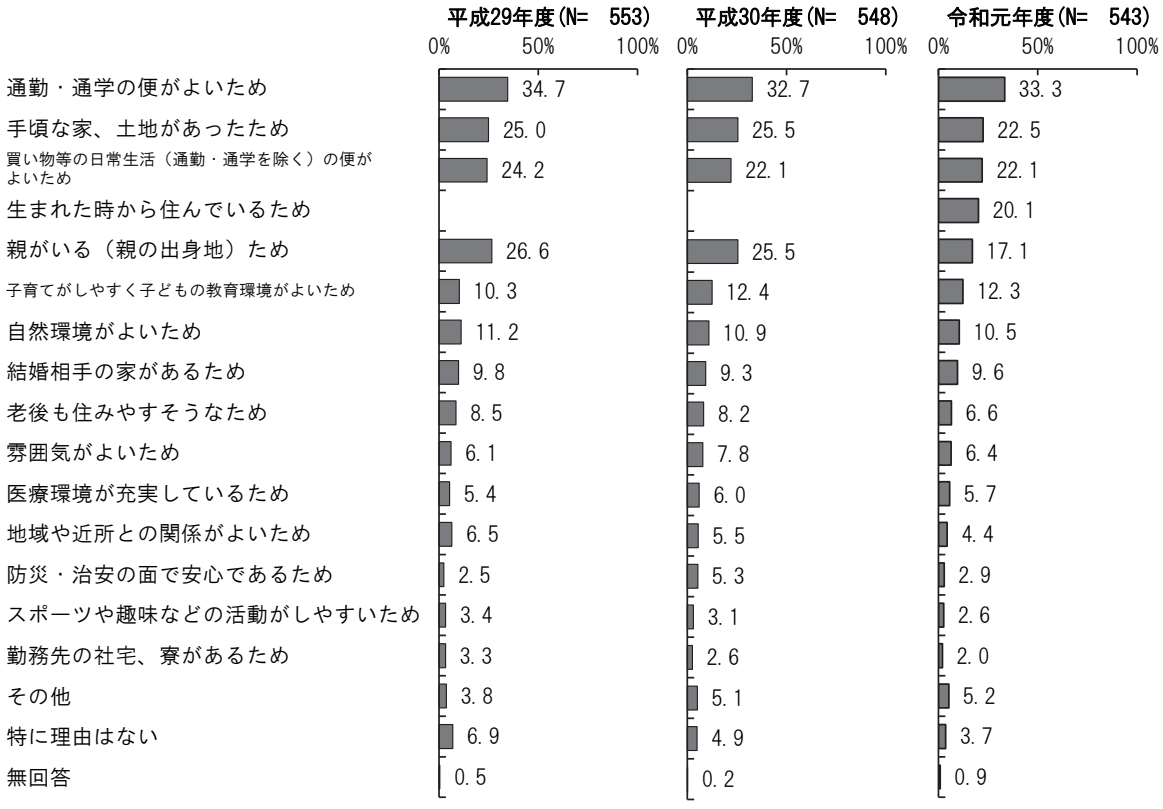
年代別にみると、“20代”では「生まれた時から住んでいるため」が最も多く、“30代～50代”では「通勤・通学の便がよいため」が、“60代から70代以上”では「手頃な家、土地があったため」が最も多くなっています。



居住地区別にみると、「買い物等の日常生活（通勤・通学を除く）の便がよいため」が“地区１”で7.0%と少なくなっています。

経　年　比　較



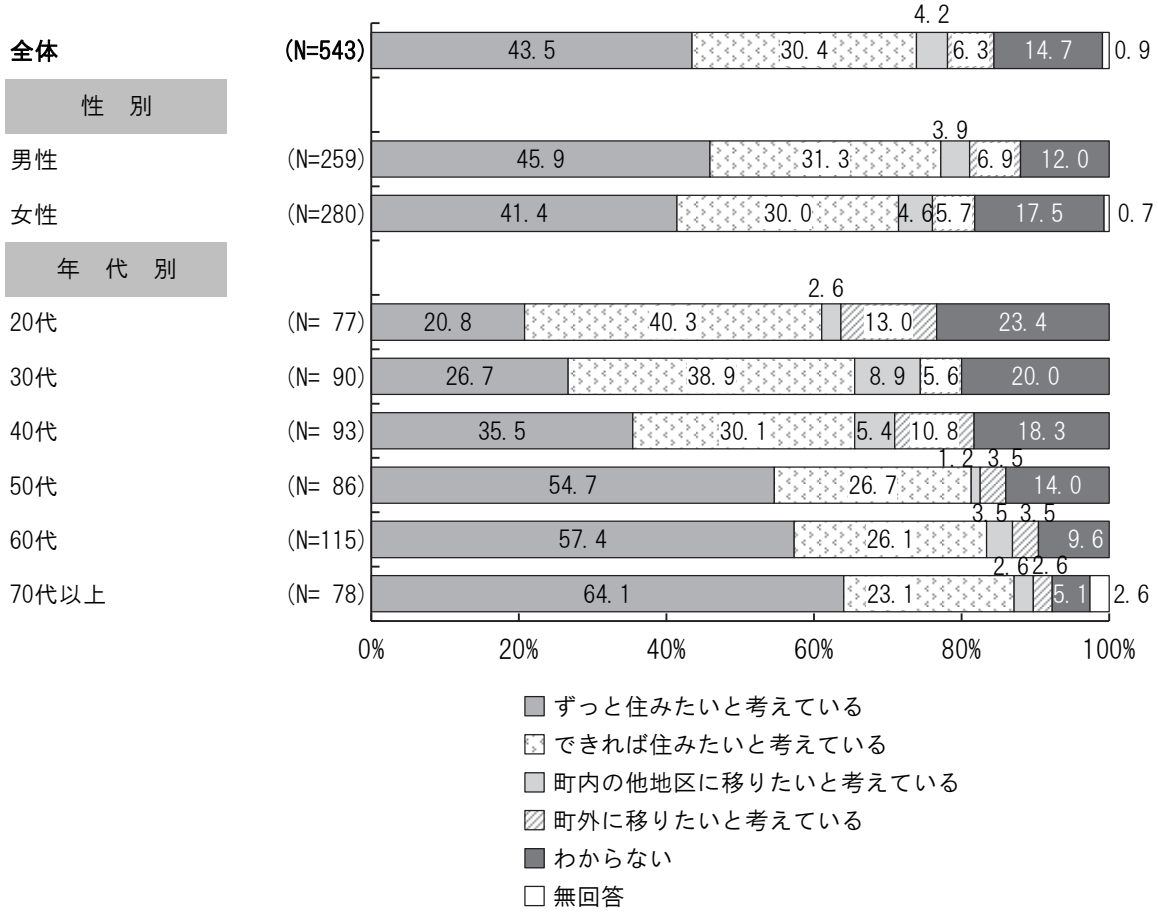


※「生まれた時から住んでいるため」は令和元年度から追加された選択肢です。

年度別にみると、全ての年度において「通勤・通学の便がよいため」が３割を超えて最も多くなっています。

現在の地区における継続居住意向

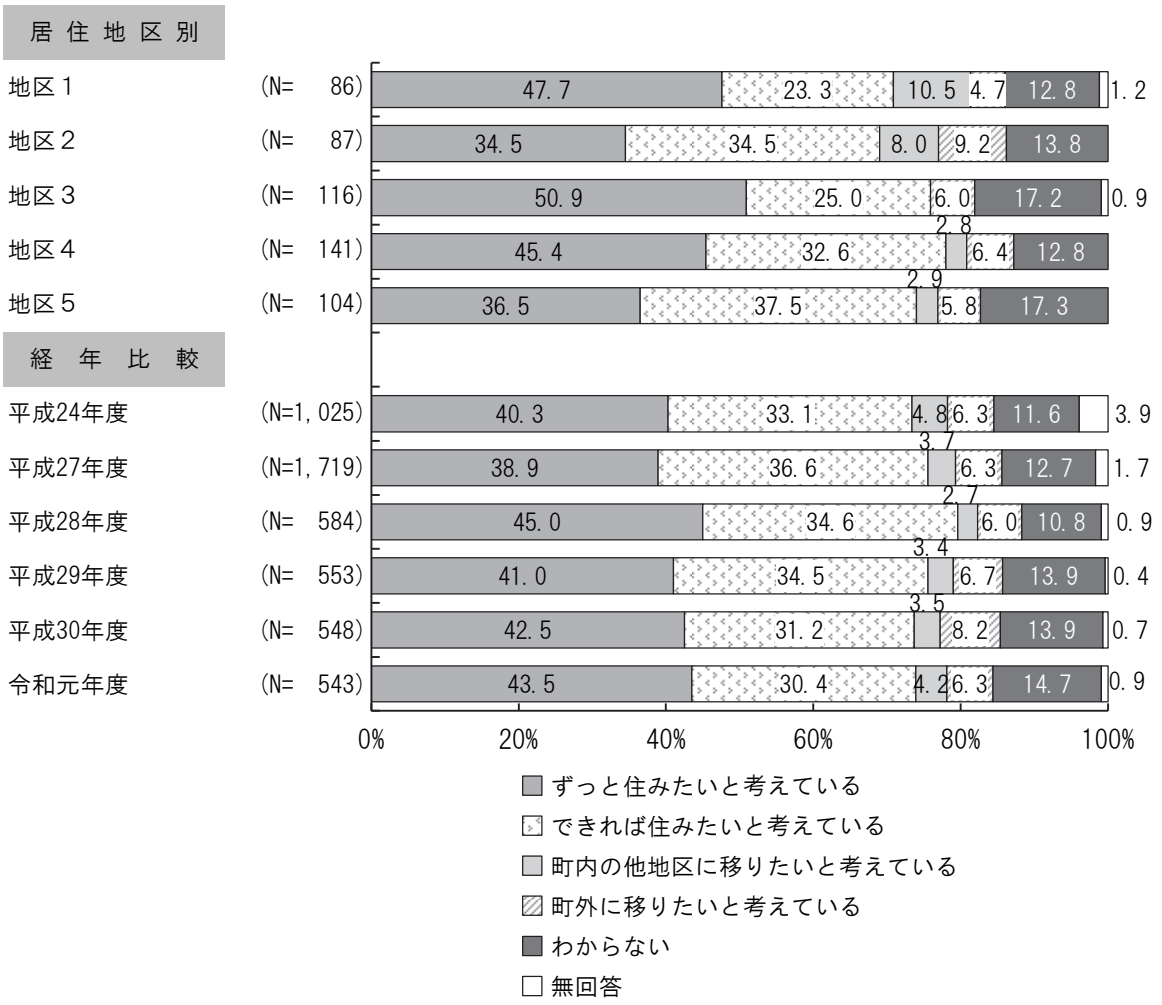
問２　あなたは現在の地区に、今後もずっと住みたいとお考えですか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



現在の地区における継続居住意向は、「ずっと住みたいと考えている」が43.5%と最も多く、次いで「できれば住みたいと考えている」が30.4%、「わからない」が14.7%などとなっています。また、『住みたい』（「ずっと住みたいと考えている」＋「できれば住みたいと考えている」）は73.9%、『移りたい』（「町内の他地区に移りたいと考えている」＋「町外に移りたいと考えている」）は10.5%となっています。

性別にみると、「ずっと住みたいと考えている」が“男性”で45.9%と多くなっています。

年代別にみると、年代が上がるほど「ずっと住みたいと考えている」が多くなる傾向がみられます。



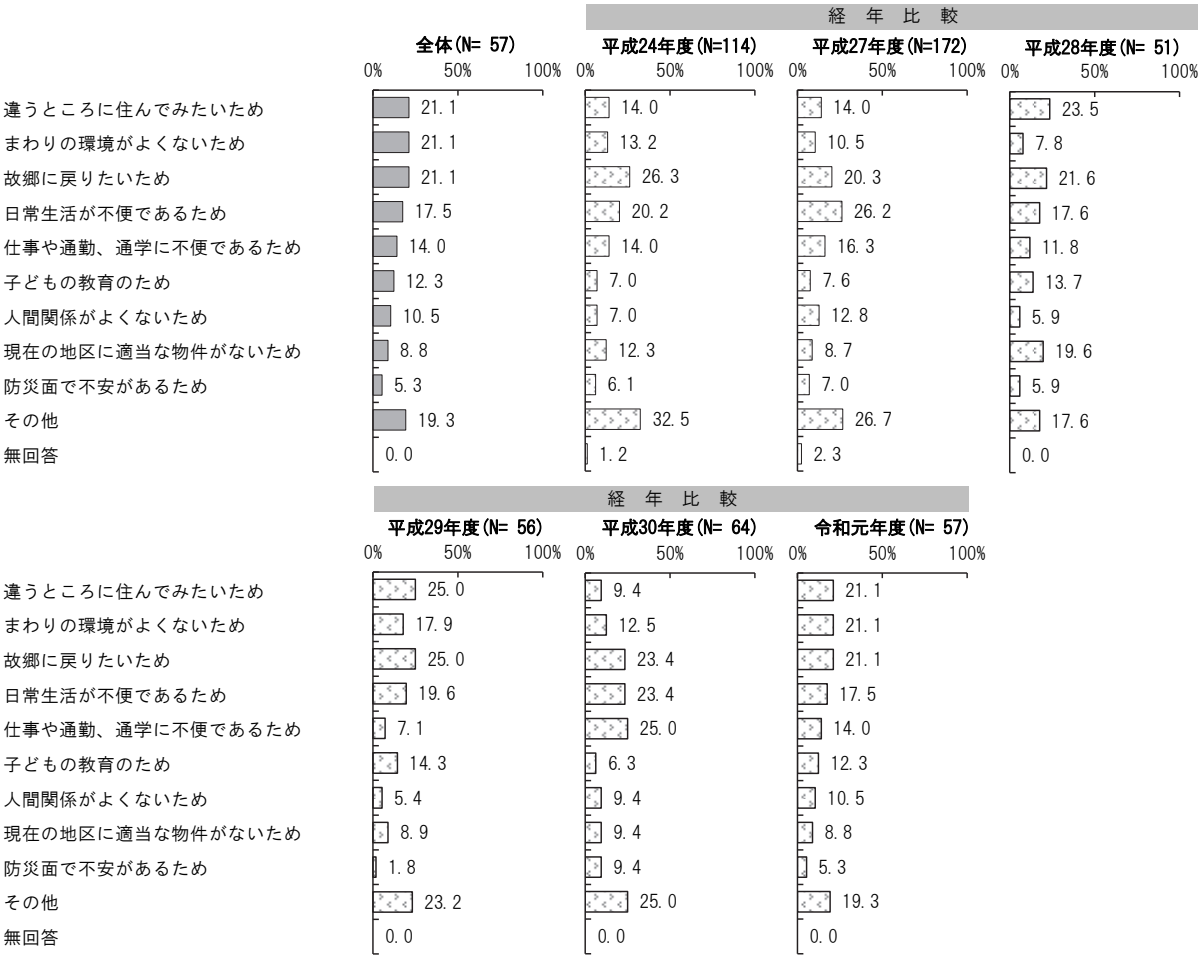
居住地区別にみると、「ずっと住みたいと考えている」が“地区３”で50.9%と多くなっています。

年度別にみると、全ての年度において『住みたい』が７割を超えて最も多くなっています。

移住意向がある理由

※問２で「町内の他地区に移りたいと考えている」または「町外に移りたいと考えている」とお答えの方にお伺いします。

補問２－１　その理由は何ですか。（該当する番号に３つ以内で○をつけて下さい）



移住意向がある理由は、「違うところに住んでみたいため」、「まわりの環境がよくないため」、「故郷に戻りたいため」がいずれも21.1%と最も多く、次いで「日常生活が不便であるため」が17.5%、「仕事や通勤、通学に不便であるため」が14.0%などとなっています。

年度別にみると、「まわりの環境がよくないため」が“平成24～30年度”まで１割前後で推移していたものの、“令和元年度”で21.1%と２割を超えて多くなっています。

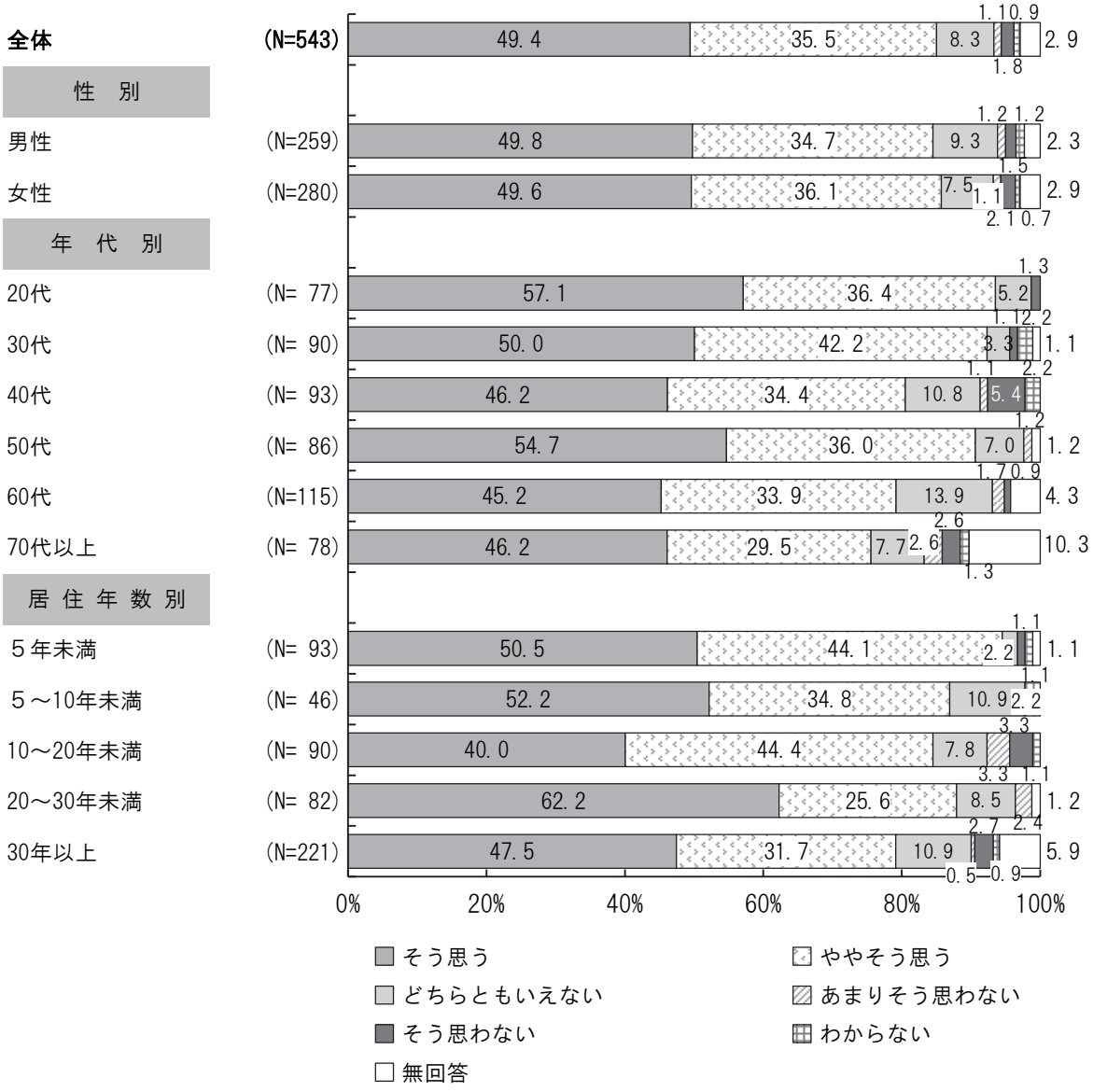
Ⅱ　あなたが持っている「長泉町の印象」について

長泉町の印象に対する満足状況

問３　長泉町について（以下の１～８の項目）お答え下さい。

（それぞれの質問項目について、該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．イメージの良い町である



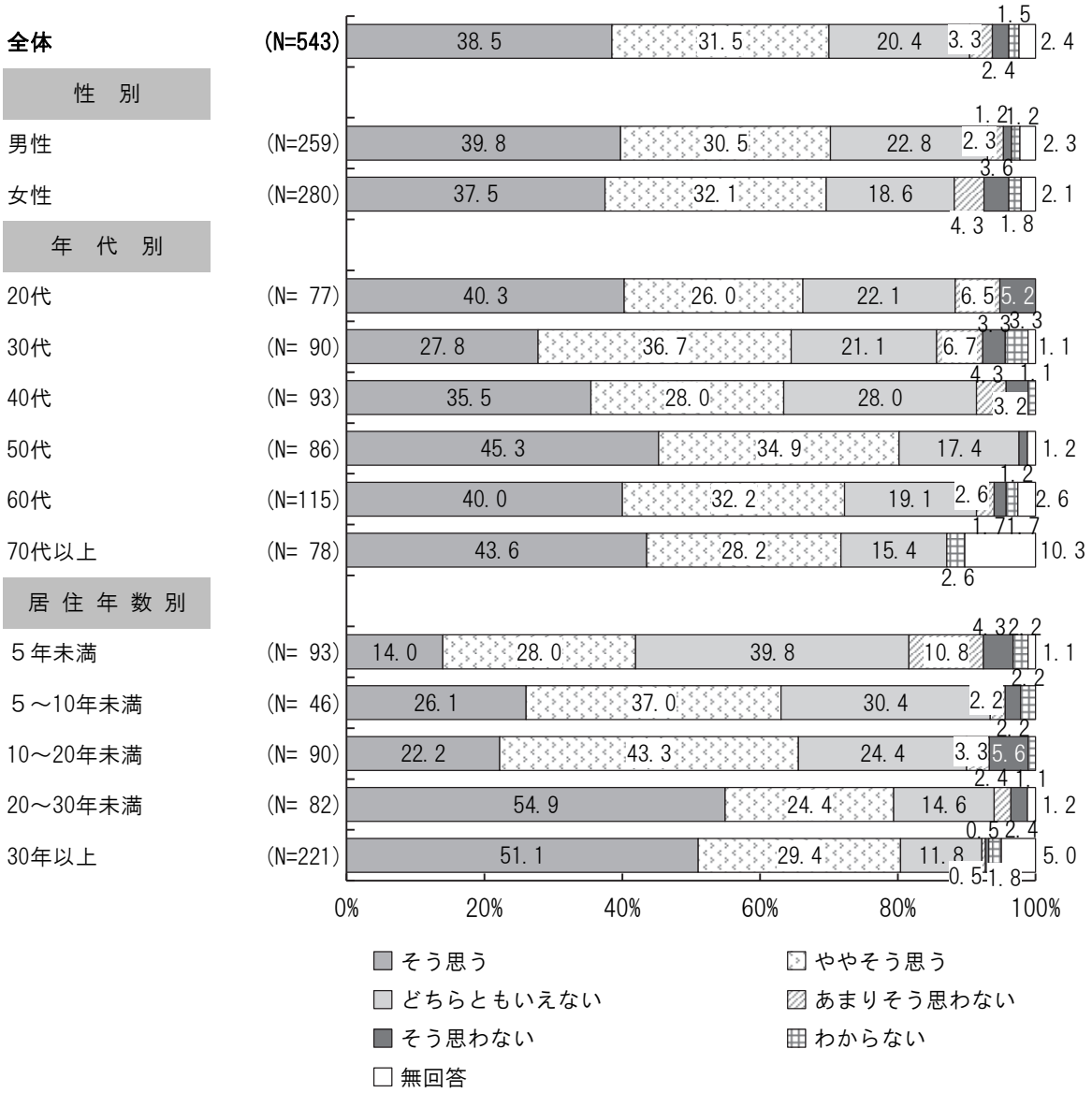
イメージの良い町であると思うかについては、「そう思う」が49.4%と最も多く、次いで「ややそう思う」が35.5%、「どちらともいえない」が8.3%などとなっています。また、『思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は84.9%、『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は2.9%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、『思う』は“20代から30代”で９割を超えて多くなっています。

居住年数別にみると、「そう思う」が“20～30年未満”で６割を超えて多くなっています。

２．愛着を持っている



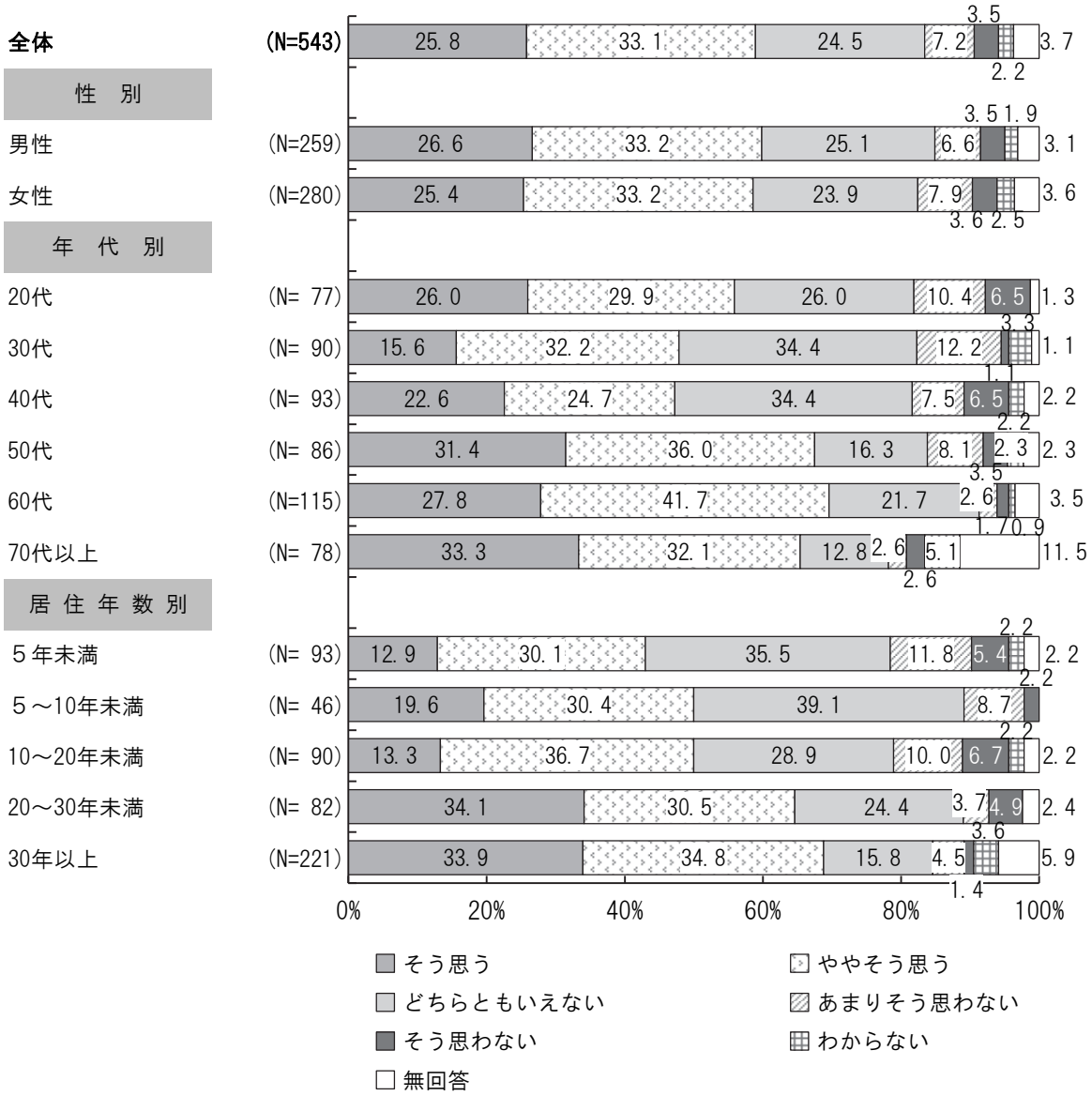
愛着を持っていると思うかについては、「そう思う」が38.5%と最も多く、次いで「ややそう思う」が31.5%、「どちらともいえない」が20.4%などとなっています。また、『思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は70.0%、『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は5.7%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、『思う』は“50代”で約８割と多くなっています。

居住年数別にみると、「そう思う」が“20年から30年以上”で５割を超え多くなっています。

３．住んでいることに誇りを持っている



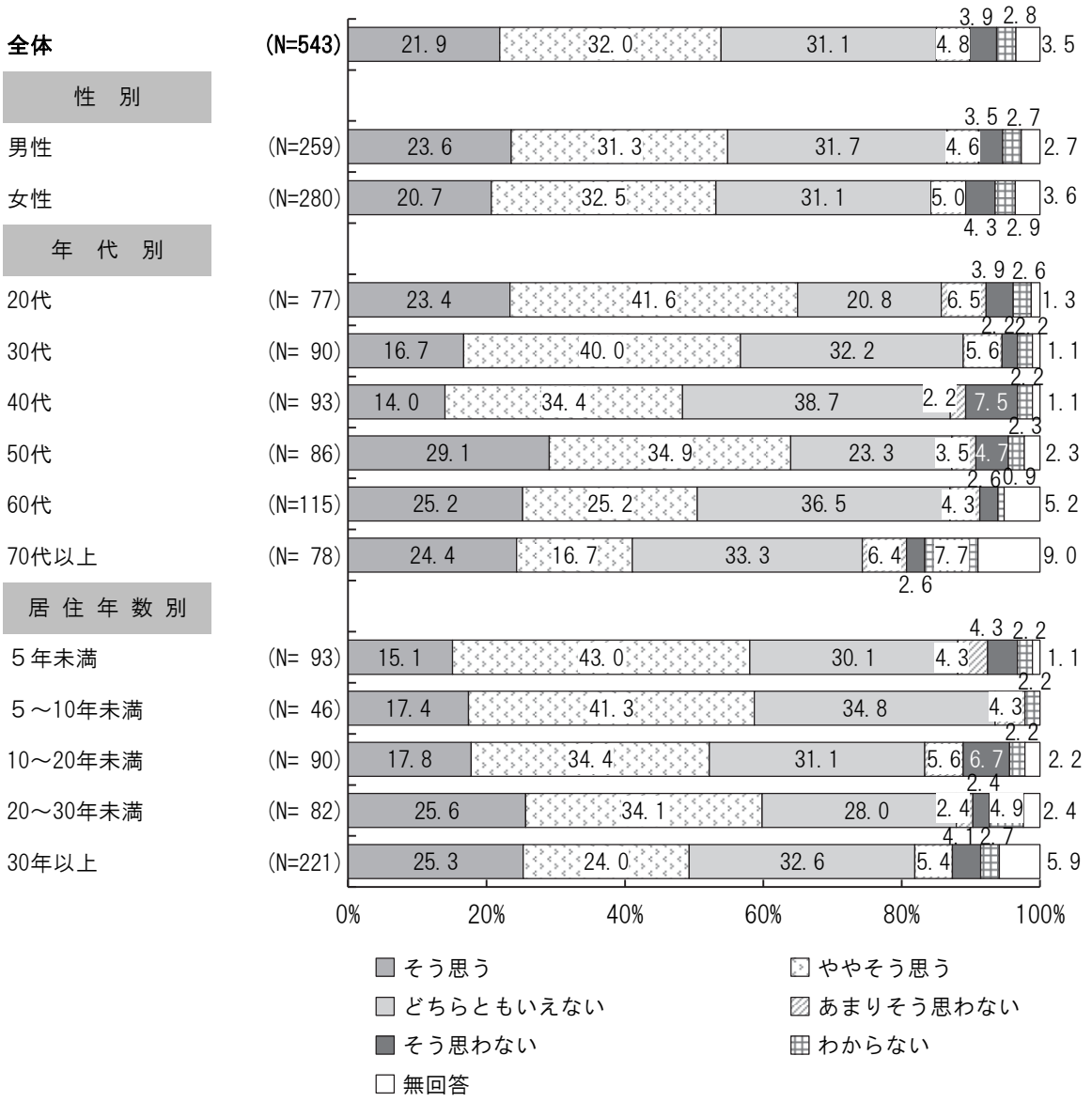
住んでいることに誇りを持っていると思うかについては、「ややそう思う」が33.1％と最も多く、次いで「そう思う」が25.8％、「どちらともいえない」が24.5％などとなっています。また、『思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は58.9％、『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は10.7％となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、『思う』が“60代”で69.5％と多くなっています。

居住年数別にみると、「そう思う」が“20年から30年以上”で３割を超え多くなっています。

４．居住について、町外の友人や知人に対して勧めたい



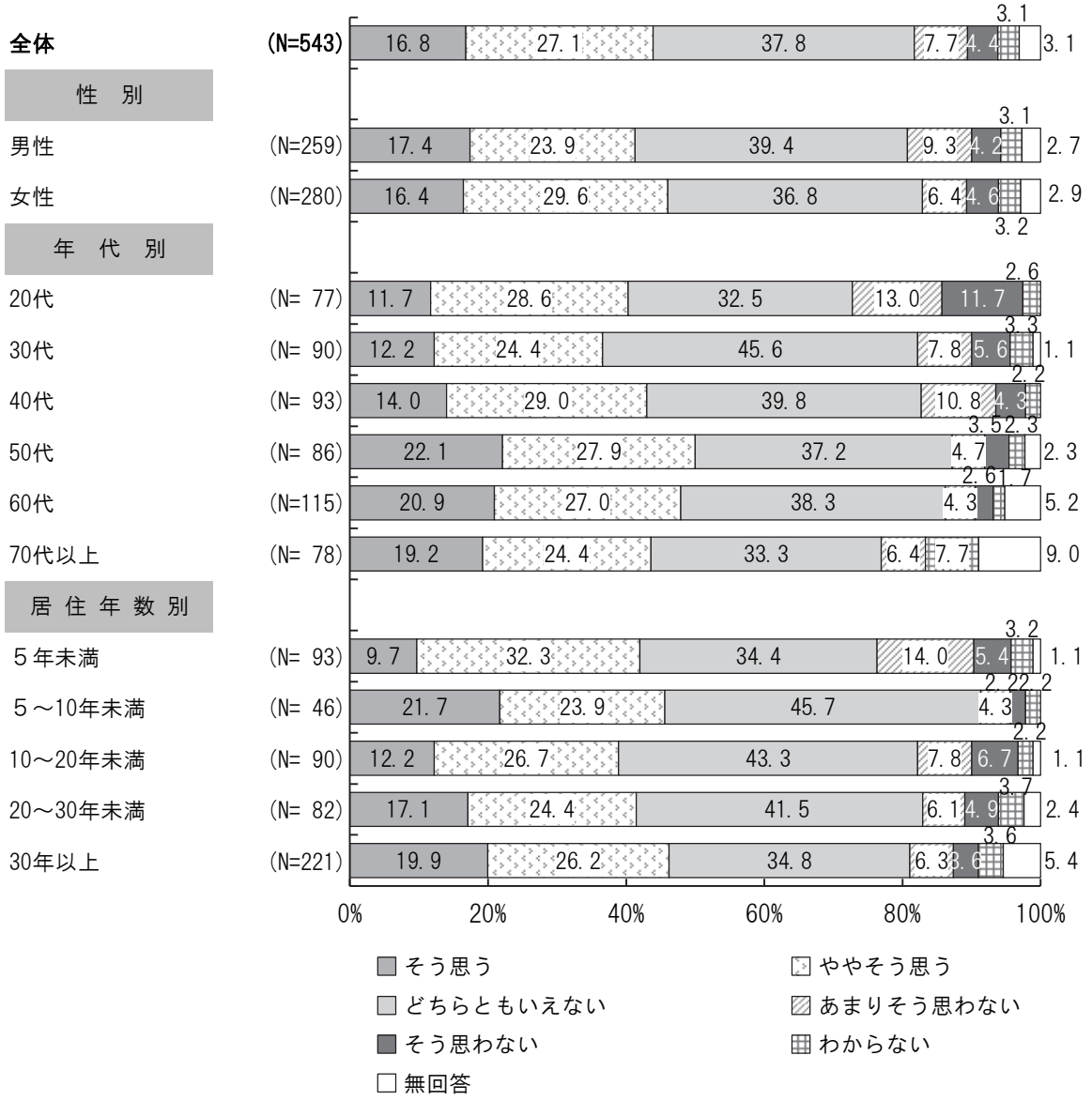
居住について、町外の友人や知人に対して勧めたいと思うかについては、「ややそう思う」が32.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が31.1%、「そう思う」が21.9%などとなっています。また、『思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は53.9%、『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は8.7%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、『思う』が“70代以上”で41.1%と少なくなっています。

居住年数別にみると、『思う』が“30年以上”で49.3%と少なくなっています。

５．来訪について、町外の友人や知人に対して勧めたい



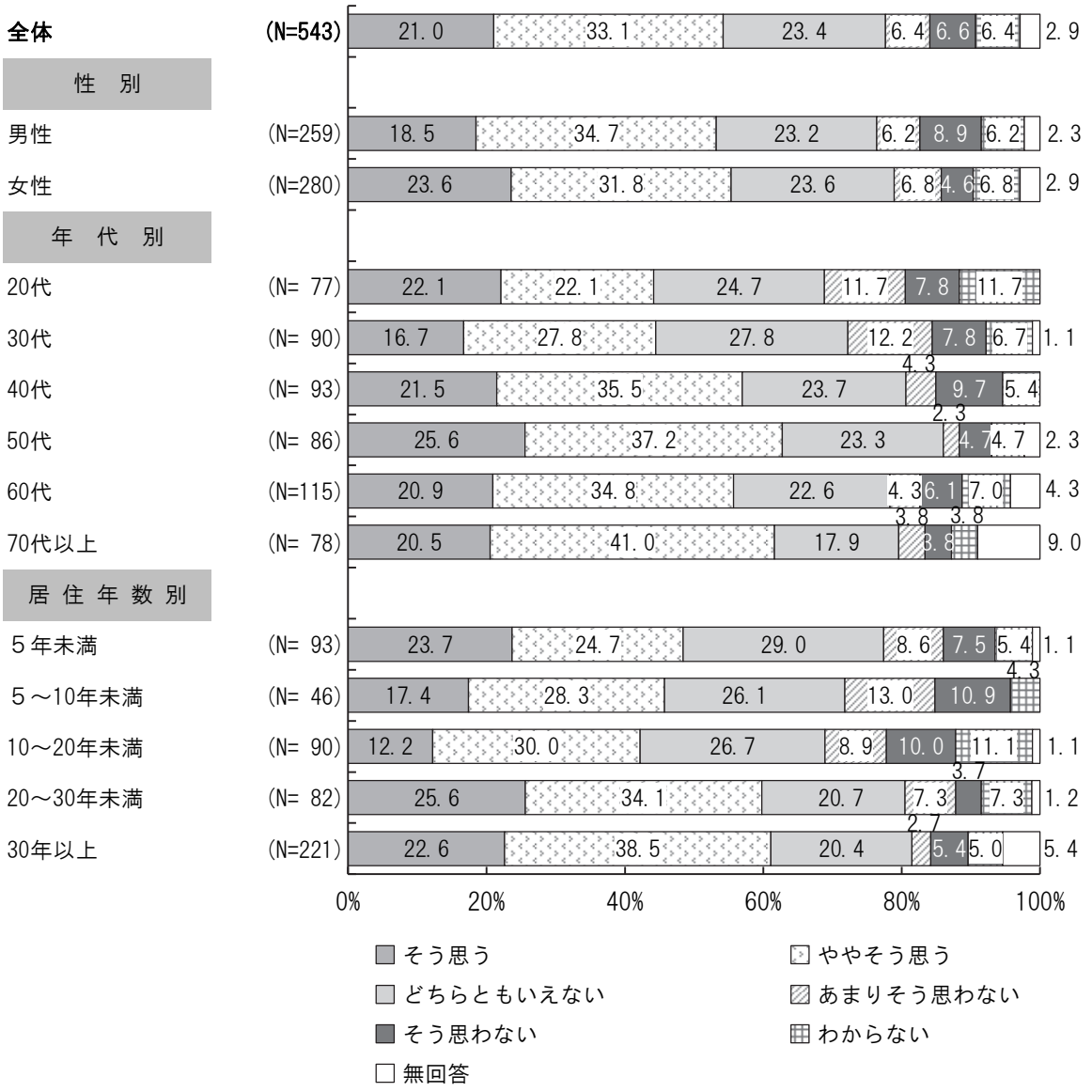
来訪について、町外の友人や知人に対して勧めたいと思うかについては、「どちらともいえない」が37.8%と最も多く、次いで「ややそう思う」が27.1%、「そう思う」が16.8%などとなっています。また、『思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は43.9%、『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は12.1%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、『思わない』が“20代”で24.7%と多くなっています。

居住年数別にみると、『思わない』が“５年未満”で19.4%と多くなっています。

６．町外の友人や知人などから羨ましいと思われる



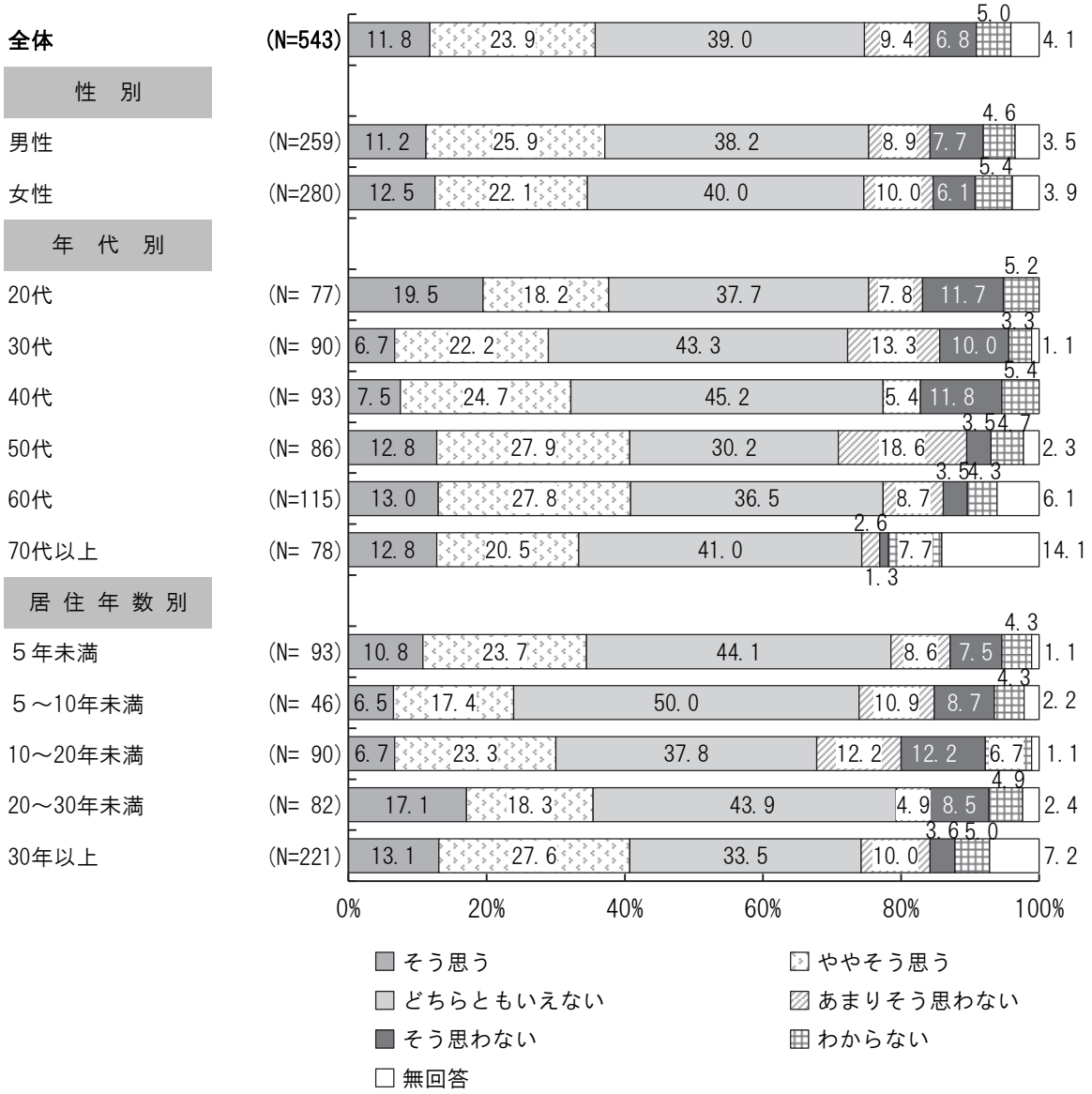
町外の友人や知人などから羨ましいと思われると思うかについては、「ややそう思う」が33.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が23.4%、「そう思う」が21.0%などとなっています。また、『思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は54.1%、『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は13.0%となっています。

性別にみると、「そう思う」が“女性”で23.6%と多くなっています。

年代別にみると、『思う』が“50代”と“70代以上”で６割を超えています。

居住年数別にみると、『思う』が“20年から30年以上”で59.7%と多くなっています。

７．町の魅力や良いところを積極的に発信している



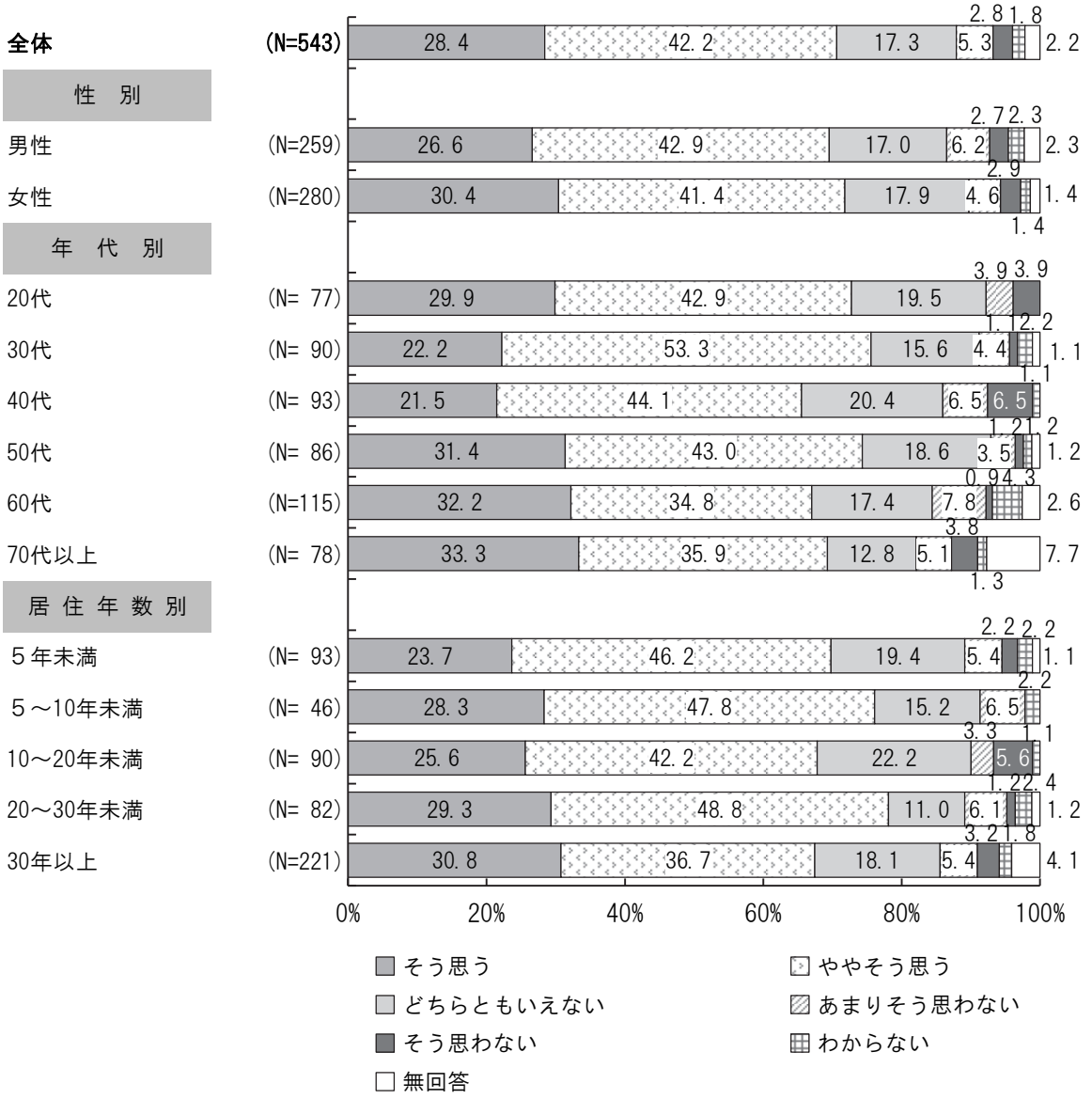
町の魅力や良いところを積極的に発信していると思うかについては、「どちらともいえない」が39.0%と最も多く、次いで「ややそう思う」が23.9%、「そう思う」が11.8%などとなっています。また、『思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は35.7%、『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は16.2%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、『思う』が“50代から60代”で４割を超えています。

居住年数別にみると、『思う』が“30年以上”で40.7%と多くなっています。

８．長泉町での今の生活に満足している



長泉町での今の生活に満足していると思うかについては、「ややそう思う」が42.2%と最も多く、次いで「そう思う」が28.4%、「どちらともいえない」が17.3%などとなっています。また、『思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は70.6%、『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は8.1%となっています。

性別にみると、「そう思う」が“女性”で30.4%とやや多くなっています。

年代別にみると、『思わない』が“40代”で13.0%と多くなっています。

居住年数別にみると、『思う』が“５～10年未満”、“20～30年未満”で７割を超えています。

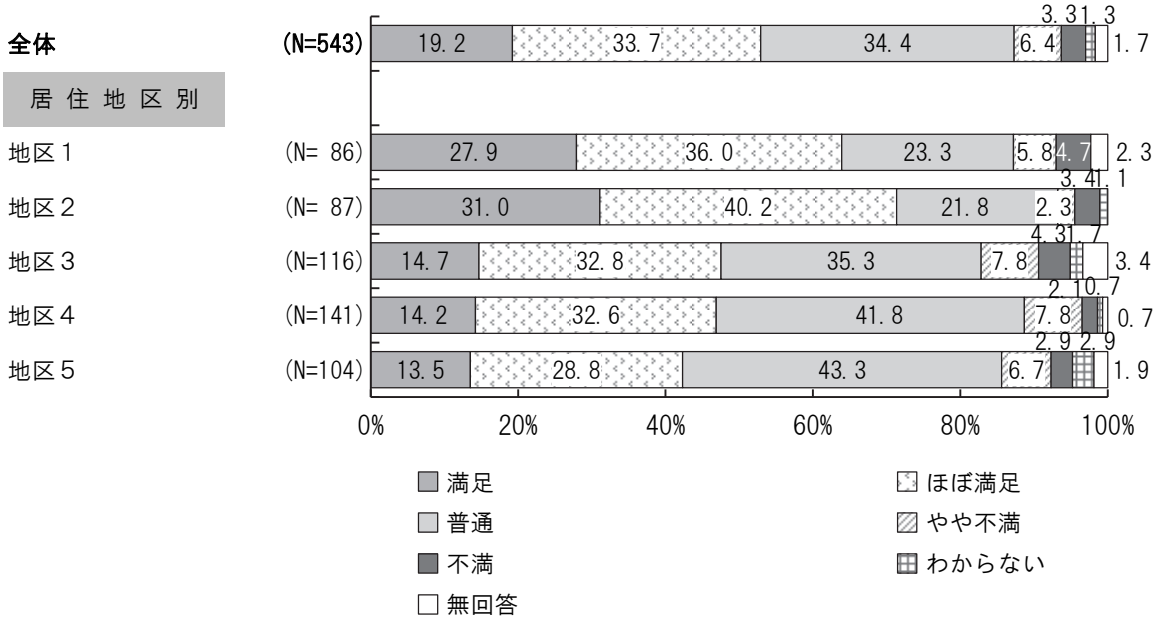
Ⅲ　あなたの住む地区の生活環境や自治会活動について

居住地区の満足状況

問４　あなたが住む地区の生活環境（以下の１～６の項目）についてお答え下さい。

（それぞれの質問項目に対する満足度について、該当する番号に１つ○をつけて下さい）

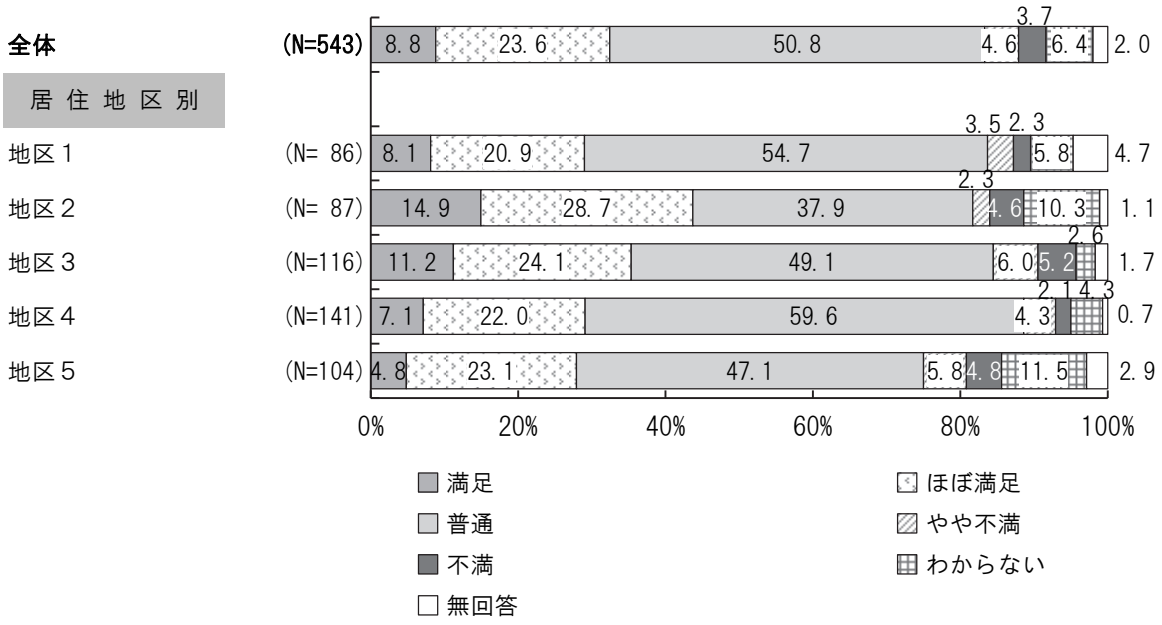
１．緑豊かな自然環境のよさ



緑豊かな自然環境のよさについての満足状況は、「普通」が34.4%と最も多く、次いで「ほぼ満足」が33.7%、「満足」が19.2%などとなっています。また、『満足』（「満足」＋「ほぼ満足」）は52.9%、『不満』（「やや不満」＋「不満」）は9.7%となっています。

居住地区別にみると、『満足』が“地区２”で71.2%、“地区１”で63.9%と多くなっています。

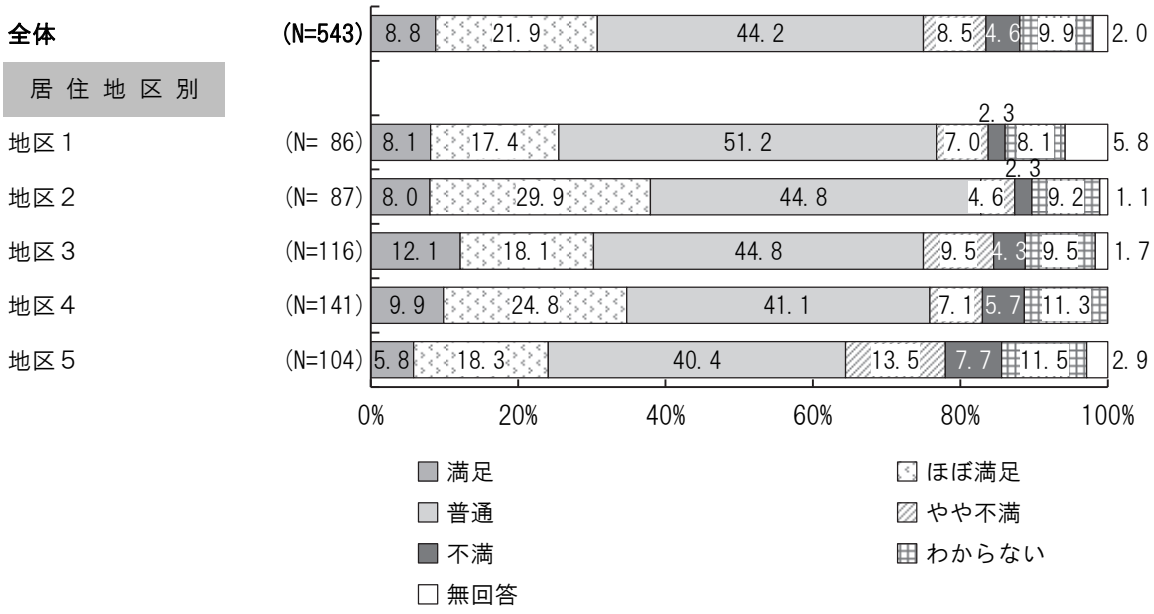
２．街中の文化、芸術（彫刻）環境のよさ



街中の文化、芸術（彫刻）環境のよさについての満足状況は、「普通」が50.8％と最も多く、次いで「ほぼ満足」が23.6％、「満足」が8.8％などとなっています。また、『満足』（「満足」＋「ほぼ満足」）は32.4％、『不満』（「やや不満」＋「不満」）は8.3％となっています。

居住地区別にみると、『満足』が“地区２”で43.6％と多くなっています。

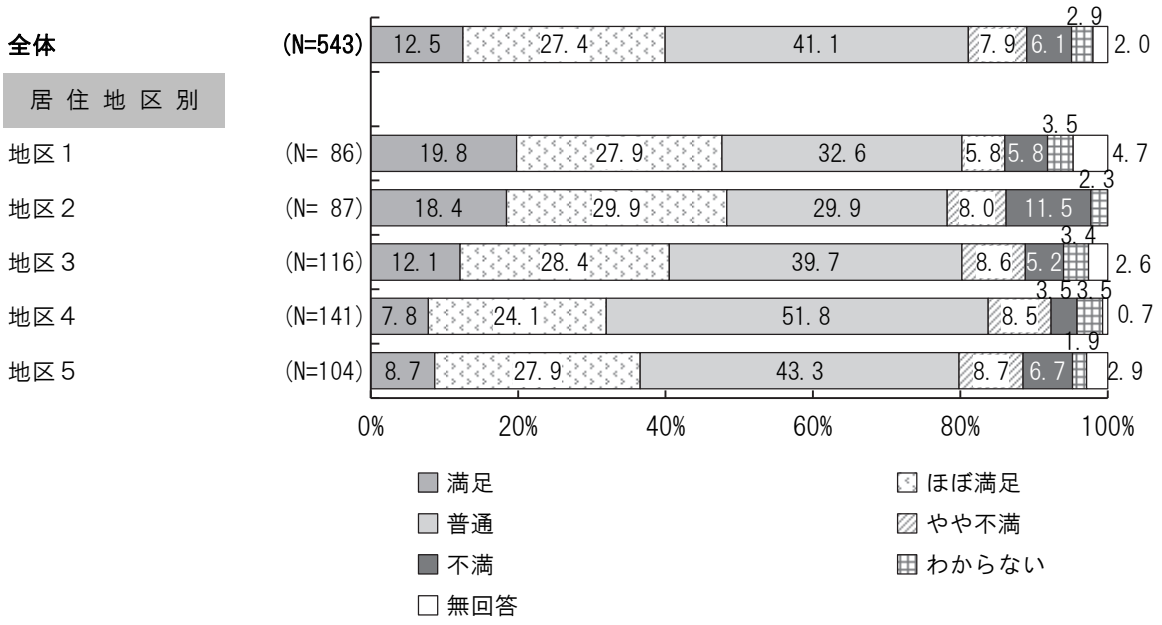
３．公民館、地区集会施設の利用しやすさ



公民館、地区集会施設の利用しやすさについての満足状況は、「普通」が44.2%と最も多く、次いで「ほぼ満足」が21.9%、「わからない」が9.9%などとなっています。また、『満足』（「満足」＋「ほぼ満足」）は30.7%、『不満』（「やや不満」＋「不満」）は13.1%となっています。

居住地区別にみると、『不満』が“地区５”で21.2%と多くなっています。

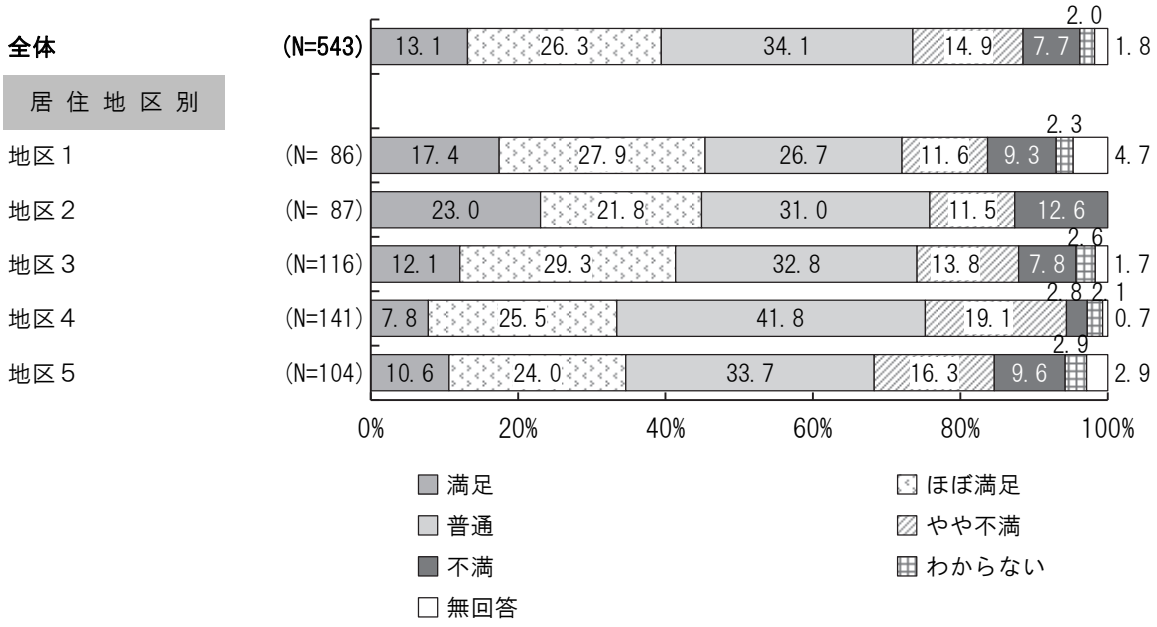
４．ばい煙、排気ガス等のない環境



ばい煙、排気ガス等のない環境についての満足状況は、「普通」が41.1％と最も多く、次いで「ほぼ満足」が27.4％、「満足」が12.5％などとなっています。また、『満足』（「満足」＋「ほぼ満足」）は39.9％、『不満』（「やや不満」＋「不満」）は14.0％となっています。

居住地区別にみると、『満足』が“地区１”、“地区２”で４割を超えて多くなっています。

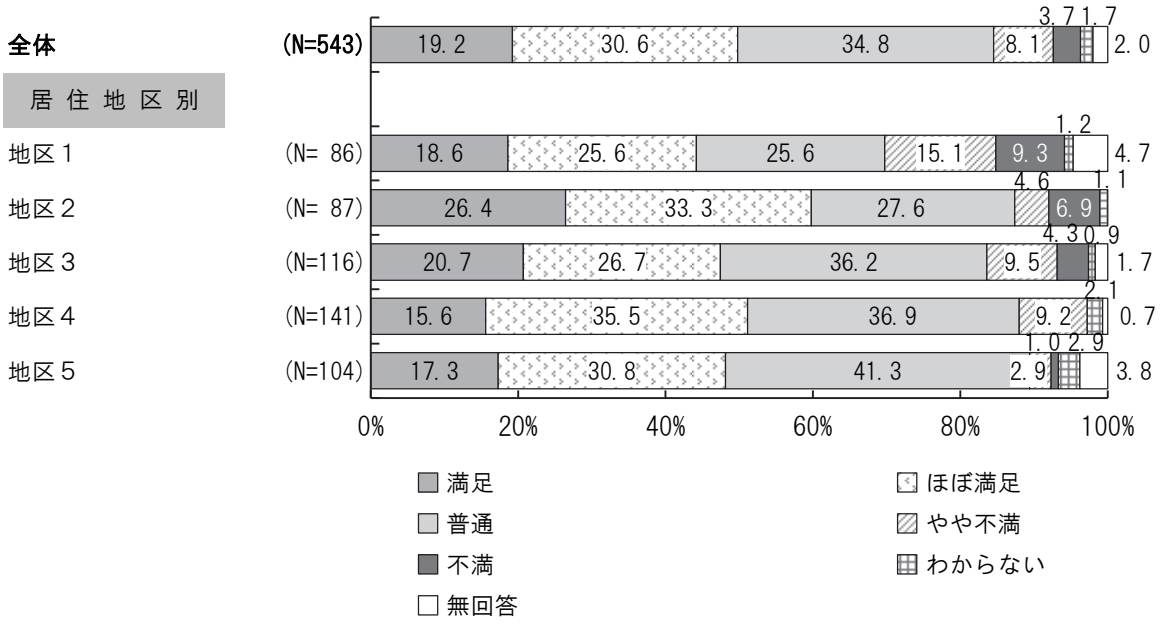
５．工場、車等の振動、騒音等のない環境



工場、車等の振動、騒音等のない環境についての満足状況は、「普通」が34.1%と最も多く、次いで「ほぼ満足」が26.3%、「やや不満」が14.9%などとなっています。また、『満足』（「満足」＋「ほぼ満足」）は39.4%、『不満』（「やや不満」＋「不満」）は22.6%となっています。

居住地区別にみると、『満足』が“地区１”、“地区２”で４割を超えて多くなっています。

６．悪臭の発生のない環境

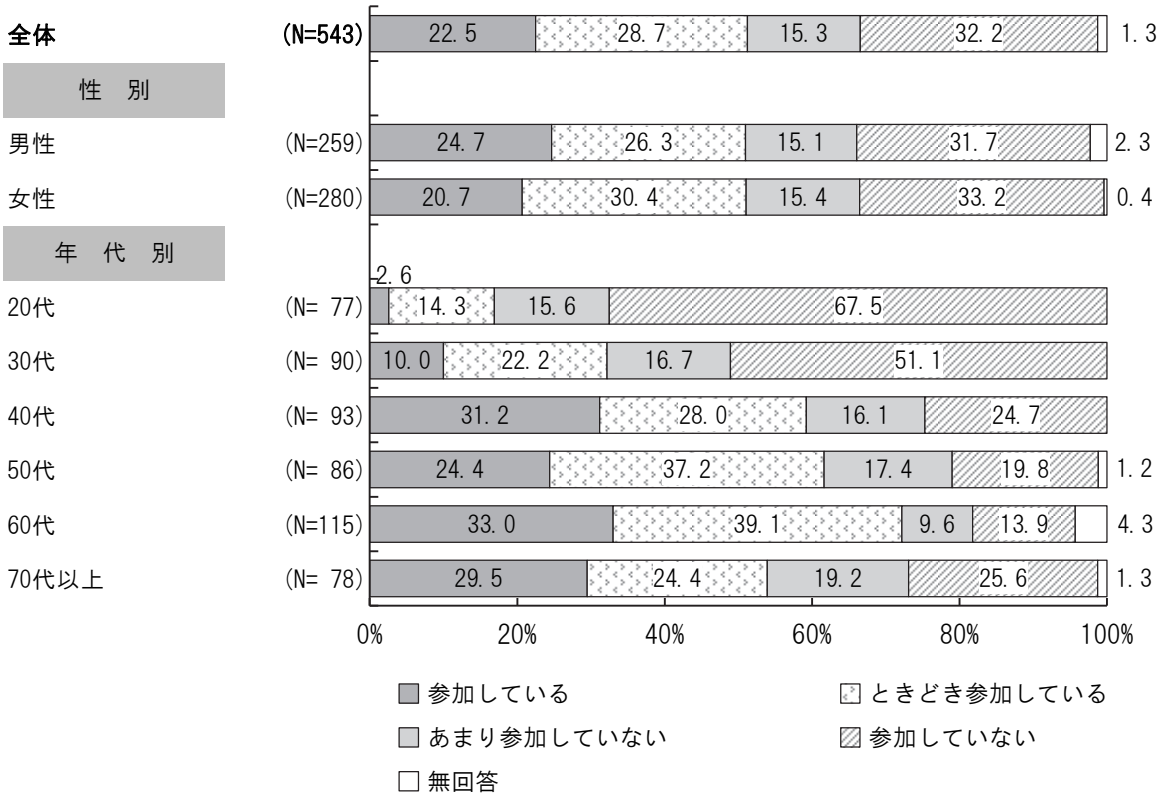


悪臭の発生のない環境についての満足状況は、「普通」が34.8%と最も多く、次いで「ほぼ満足」が30.6%、「満足」が19.2%などとなっています。また、『満足』（「満足」＋「ほぼ満足」）は49.8%、『不満』（「やや不満」＋「不満」）は11.8%となっています。

居住地区別にみると、『満足』が“地区２”で59.7%と多くなっています。

自治会活動の参加状況

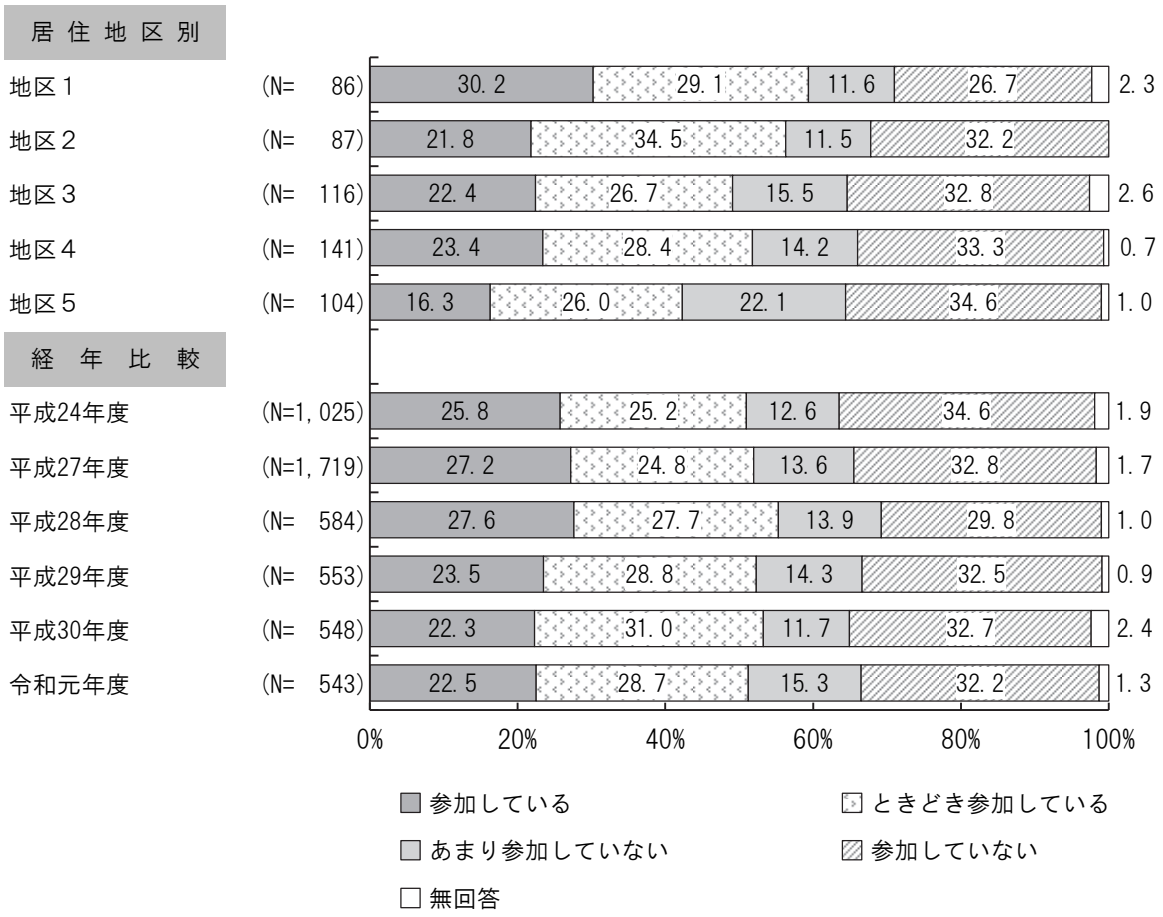
問５　あなたは現在、自治会活動に参加していますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



自治会活動への参加状況は、「参加していない」が32.2%と最も多く、次いで「ときどき参加している」が28.7%、「参加している」が22.5%などとなっています。また、『参加している』（「参加している」＋「ときどき参加している」）は51.2%、『参加していない』（「あまり参加していない」＋「参加していない」）は47.5%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、年代が下がるほど「参加していない」が多くなる傾向がみられます。

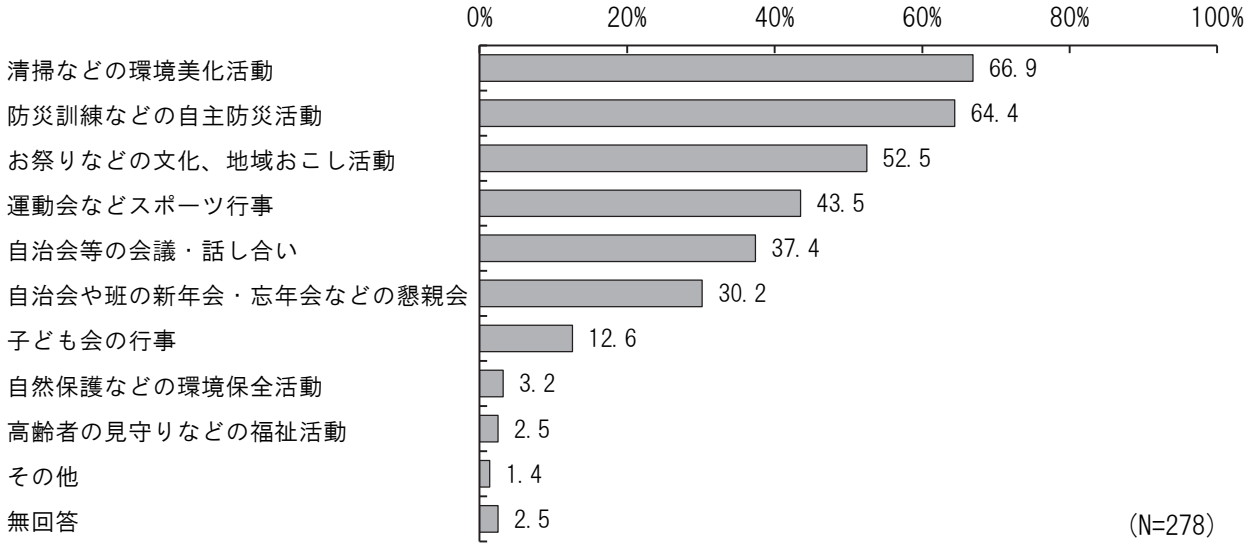


居住地区別にみると、『参加していない』が“地区５”で56.7%と多くなっています。
年度別にみると、平成24年度以降『参加している』は５割台で推移しています。

参加している自治会活動の行事や活動

※問５で「参加している」または「ときどき参加している」とお答えの方にお伺いします。

補問５－１　どのような行事や活動に参加していますか。（該当する番号すべてに○をつけて下さい）

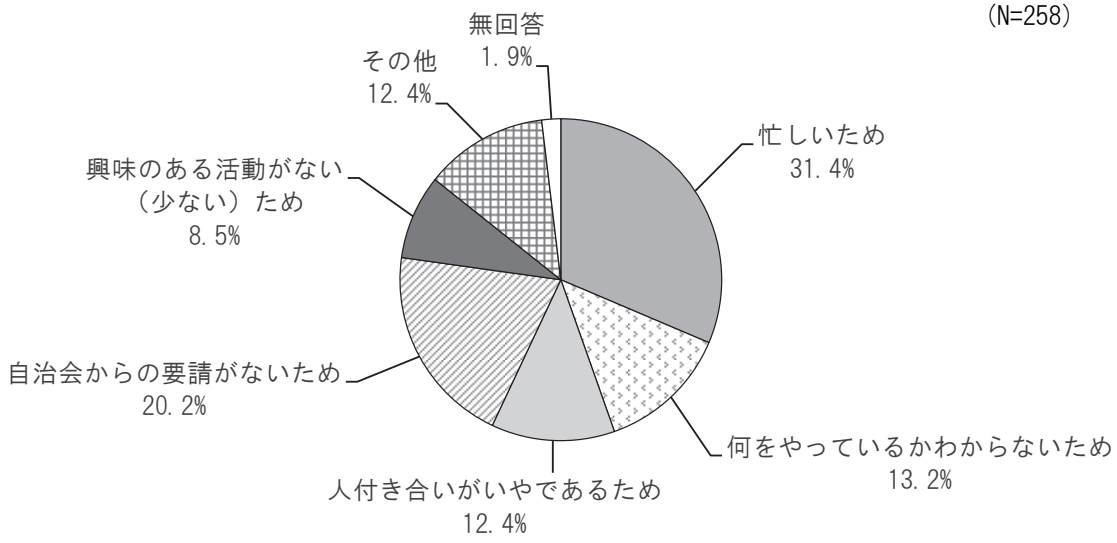


参加している自治会活動の行事や活動は、「清掃などの環境美化活動」が66.9%と最も多く、次いで「防災訓練などの自主防災活動」が64.4%、「お祭りなどの文化、地域おこし活動」が52.5%などとなっています。

自治会活動に参加していない理由

※問５で「あまり参加していない」または「参加していない」とお答えの方にお伺いします。

補問５－２　参加していない理由として最も当てはまるものはどれですか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

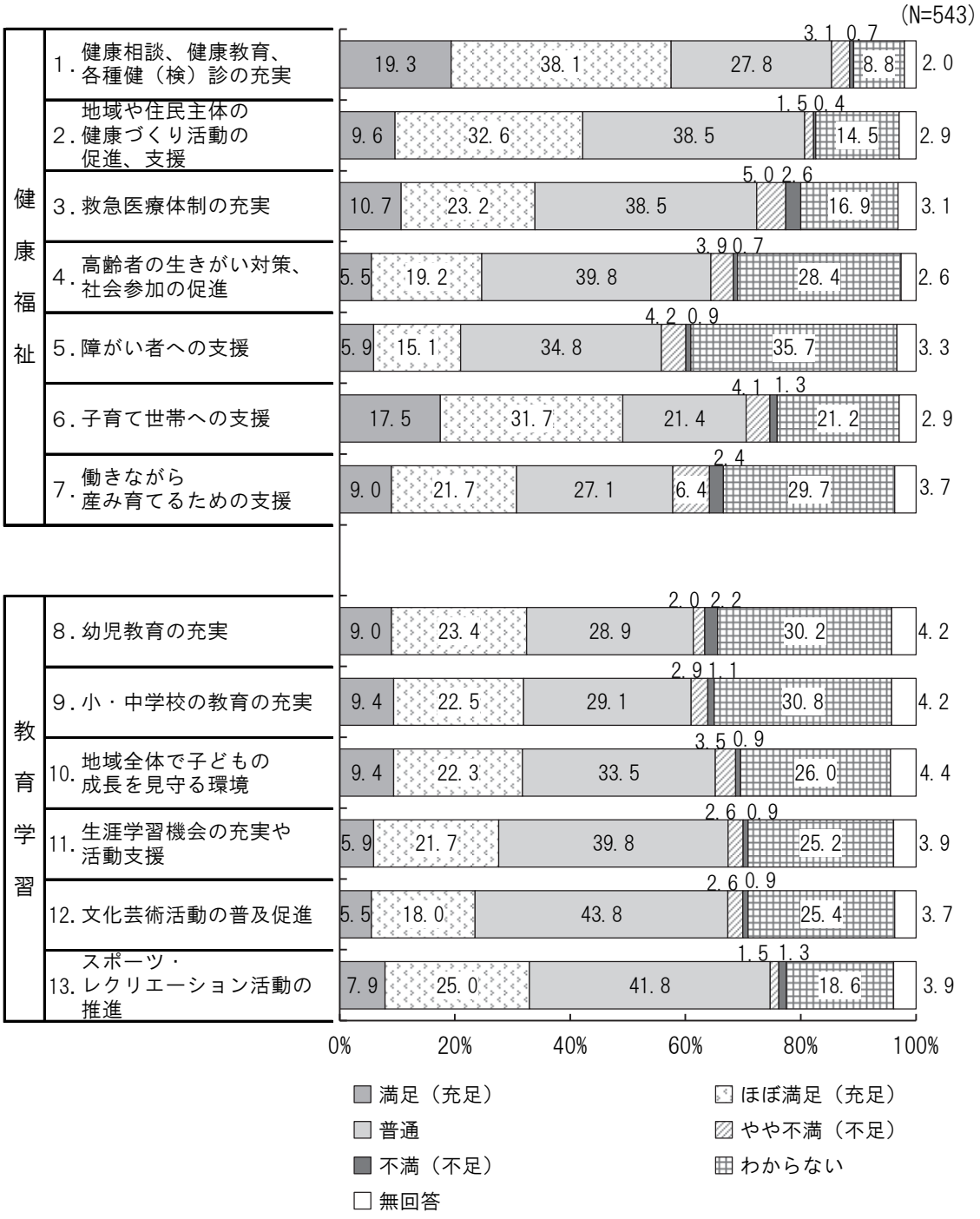


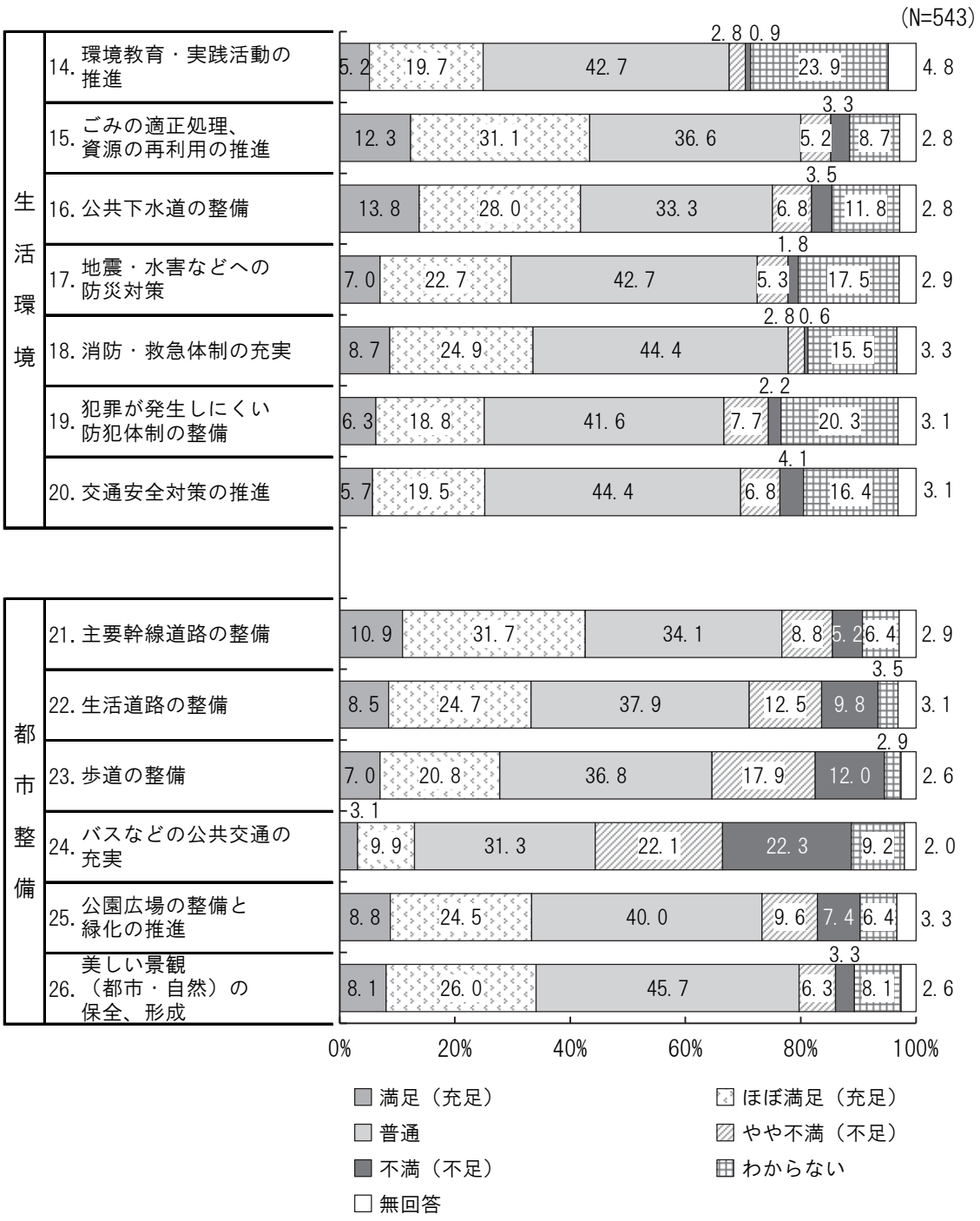
自治会活動に参加していない理由は、「忙しいため」が31.4%と最も多く、次いで「自治会からの要請がないため」が20.2%、「何をやっているかわからないため」が13.2%などとなっています。

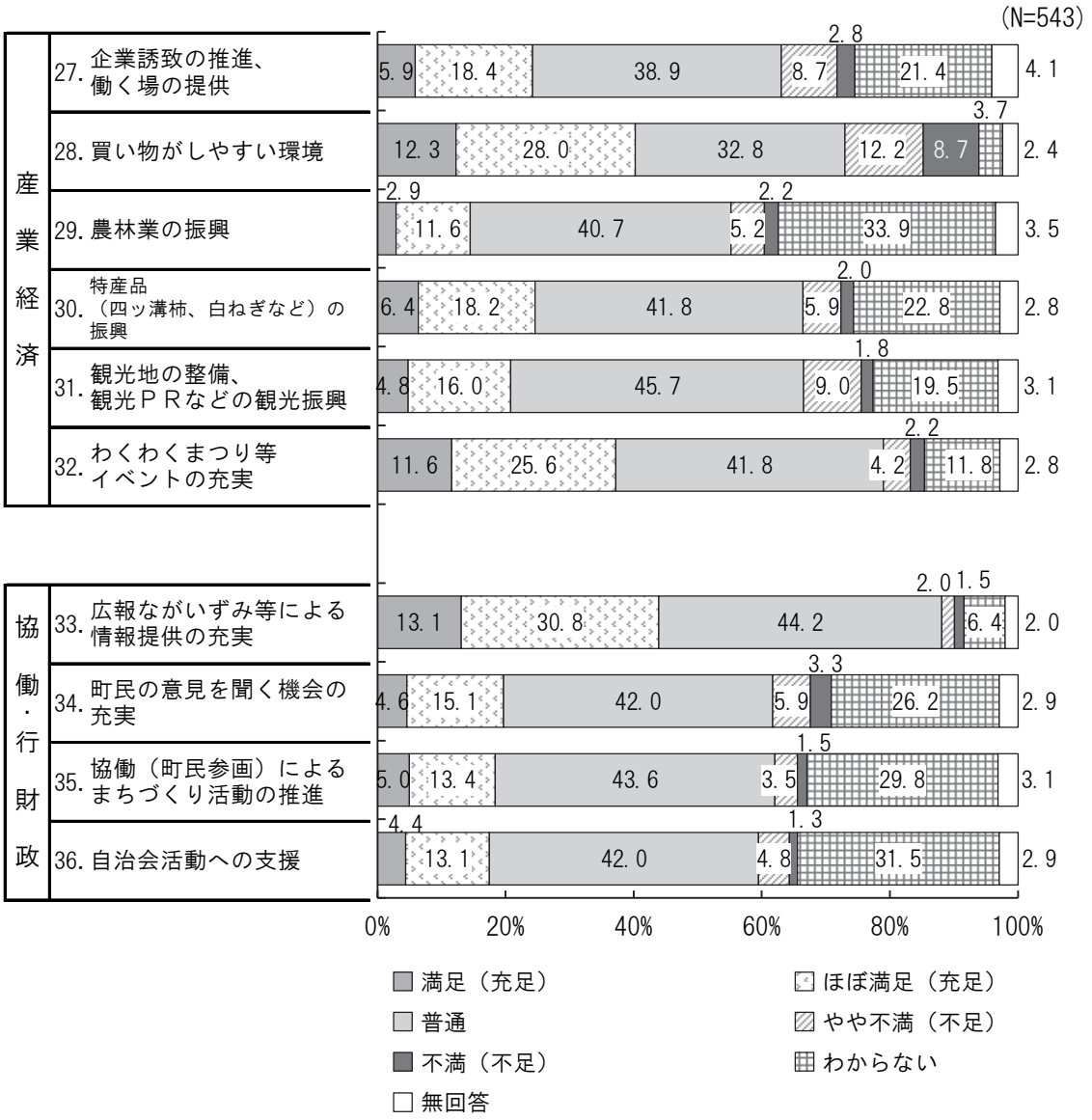
Ⅳ　町の取り組みについて

町が行う施策の満足状況

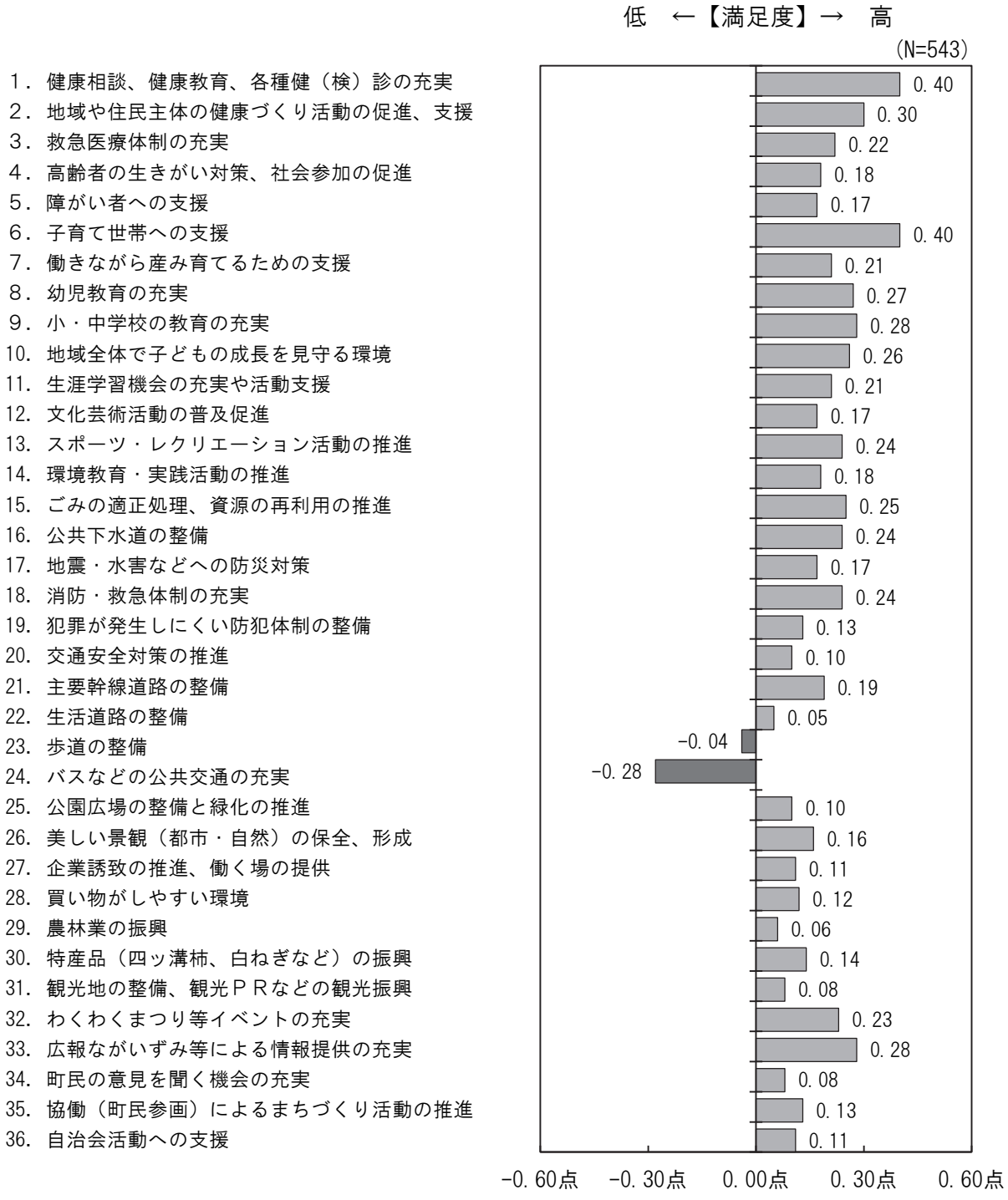
問６　町が行っている施策に対する満足（充足）度についてお答え下さい。（それぞれの質問項目に対する満足（充足）度について、該当する番号に１つ○をつけて下さい）




(N=543)
生活環境
14. 環境教育・実践活動の推進
5.2 19.7 42.7 2.8 0.9 23.9 4.8
15. ごみの適正処理、資源の再利用の推進
12.3 31.1 36.6 5.2 3.3 8.7 2.8
16. 公共下水道の整備
13.8 28.0 33.3 6.8 3.5 11.8 2.8
17. 地震・水害などへの防災対策
7.0 22.7 42.7 5.3 1.8 17.5 2.9
18. 消防・救急体制の充実
8.7 24.9 44.4 2.8 0.6 15.5 3.3
19. 犯罪が発生しにくい防犯体制の整備
6.3 18.8 41.6 7.7 2.2 20.3 3.1
20. 交通安全対策の推進
5.7 19.5 44.4 6.8 4.1 16.4 3.1
都市整備
21. 主要幹線道路の整備
10.9 31.7 34.1 8.8 5.2 6.4 2.9
22. 生活道路の整備
8.5 24.7 37.9 12.5 9.8 3.5 3.1
23. 歩道の整備
7.0 20.8 36.8 17.9 12.0 2.9 2.6
24. バスなどの公共交通の充実
3.1 9.9 31.3 22.1 22.3 9.2 2.0
25. 公園広場の整備と緑化の推進
8.8 24.5 40.0 9.6 7.4 6.4 3.3
26. 美しい景観（都市・自然）の保全、形成
8.1 26.0 45.7 6.3 3.3 8.1 2.6
0% 20% 40% 60% 80% 100%
満足（充足）
ほぼ満足（充足）
普通
やや不満（不足）
不満（不足）
わからない
無回答



町が行う施策の満足状況は、『満足（充足）』（「満足（充足）」＋「ほぼ満足（充足）」）は、「１．健康相談、健康教育、各種健（検）診の充実」で57.4％と最も多くなっています。一方、『不満（不足）』（「やや不満（不足）」＋「不満（不足）」）は、「24．バスなどの公共交通の充実」で44.4％と最も多くなっています。



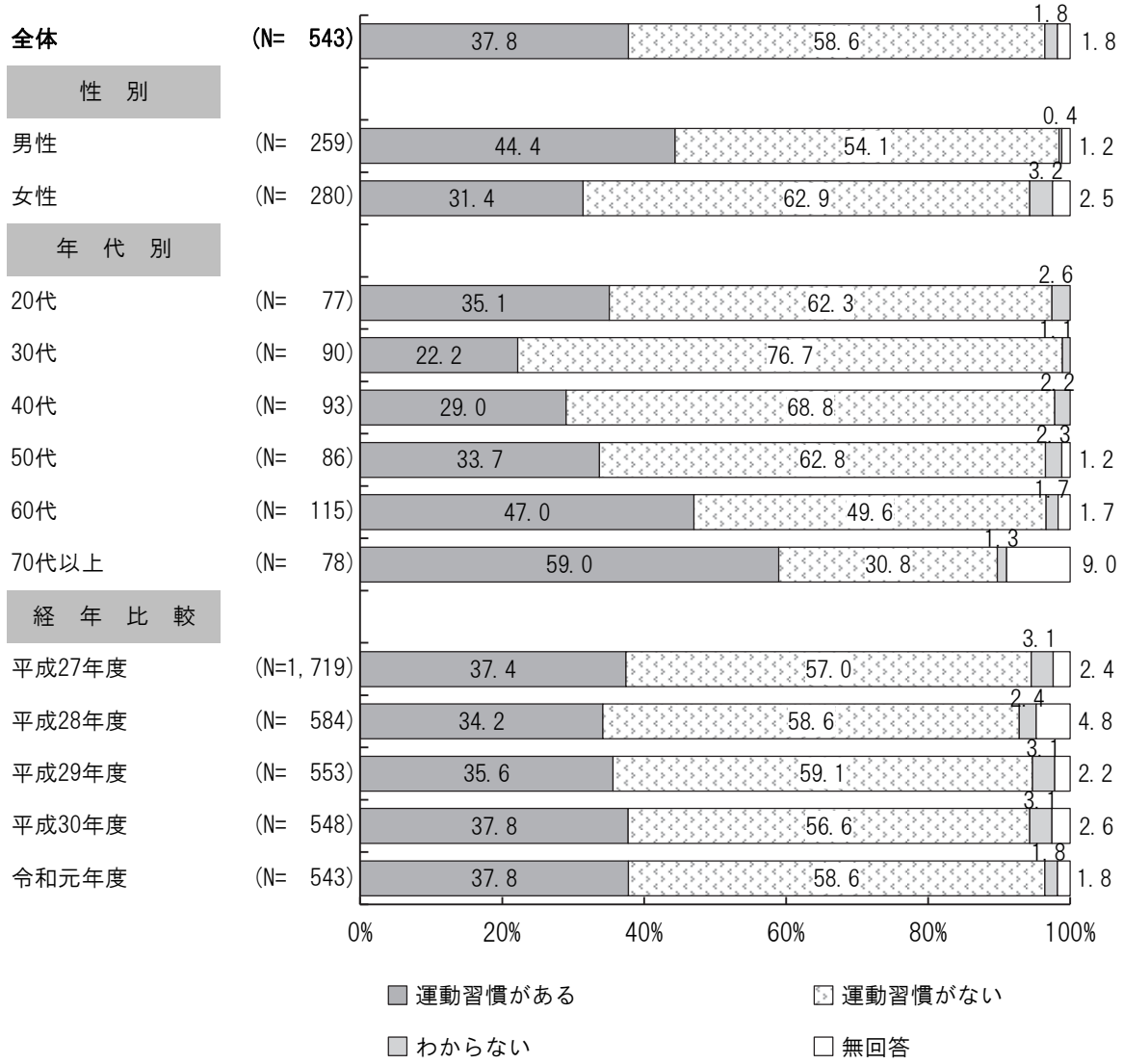
「満足（充足）」を＋1.0点、「ほぼ満足（充足）」を＋0.5点、「普通」を0.0点、「やや不満（不足）」を－0.5点、「不満（不足）」を－1.0点として加点し、回答者数で割って平均点を算出したところ、得点がプラスの項目が多く、満足度が高くなっています。一方、「23. 歩道の整備」、「24. バスなどの公共交通の充実」では得点がマイナスになっており、満足度が低くなっています。

Ⅴ　「総合計画の指標に関する項目」などについて

運動習慣の有無

問７　あなたは運動する習慣がありますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

※運動習慣ありの定義…１回30分、週２日、１年以上運動を継続している。



運動習慣の有無は、「運動習慣がない」が58.6%と最も多く、次いで「運動習慣がある」が37.8%、「わからない」が1.8%となっています。

性別にみると、「運動習慣がない」が“女性”で62.9%と多くなっています。

年代別にみると、「運動習慣がある」が“30代から40代”で２割台と少なくなっています。

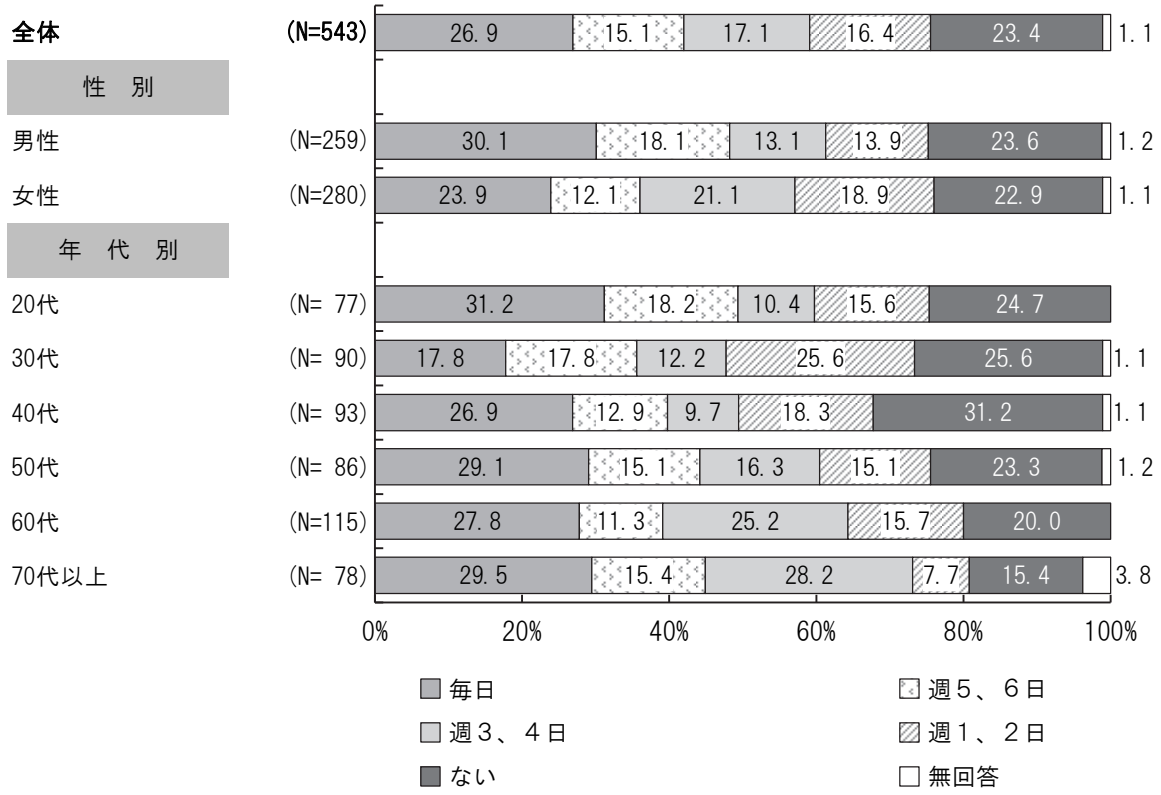
年度別にみると、平成27年度以降「運動習慣がない」は５割超で推移しています。

10分以上続けて歩く週あたりの日数

問８　あなたは平均的な１週間で10分以上続けて歩くことは何日ありますか。

（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

※歩くとは仕事や日常生活で歩くこと、ある場所からある場所へ移動すること、あるいは趣味や運動としてのウォーキング、散歩などを含みます。



10分以上続けて歩く週あたりの日数は、「毎日」が26.9%と最も多く、次いで「ない」が23.4%、「週３、４日」が17.1%などとなっています。

性別にみると、「毎日」が“男性”で30.1%と多くなっています。

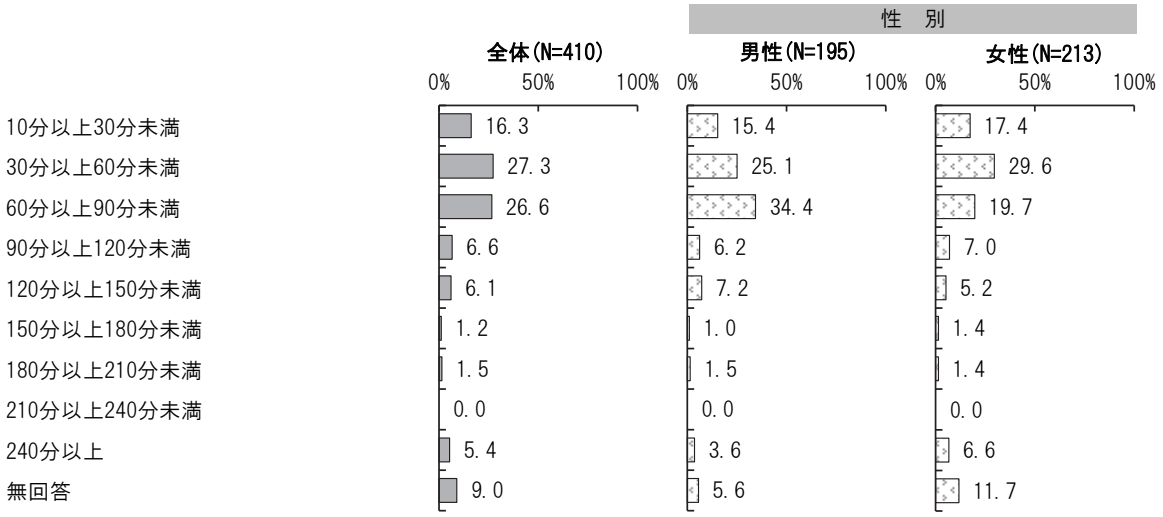
年代別にみると、「ない」が“40代”で31.2%と多くなっています。

歩行時間

※問８で「毎日」、「週５、６日」、「週３、４日」、「週１、２日」とお答えの方にお伺いします。

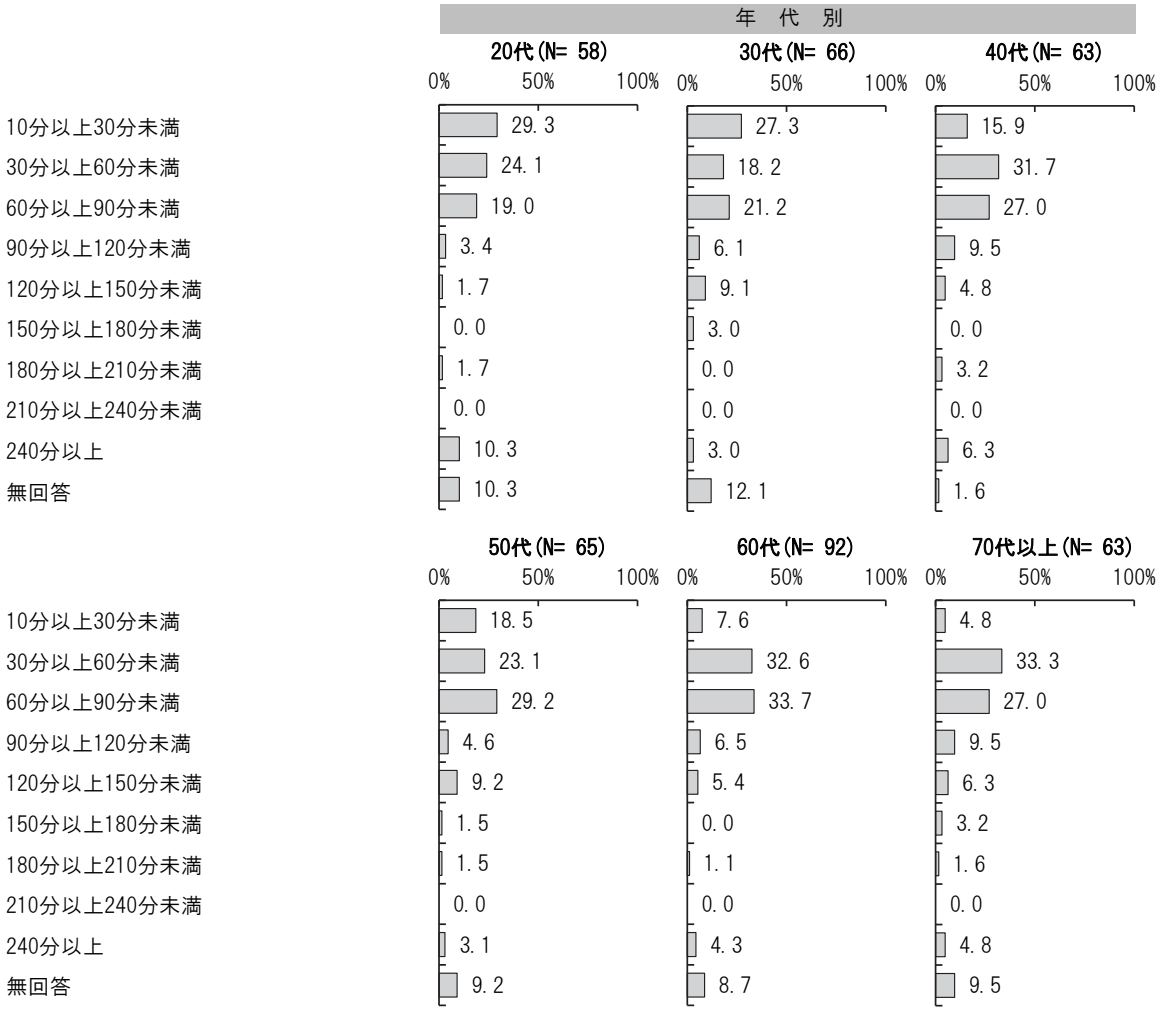
補問８－１　１日の平均的な歩行時間を選んで下さい。

＜10分以上続けて歩いた時の合計時間をお答え下さい。＞



歩行時間は、「30分以上60分未満」が27.3%と最も多く、次いで「60分以上90分未満」が26.6%、「10分以上30分未満」が16.3%などとなっています。

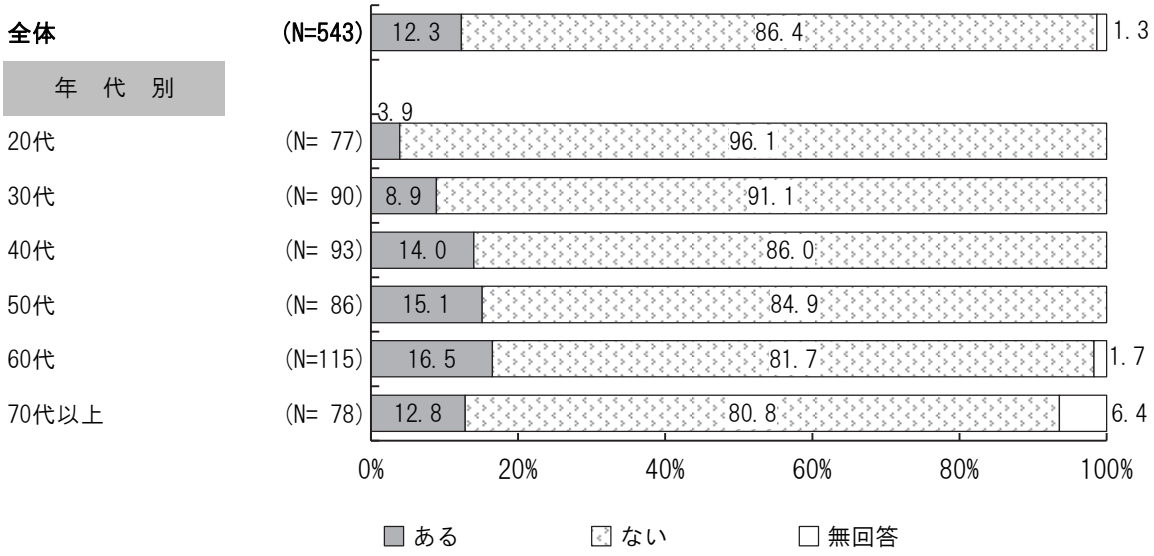
性別にみると、“男性”では「60分以上90分未満」が34.4%で最も多く、“女性”では「30分以上60分未満」が29.6%で最も多くなっています。



年代別にみると、全ての年代で『10分以上90分未満』が回答の６～７割を占めています。

ラジオ体操を週１回以上行うことの有無

問９　あなたはラジオ体操を週１回以上行うことがありますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



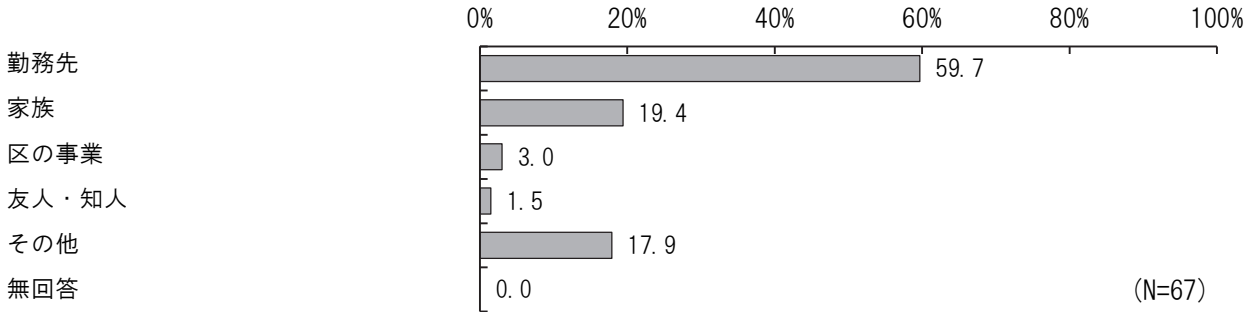
ラジオ体操を週１回以上行うことの有無は、「ある」が12.3%、「ない」が86.4%となっています。

年代別にみると、年代が下がるほど「ない」が多くなる傾向がみられます。

ラジオ体操を行う機会

※問９で「ある」とお答えの方にお伺いします。

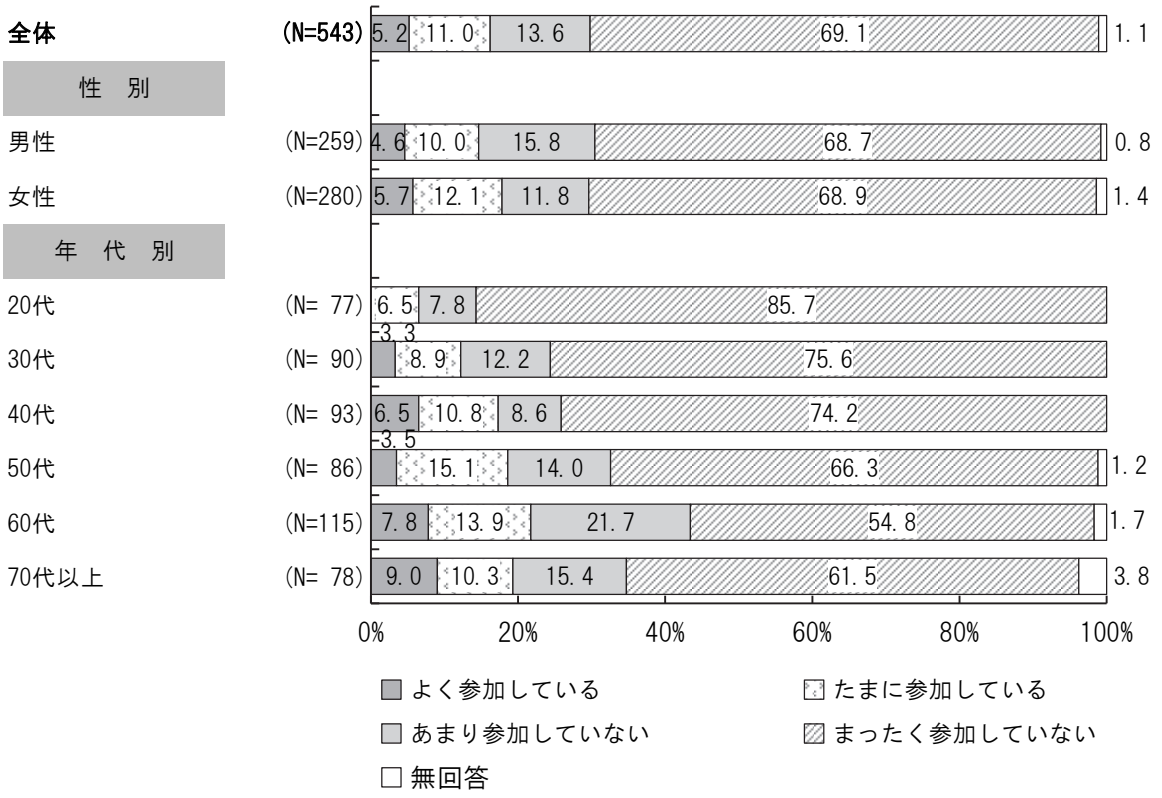
補問９－１　行う機会として当てはまるもの全てに○をつけて下さい。



ラジオ体操を行う機会は、「勤務先」が59.7%と最も多く、次いで「家族」が19.4%、「その他」が17.9%などとなっています。

町が主催しているスポーツ・レクリエーション活動の参加状況

問10　あなたは、町が主催しているスポーツ・レクリエーション活動（地域総合型スポーツクラブ等）に参加していますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



町が主催しているスポーツ・レクリエーション活動の参加状況は、「まったく参加していない」が69.1%と最も多く、次いで「あまり参加していない」が13.6%、「たまに参加している」が11.0%などとなっています。また、『参加している』（「よく参加している」＋「たまに参加している」）は16.2%、『参加していない』（「あまり参加していない」＋「まったく参加していない」）は82.7%となっています。

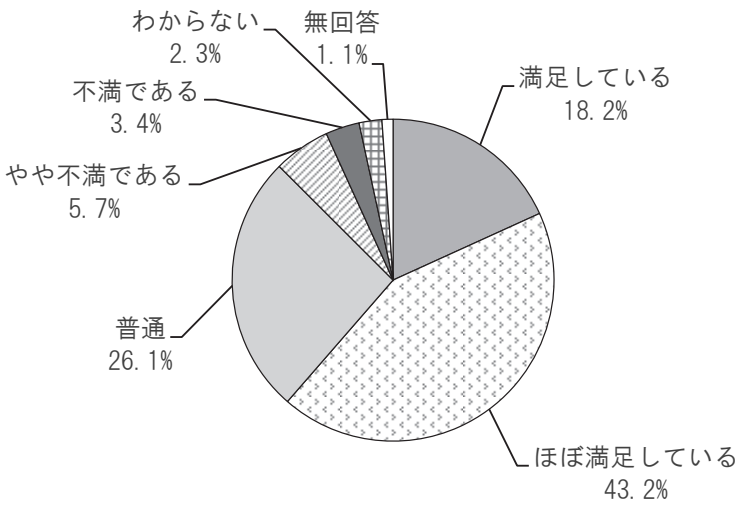
性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、概ね年代が上がるほど「まったく参加していない」が少なくなる傾向がみられます。

町が主催しているスポーツ・レクリエーション活動の満足状況

※問10で「よく参加している」または「たまに参加している」とお答えの方にお伺いします。

補問10－１　町が主催しているスポーツ・レクリエーション活動（地域総合型スポーツクラブ等）に満足していますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



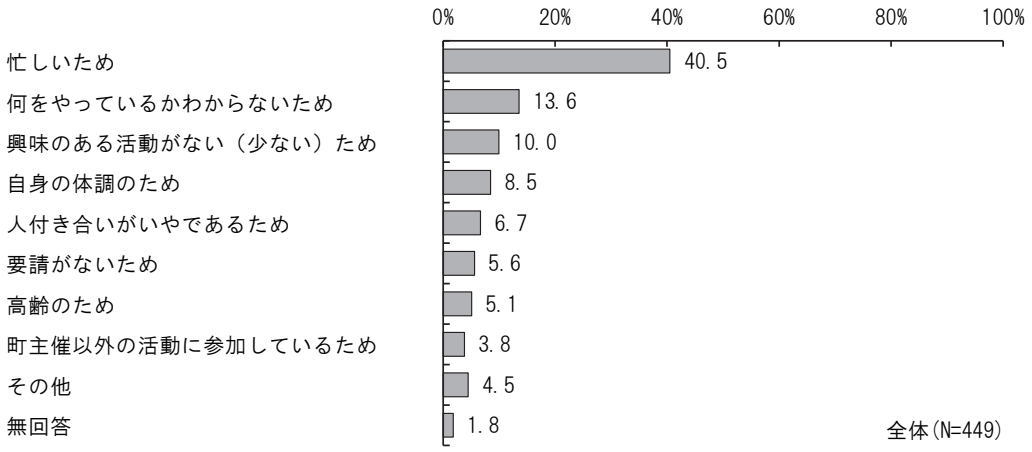
町が主催しているスポーツ・レクリエーション活動の満足状況は、「ほぼ満足している」が43.2%と最も多く、次いで「普通」が26.1%、「満足している」が18.2%などとなっています。

町が主催しているスポーツ・レクリエーション活動に参加していない理由

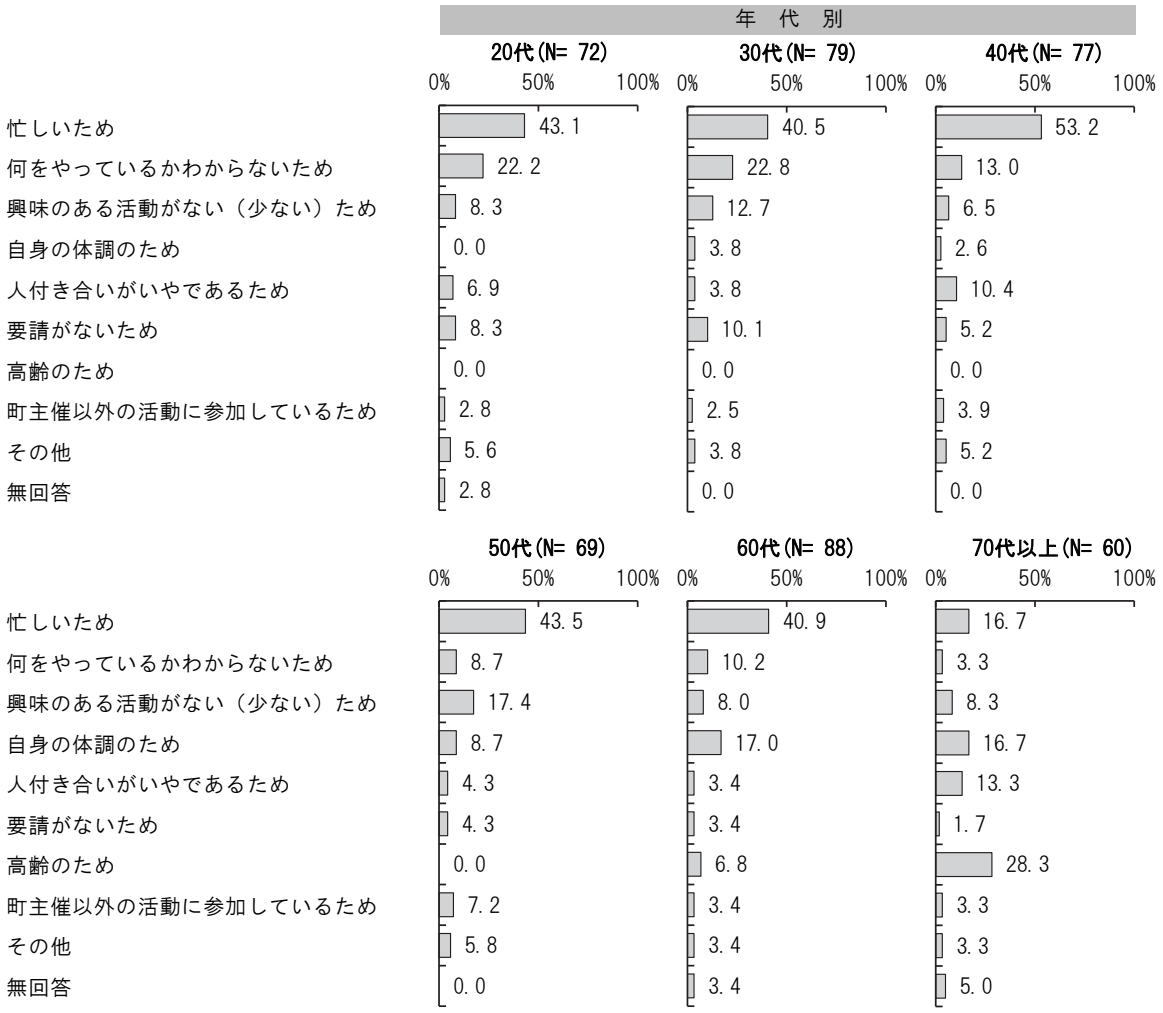
※問10で「あまり参加していない」または「まったく参加していない」とお答えの方にお伺いします。

補問10－２　参加していない理由として最も当てはまるものはどれですか。

（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



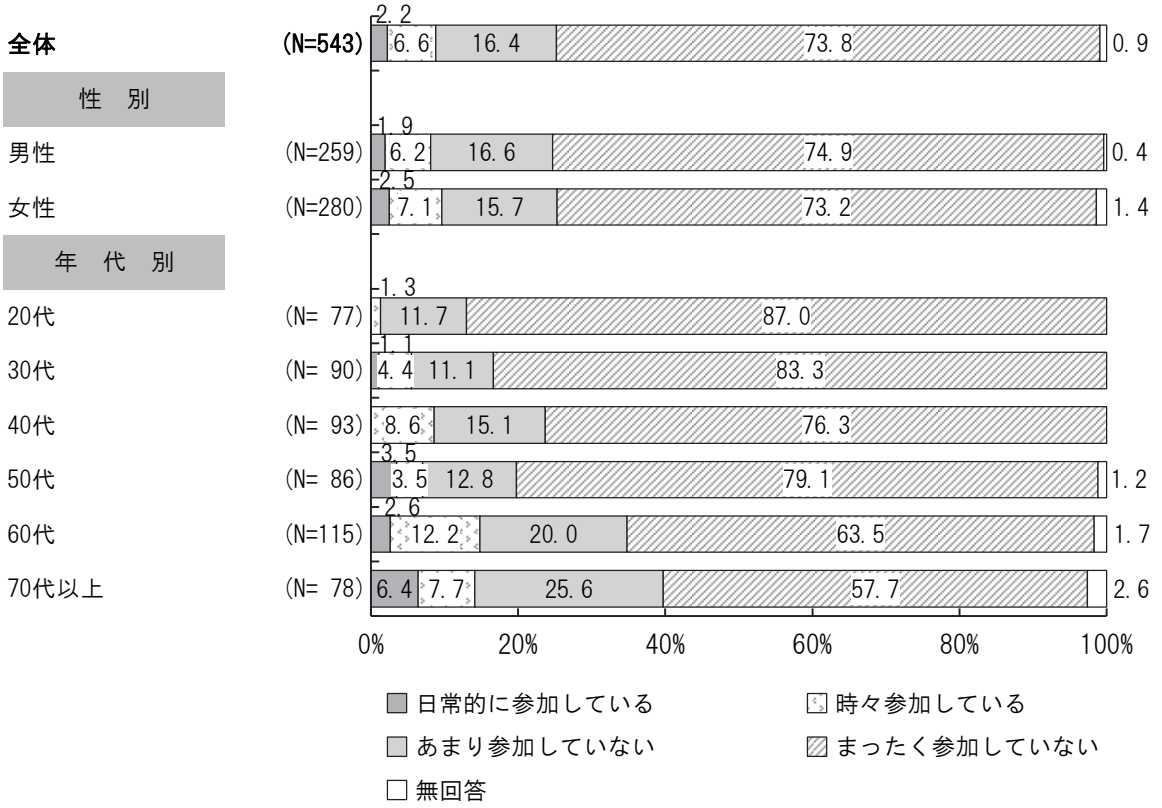
町が主催しているスポーツ・レクリエーション活動に参加していない理由は、「忙しいため」が40.5%と最も多く、次いで「何をやっているかわからないため」が13.6%、「興味のある活動がない（少ない）ため」が10.0%などとなっています。



年代別にみると、“70代以上”を除く年代では「忙しいため」が最も多く、“70代以上”では「高齢のため」が最も多くなっています。また、“20代から30代”では「何をやっているかわからないため」が２割を超え、他の年代と比べて多くなっています。

地域や住民が主体となって行う健康づくり活動の参加状況

問11　あなたは、地域や住民が主体となって行う（町主催以外）健康づくり活動に参加していますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



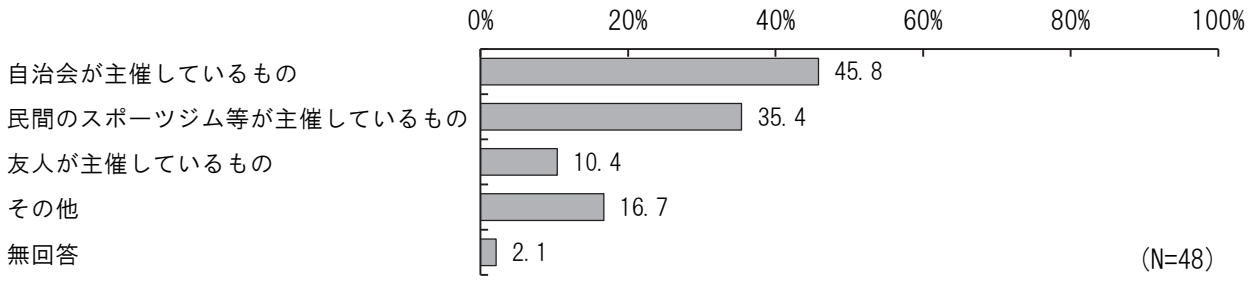
地域や住民が主体となって行う健康づくり活動の参加状況は、「まったく参加していない」が73.8%と最も多く、次いで「あまり参加していない」が16.4%、「時々参加している」が6.6%などとなっています。また、『参加している』（「日常的に参加している」＋「時々参加している」）は8.8%、『参加していない』（「あまり参加していない」＋「まったく参加していない」）は90.2%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、年齢が上がるほど「まったく参加していない」が少なくなる傾向がみられます。

健康づくり活動の主体となっている団体

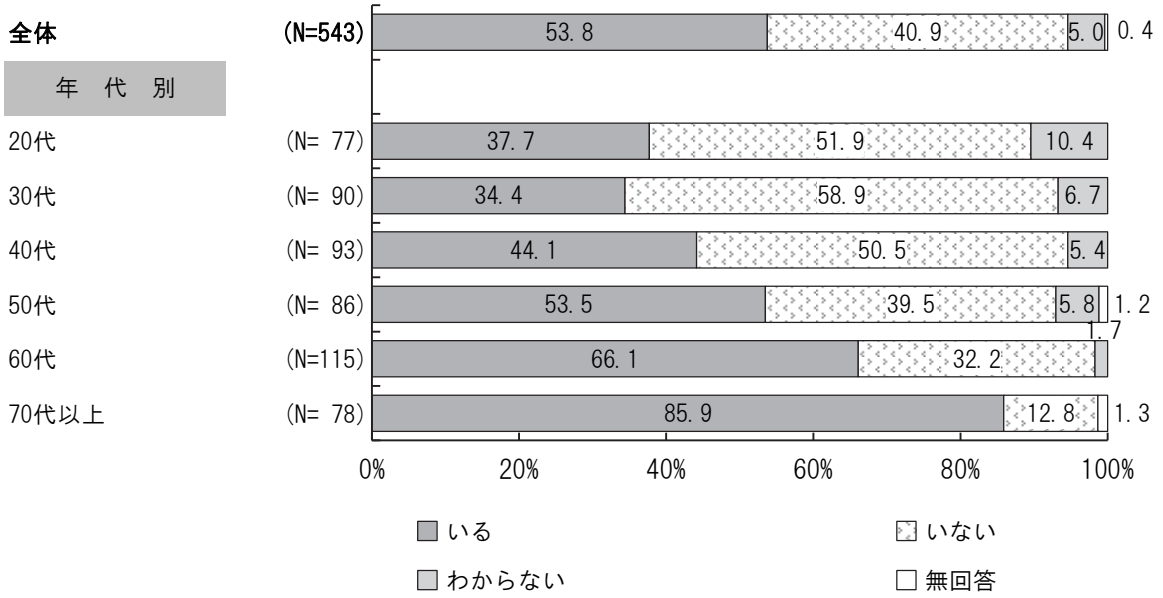
※問11で「日常的に参加している」または「時々参加している」とお答えの方にお伺いします。
補問11－１　どのような団体が主体となっている活動ですか。（該当する番号すべてに○をつけて下さい）



健康づくり活動の主体となっている団体は、「自治会が主催しているもの」が45.8%と最も多く、次いで「民間のスポーツジム等が主催しているもの」が35.4%などとなっています。

かかりつけ医の有無

問12　かかりつけ医の有無についてお伺いします。あなたは、身近に体調や健康について相談できる「かかりつけ医」がいますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



かかりつけ医の有無は、「いる」が53.8%と最も多く、次いで「いない」が40.9%、「わからない」が5.0%となっています。

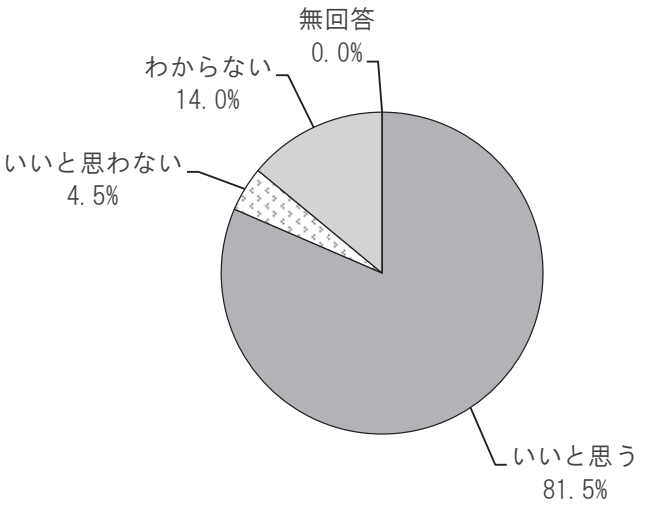
年代別にみると、概ね年代が上がるほど「いる」が多くなる傾向がみられます。

かかりつけ医がいたらいいと思うか

※問12で「いない」とお答えの方にお伺いします。

補問12－１　「かかりつけ医」がいたらいいと思いますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

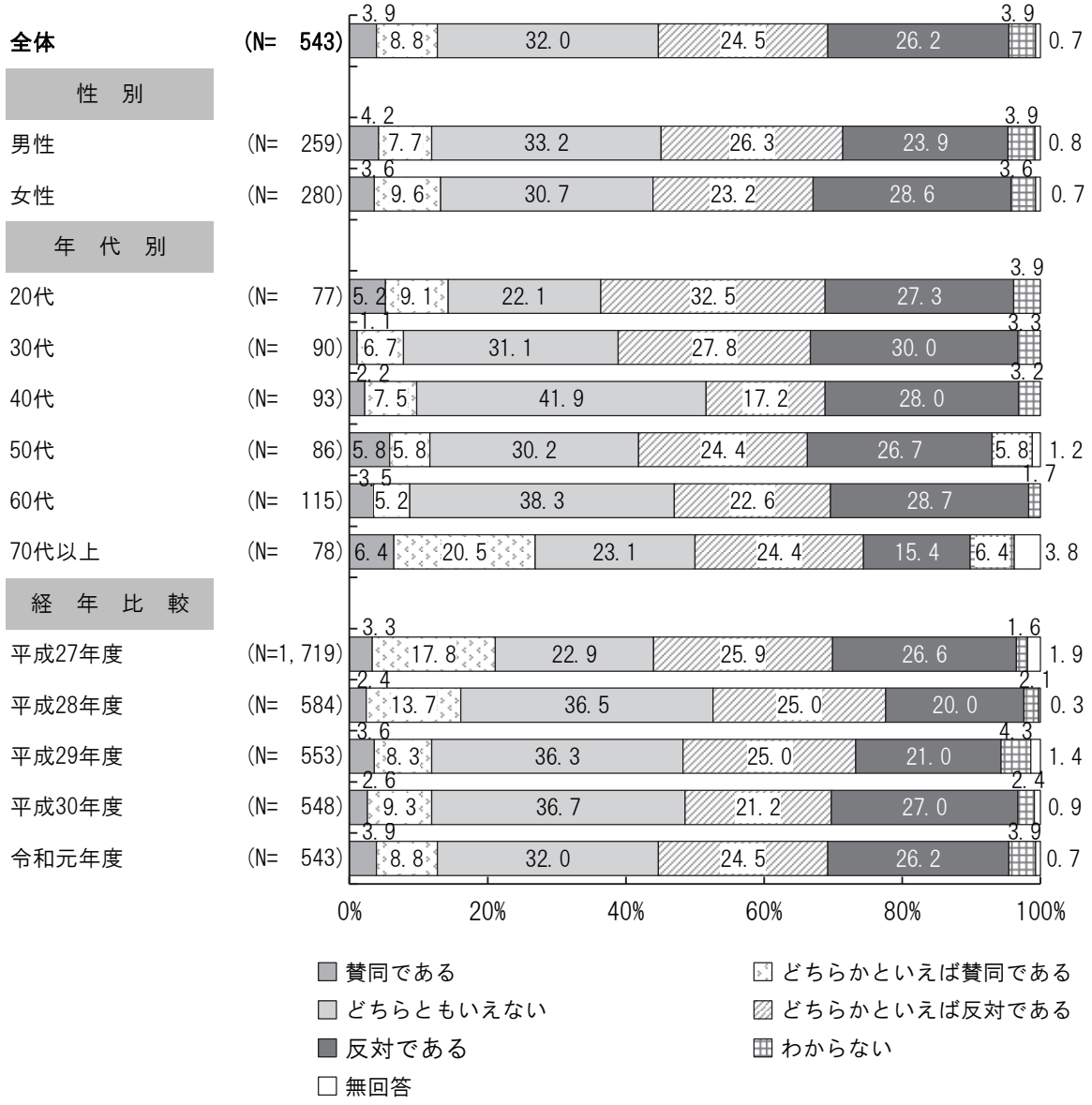
(N=222)



かかりつけ医がいたらいいと思うかは、「いいと思う」が81.5%と最も多く、次いで「わからない」が14.0%、「いいと思わない」が4.5%となっています。

男女の役割を固定的に考えることについて

問13　あなたは「男は仕事、女は家庭」というような男女の役割を固定的に考えること（性別役割分担意識）について、どう思いますか。（自分の考えに近い番号に１つ○をつけて下さい）



男女の役割を固定的に考えることについては、「どちらともいえない」が32.0%と最も多く、次いで「反対である」が26.2%、「どちらかといえば反対である」が24.5%などとなっています。また、『賛同』（「賛同である」＋「どちらかといえば賛同である」）は12.7%、『反対』（「どちらかといえば反対である」＋「反対である」）は50.7%となっています。

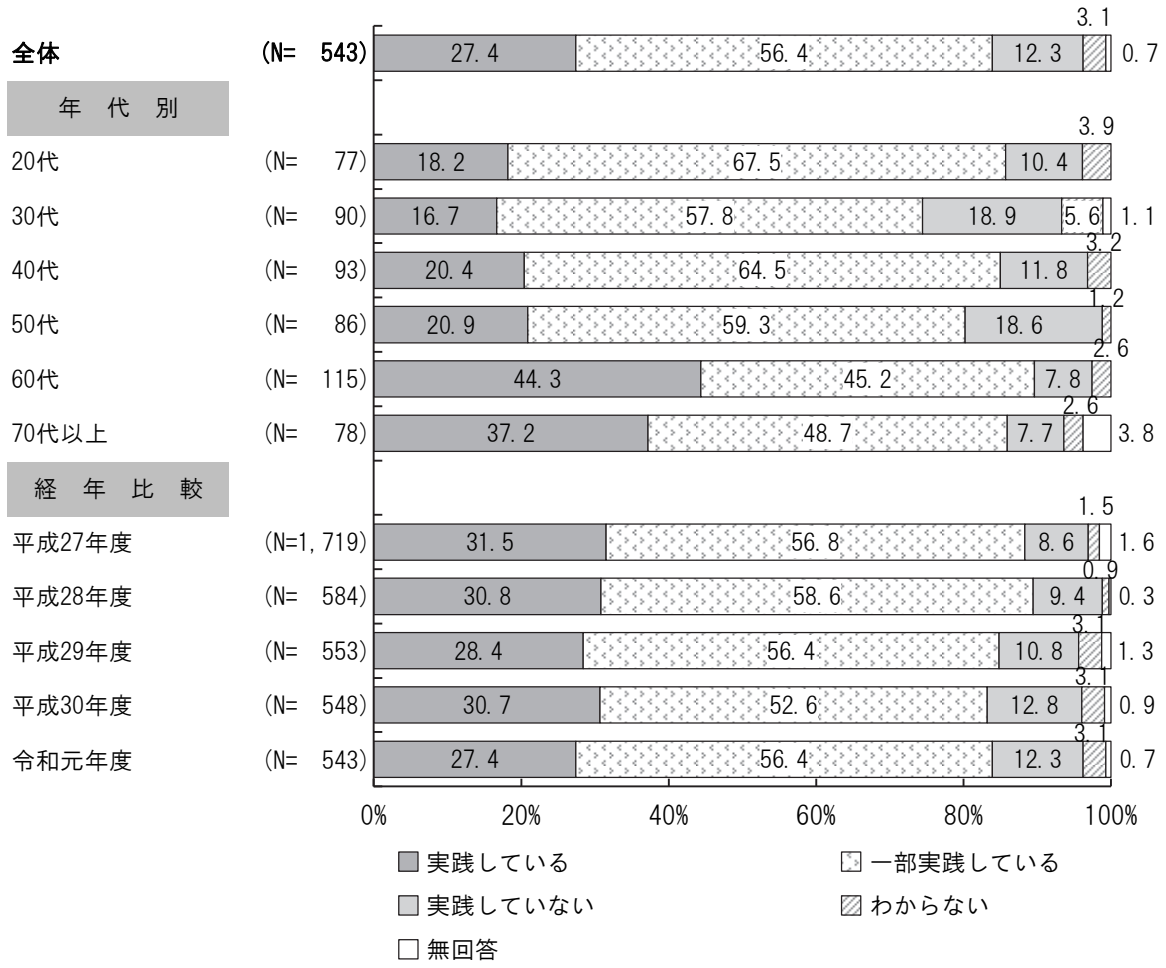
性別にみると、「反対である」が“女性”で28.6%とやや多くなっています。

年代別にみると、『反対』が“70代以上”で39.8%と少なくなっています。

年度別にみると、近年になるほど『賛同』が少なくなる傾向がみられます。

家庭における節電の実施状況

問14　あなたの家庭では、「節電」を実践していますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



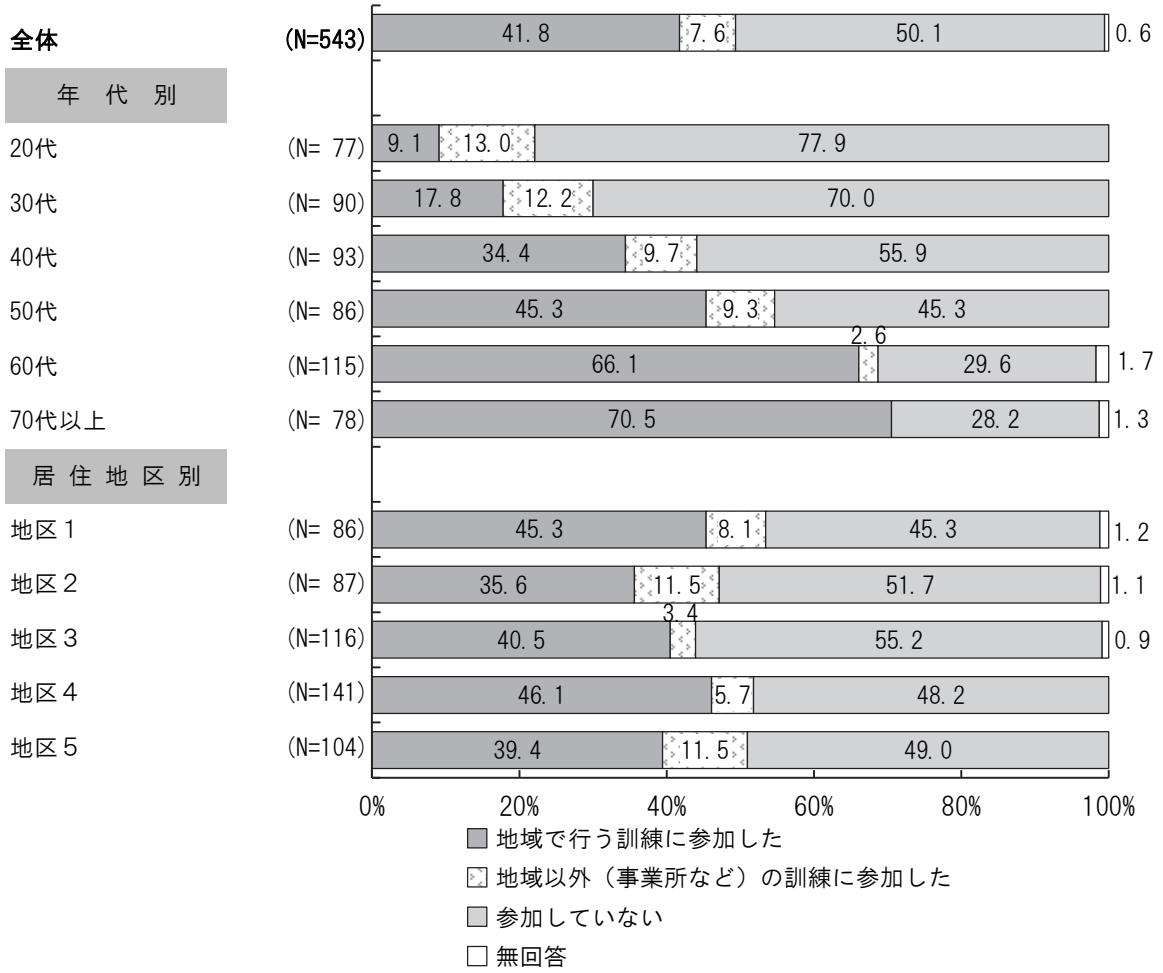
家庭における節電の実施状況は、「一部実践している」が56.4%と最も多く、次いで「実践している」が27.4%、「実践していない」が12.3%などとなっています。

年代別にみると、「実践している」は“60代”、“70代以上”で４割前後と多くなっています。

年度別にみると、全ての年度において「一部実践している」が５割を超えて最も多くなっています。

町内で実施した平成30年総合防災訓練の参加状況

問15　あなたは、町内で実施した平成30年総合防災訓練（８月最終日曜日）に参加しましたか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



町内で実施した平成30年総合防災訓練の参加状況は、「参加していない」が50.1％と最も多く、次いで「地域で行う訓練に参加した」が41.8％、「地域以外（事業所など）の訓練に参加した」が7.6％となっています。

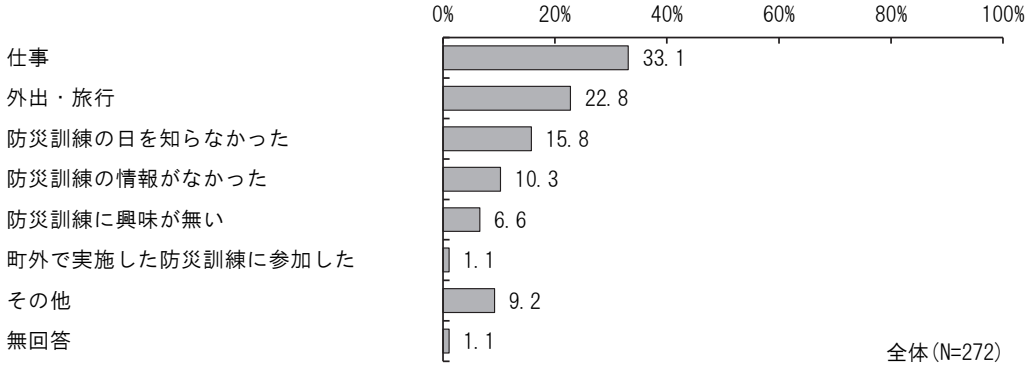
年代別にみると、年齢が上がるほど「地域で行う訓練に参加した」が多くなる傾向がみられます。

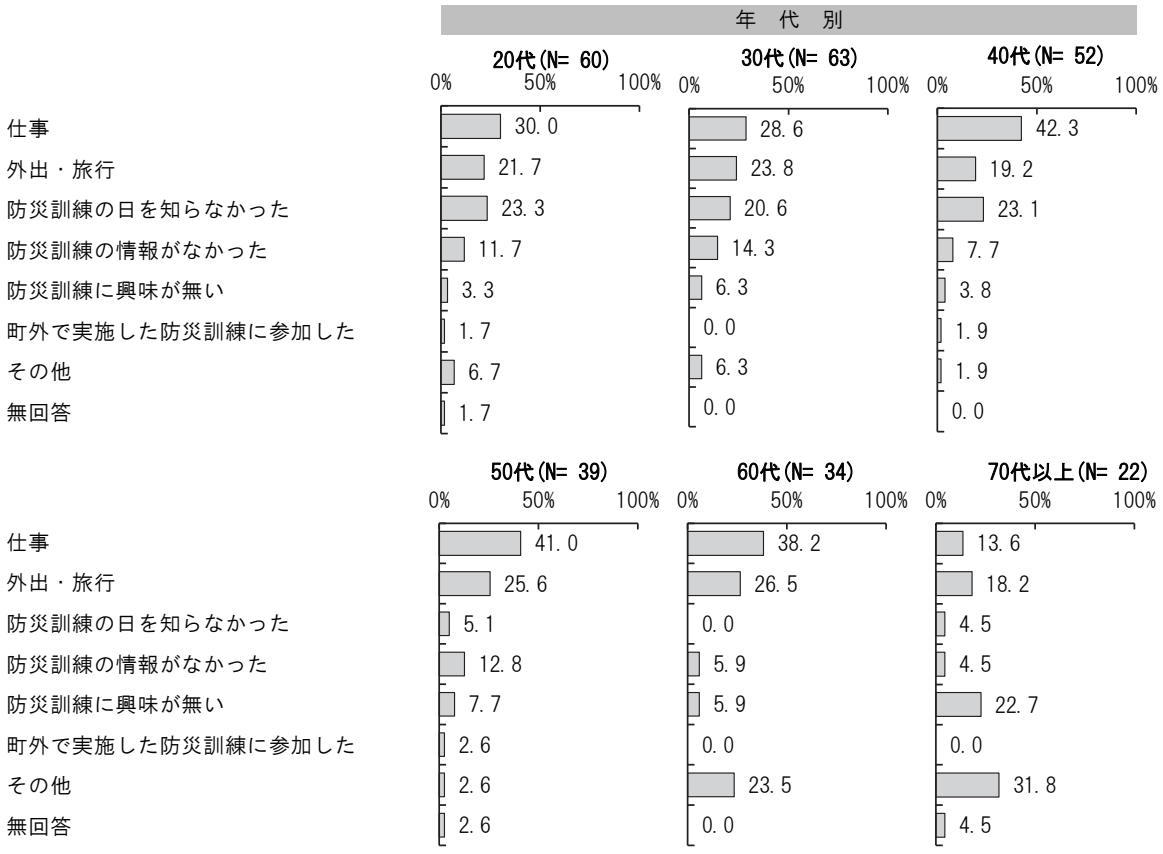
居住地区別にみると、「地区１」、「地区３」、「地区４」で「地域で行う訓練に参加した」が４割を超えています。

防災訓練に参加していない理由

※問15で「参加していない」とお答えの方にお伺いします。

補問15－１　防災訓練に参加していない理由をお聞かせください。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）





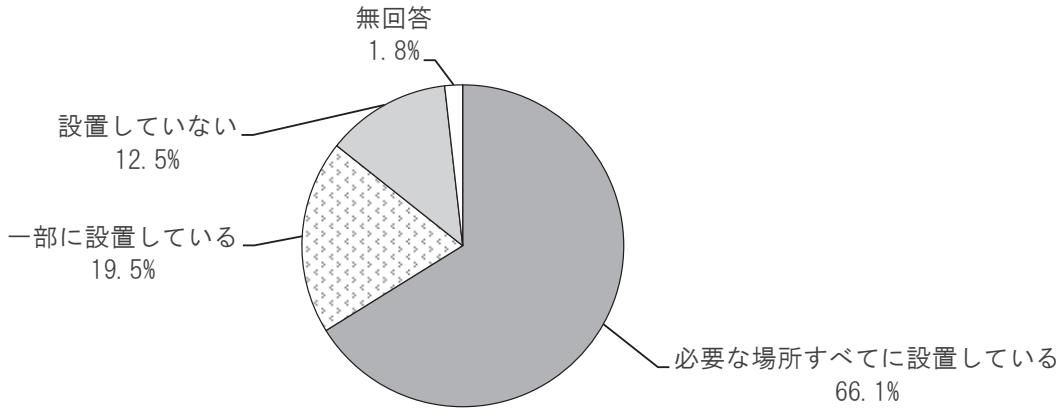
防災訓練に参加していない理由は、「仕事」が33.1％と最も多く、次いで「外出・旅行」が22.8％、「防災訓練の日を知らなかった」が15.8％などとなっています。

年代別にみると、“70代以上”を除く年代で「仕事」が最も多くなっています。また、“20代から40代”では「防災訓練の日を知らなかった」が２割台と他の年代に比べ多くなっています。

住宅用火災警報器の設置状況

問16　あなたがお住まいの住宅では、住宅用火災警報器の設置はお済みですか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

(N=543)



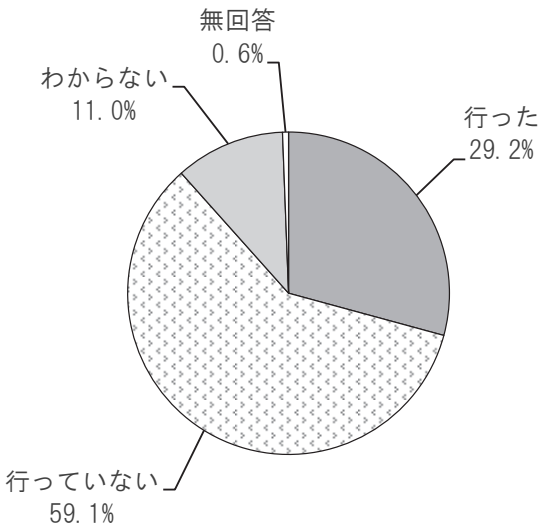
住宅用火災警報器の設置状況は、「必要な場所すべてに設置している」が66.1%と最も多く、次いで「一部に設置している」が19.5%、「設置していない」が12.5%となっています。

半年以内に住宅用火災警報器の作動確認

※問16で「必要な場所すべてに設置している」または「一部に設置している」とお答えの方にお伺いします。

補問16－１　この半年以内に住宅用火災警報器の作動確認を行いましたか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

(N=465)

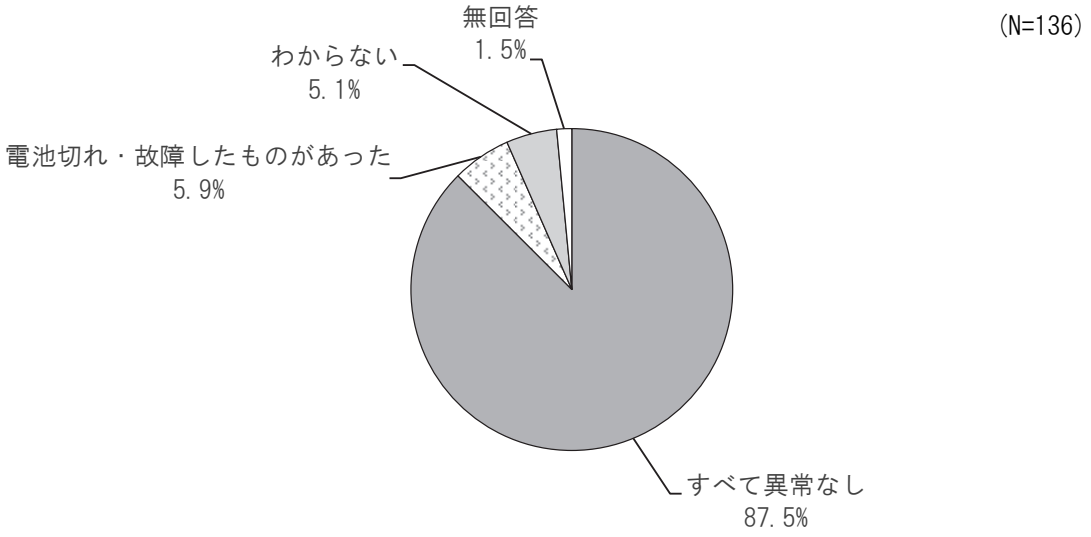


半年以内に住宅用火災警報器の作動確認を行ったかは、「行っていない」が59.1%と最も多く、次いで「行った」が29.2%、「わからない」が11.0%となっています。

住宅用火災警報器の作動確認の結果

※補問16－１で「行った」とお答えの方にお伺いします。

補問16－２　住宅用火災警報器の作動確認を実施した際の結果はどうでしたか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

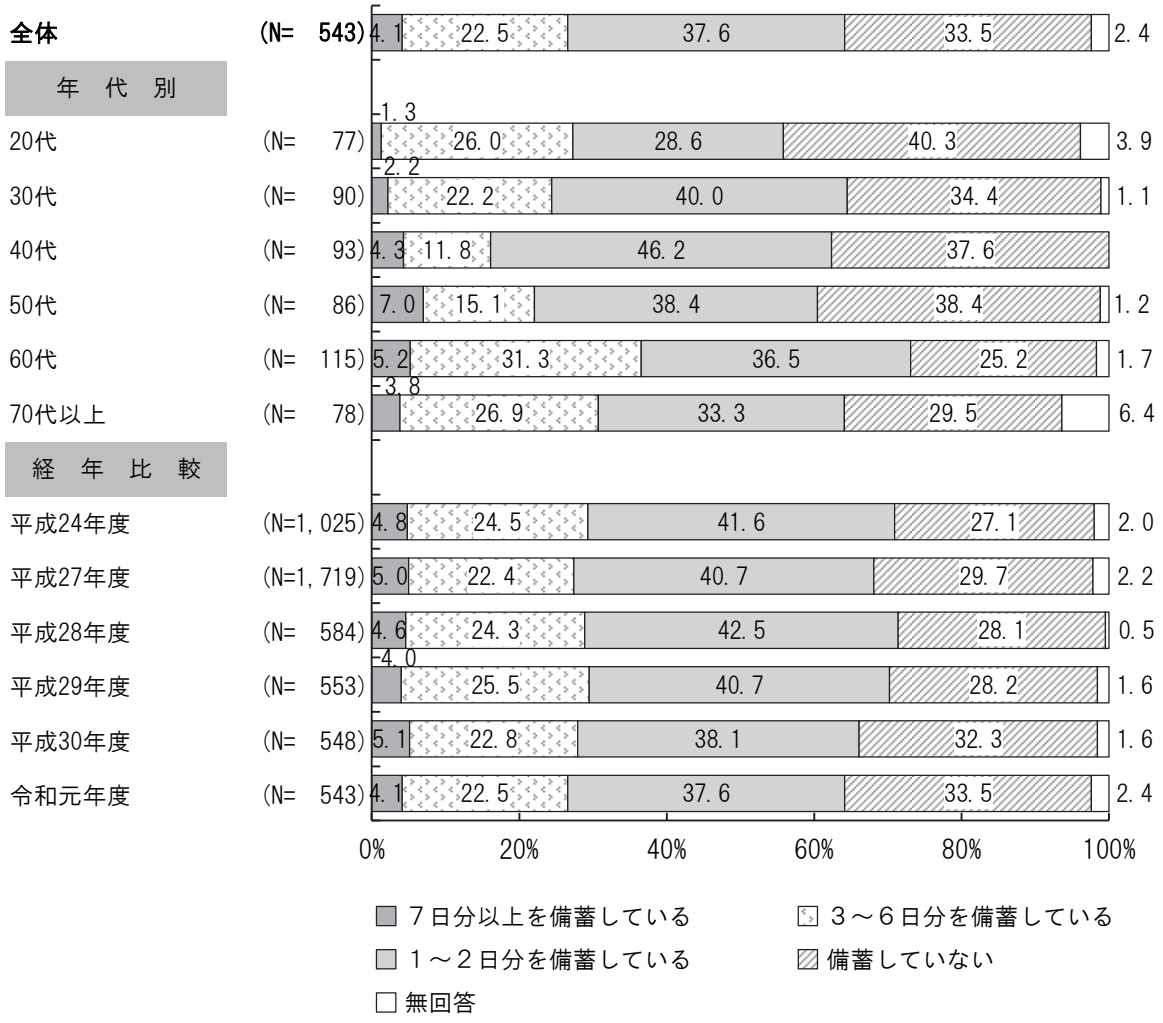


住宅用火災警報器の作動確認の結果は、「すべて異常なし」が87.5%と最も多く、次いで「電池切れ・故障したものがあった」が5.9%、「わからない」が5.1%となっています。

備蓄状況

問17　あなたの家庭では、非常持ち出し用を含めて、家族の何日分の食料や飲料水を備蓄していますか。（それぞれの項目について、該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．「食料」の備蓄状況

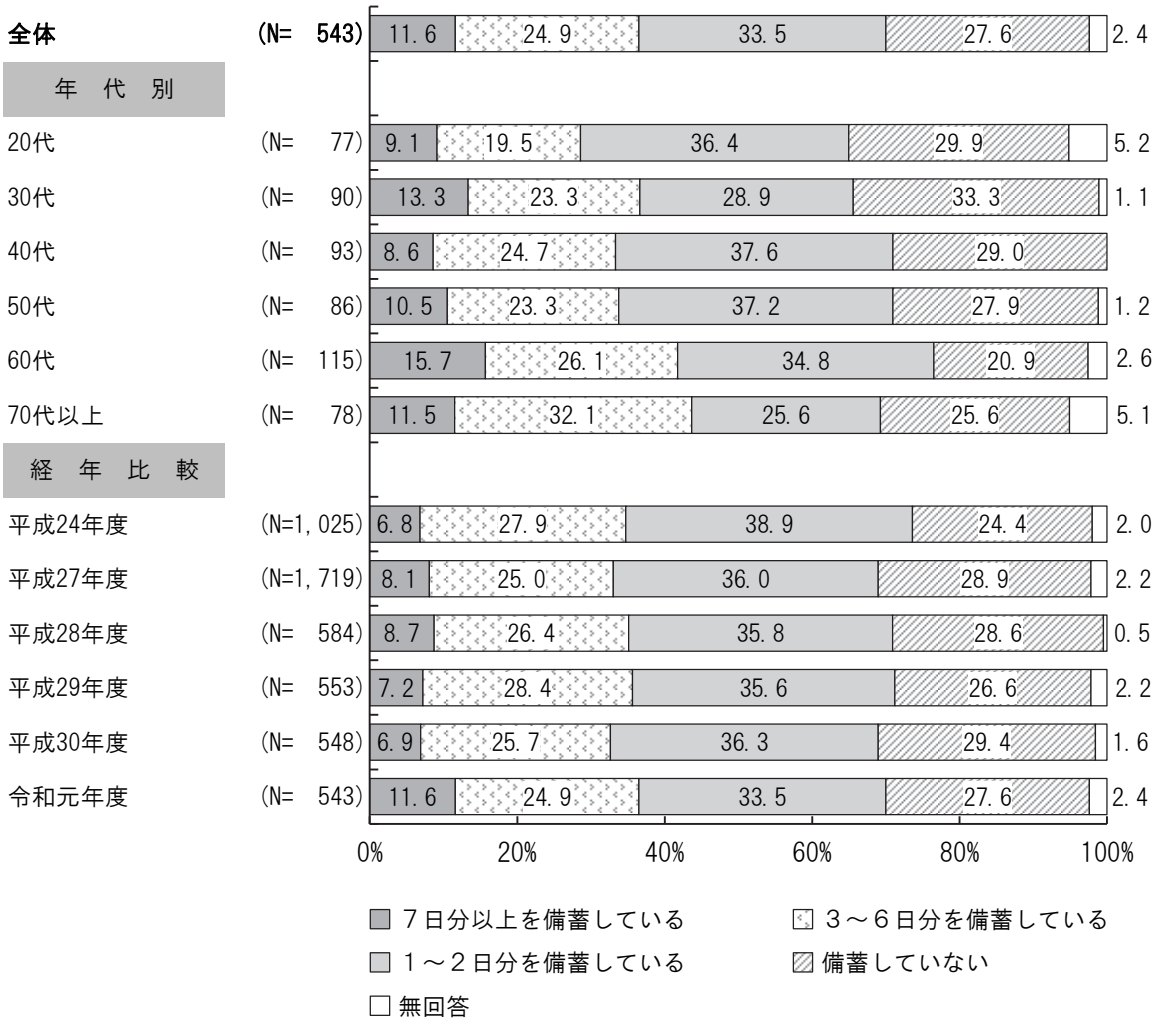


食料の備蓄状況は、「１～２日分を備蓄している」が37.6%と最も多く、次いで「備蓄していない」が33.5%、「３～６日分を備蓄している」が22.5%などとなっています。また、『３日分以上を備蓄している』（「７日分以上を備蓄している」＋「３～６日分を備蓄している」）は26.6%となっています。

年代別にみると、「備蓄していない」が“20代”で40.3%と多くなっています。

年度別にみると、全ての年度において「１～２日分を備蓄している」が３割を超えて最も多くなっています。また、「備蓄していない」が平成28年度以降やや増加傾向にあります。

２．「飲料水」の備蓄状況



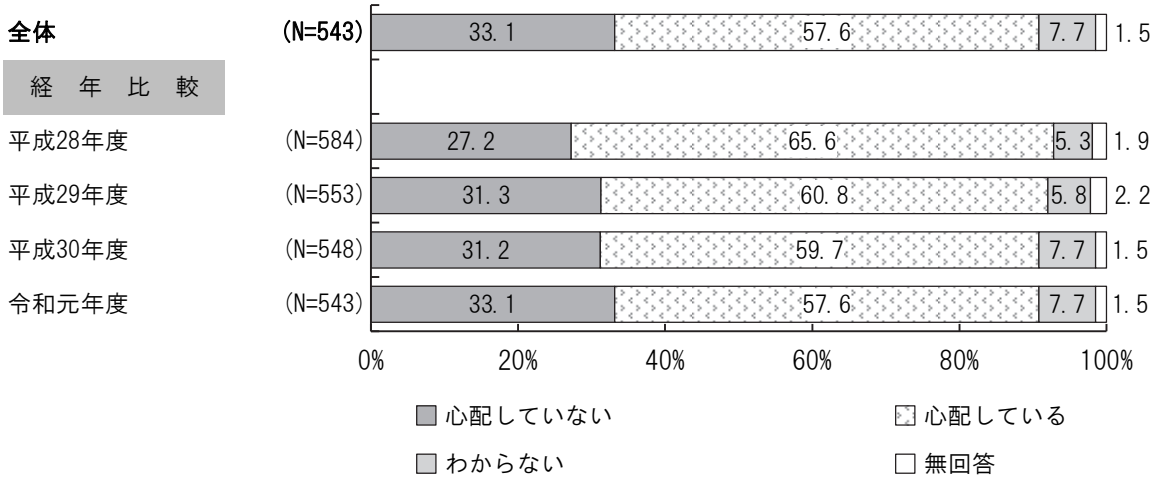
飲料水の備蓄状況は、「１～２日分を備蓄している」が33.5%と最も多く、次いで「備蓄していない」が27.6%、「３～６日分を備蓄している」が24.9%などとなっています。また、『３日分以上を備蓄している』（「７日分以上を備蓄している」＋「３～６日分を備蓄している」）は36.5%となっています。

年代別にみると、『備蓄していない』が“60代”で20.9%と少なくなっています。

年度別にみると、『３日分以上を備蓄している』は平成24年度以降３割台で推移しています。

大きな地震が発生した場合の家具などが転倒する心配の有無

問18　ご自宅では、大きな地震が発生した場合に、家具などの転倒の心配がありますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

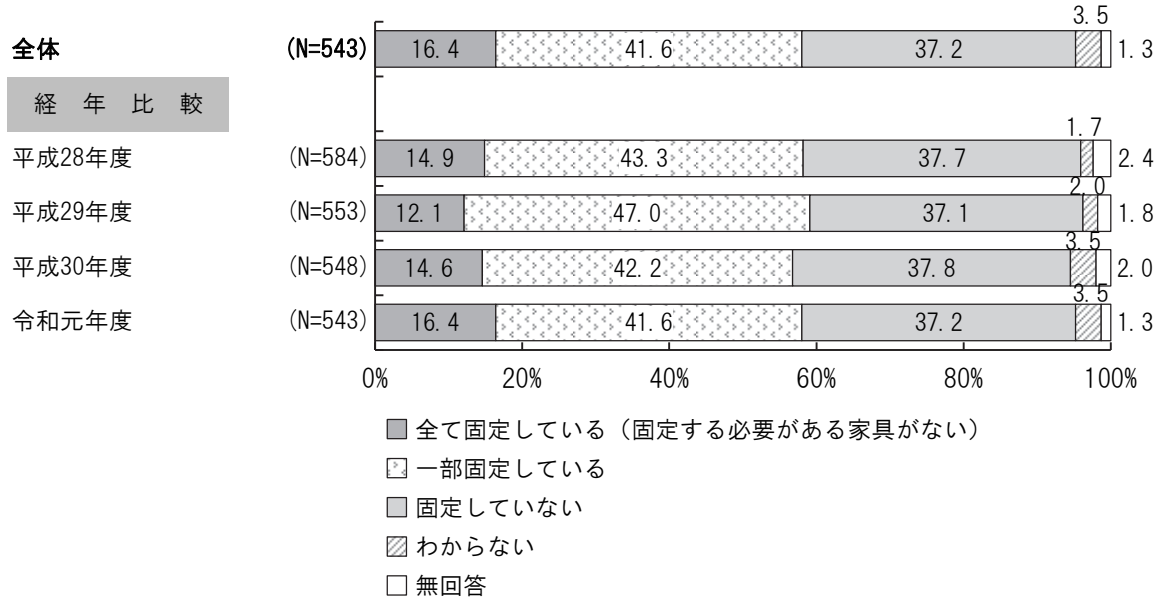


大きな地震が発生した場合の家具などが転倒する心配の有無は、「心配している」が57.6%と最も多く、次いで「心配していない」が33.1%、「わからない」が7.7%となっています。

年度別にみると、「心配している」はやや減少傾向にあります。

家具の固定状況

問19　ご自宅の家具などの固定をしていますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



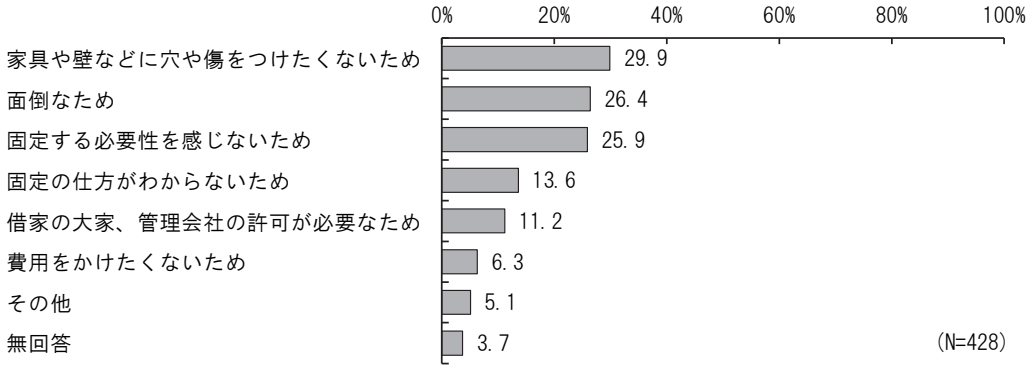
家具の固定状況は、「一部固定している」が41.6%と最も多く、次いで「固定していない」が37.2%、「全て固定している（固定する必要がある家具がない）」が16.4%などとなっています。

年度別にみると、大きな差はみられません。

一部固定・固定していない理由

※問19で「一部固定している」または「固定していない」とお答えの方にお伺いします。

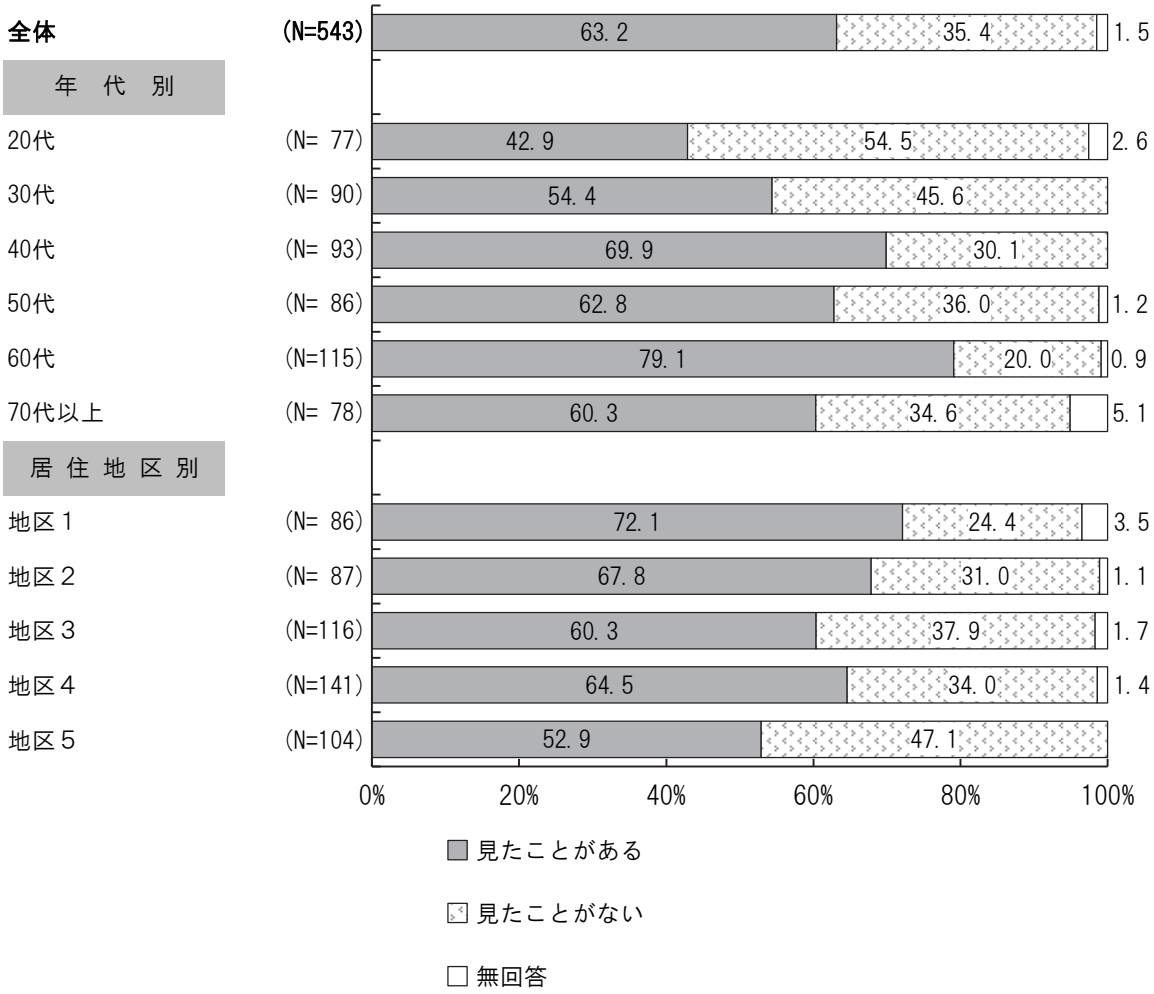
補問19－１　固定していない部分のある主な理由は何ですか。
（該当する番号に２つ以内で○をつけて下さい）



一部固定・固定していない理由は、「家具や壁などに穴や傷をつけたくないため」が29.9%と最も多く、次いで「面倒なため」が26.4%、「固定する必要性を感じないため」が25.9%などとなっています。

地域のハザードマップを見たことがあるか

問20　あなたは、お住まいの地域のハザードマップを見たことがありますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



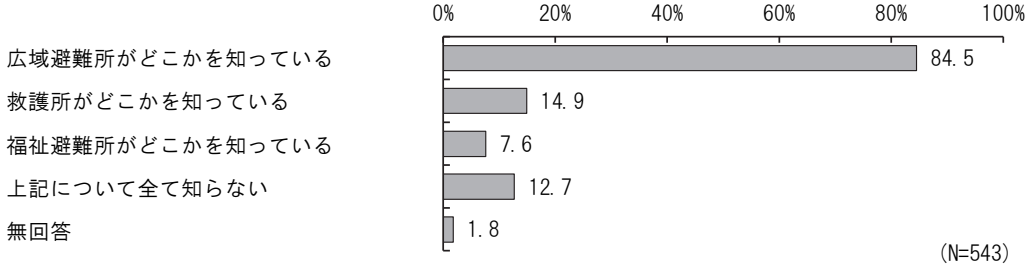
地域のハザードマップを見たことがあるかは、「見たことがある」が63.2%と最も多く、「見たことがない」は35.4%となっています。

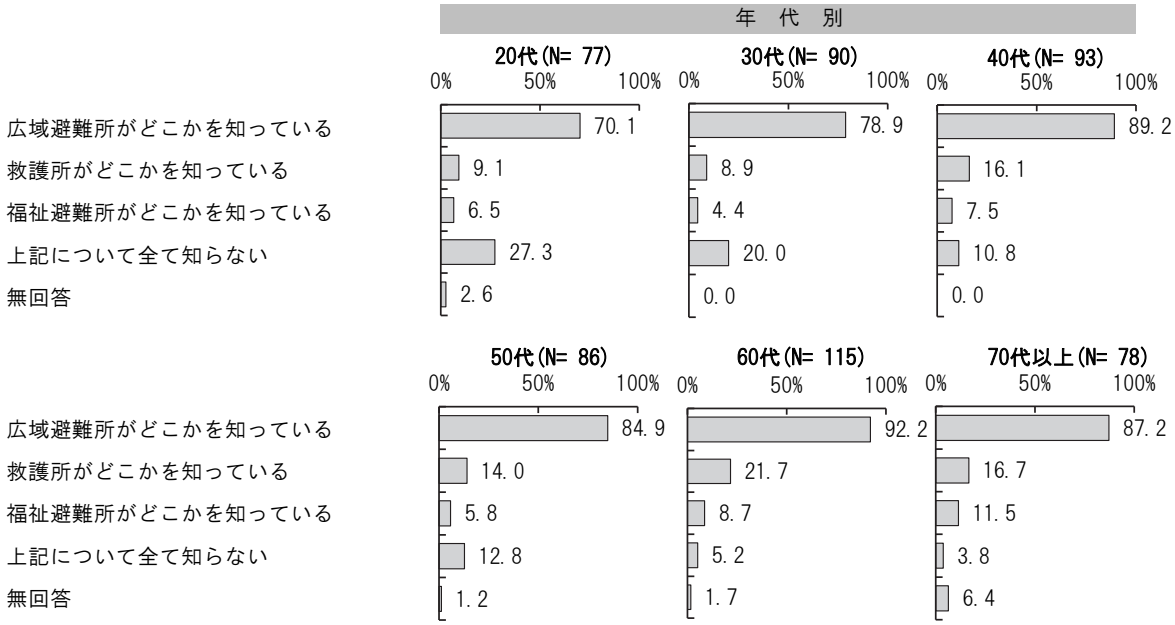
年代別にみると、“60代”で「見たことがある」が約８割と多くなっています。

居住地区別にみると、“地区５”で「見たことがある」が52.9%と他の地区に比べて少なくなっています。

地域における広域避難所、救護所、福祉避難所の場所を知っているか

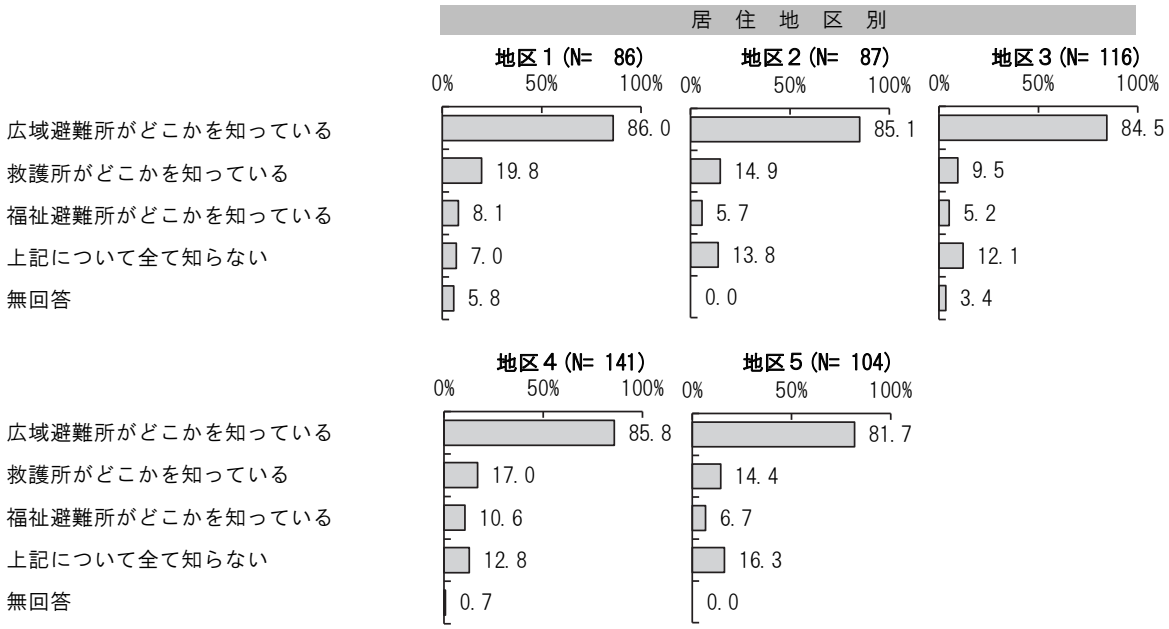
問21　あなたは、お住いの地域における広域避難所、救護所、福祉避難所の場所を知っていますか。
（該当する番号すべてに○をつけて下さい）





地域における広域避難所、救護所、福祉避難所の場所を知っているかは、「広域避難所がどこかを知っている」が84.5%、「救護所がどこかを知っている」が14.9%などとなっています。また、「上記について全て知らない」は12.7%となっています。

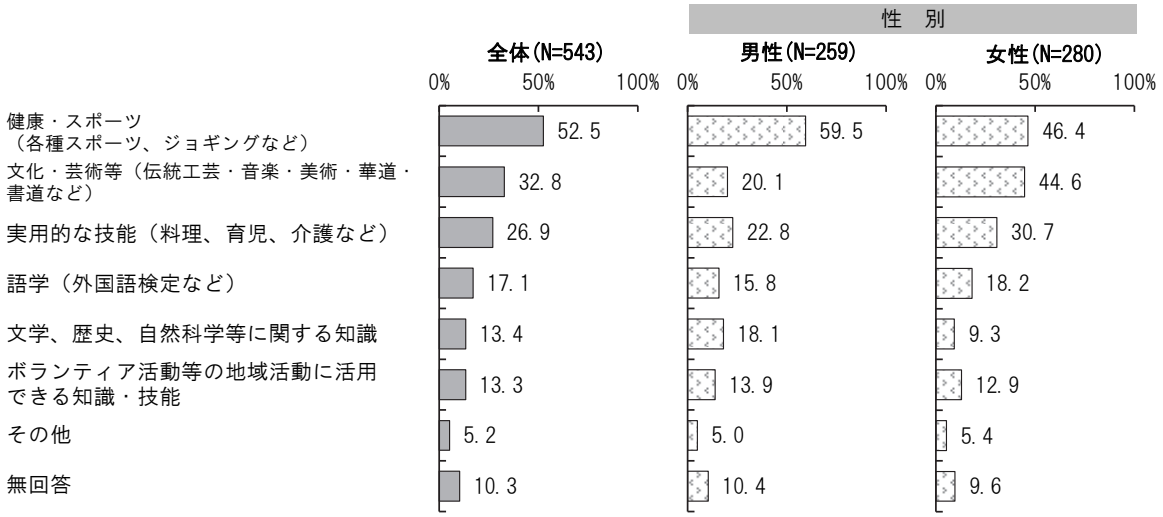
年代別にみると、「上記について全て知らない」は年齢が下がるほど増加する傾向がみられます。



居住地区別にみると、全ての地区で「広域避難所がどこかを知っている」が８割を超えています。
「上記について全て知らない」は“地区１”で7.0%と少なくなっています。

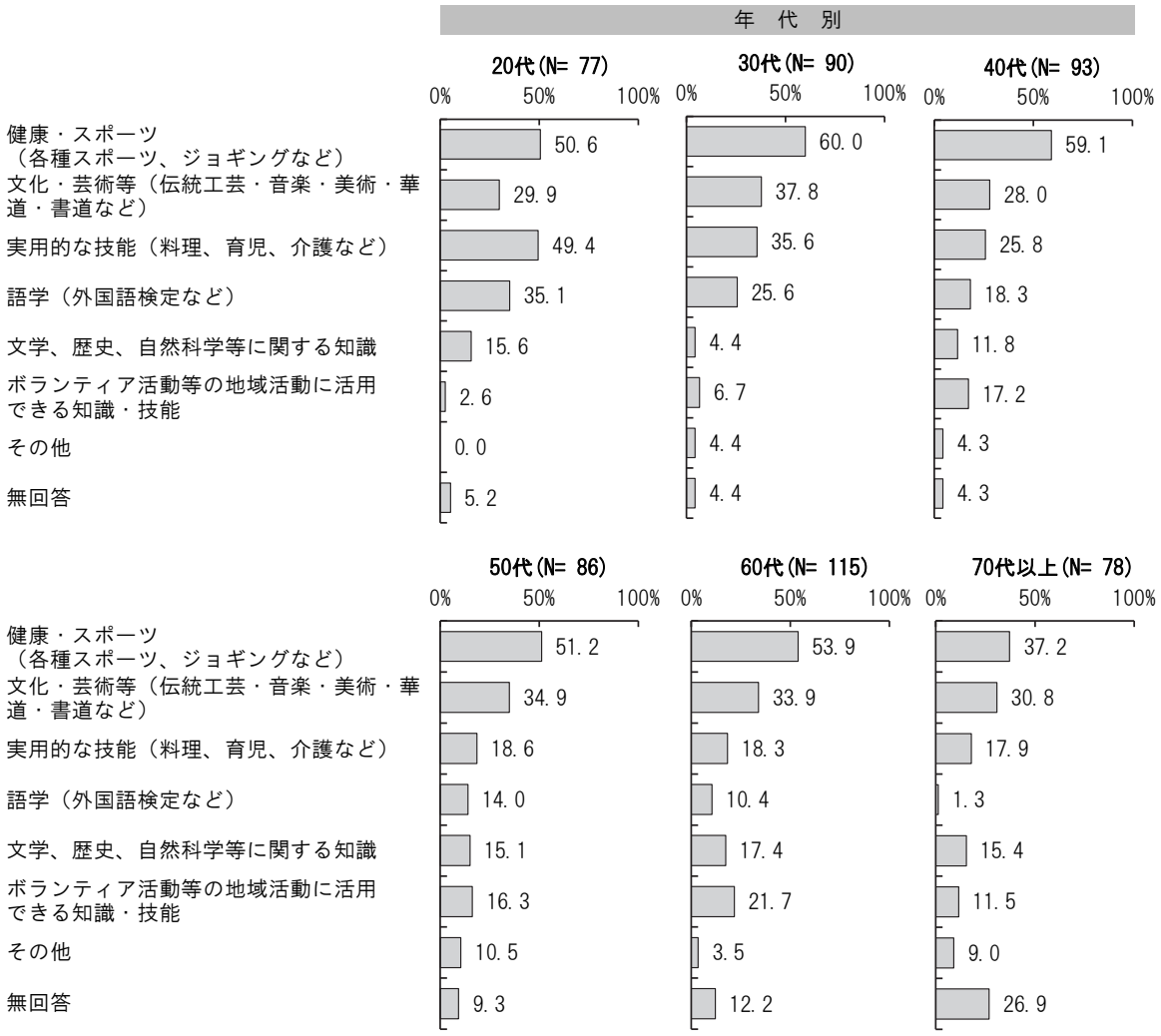
今後学びたいこと、学び続けたいこと

問22　町では、「生涯学習」に関する取組を推進していますが、今後学びたい、または今後も学び続けたいことは何ですか。（該当する番号に３つ以内で○をつけて下さい）



今後学びたいこと、学び続けたいことは、「健康・スポーツ（各種スポーツ、ジョギングなど）」が52.5%と最も多く、次いで「文化・芸術等（伝統工芸・音楽・美術・華道・書道など）」が32.8%、「実用的な技能（料理、育児、介護など）」が26.9%などとなっています。

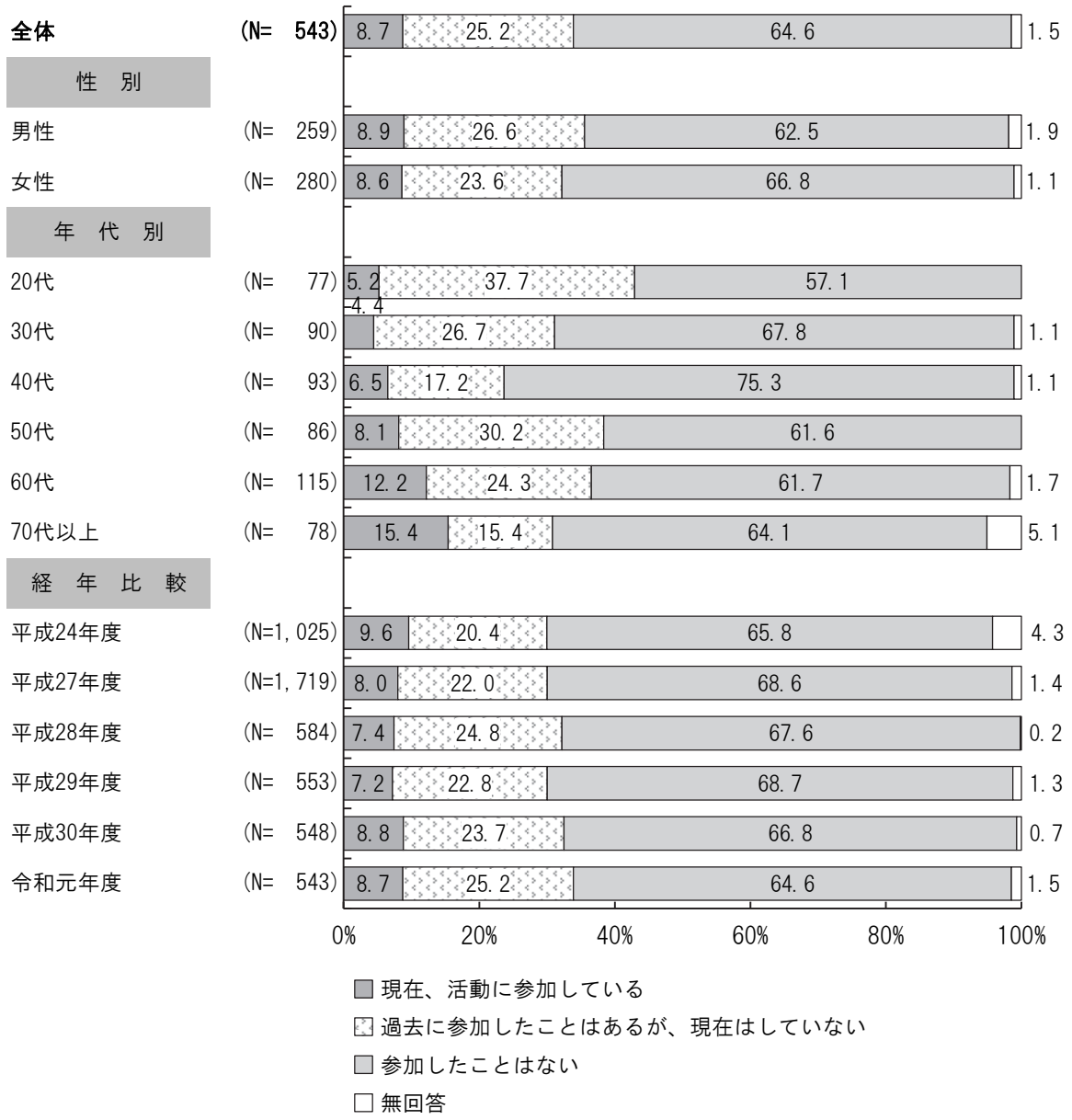
性別にみると、男女ともに「健康・スポーツ（各種スポーツ、ジョギングなど）」が最も多く、次いで、男性は「実用的な技能（料理、育児、介護など）」が22.8%、女性は「文化・芸術等（伝統工芸・音楽・美術・華道・書道など）」が44.6%となっています。



年代別にみると、全ての年代で「健康・スポーツ（各種スポーツ、ジョギングなど）」が最も多くなっています。また、“20代”では「実用的な技能（料理、育児、介護など）」が49.4％と他の年代と比べて多くなっています。

ボランティア活動の参加状況

問23　あなたは、ボランティア活動に参加をしていますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



ボランティア活動の参加状況は、「参加したことはない」が64.6%と最も多く、次いで「過去に参加したことはあるが、現在はしていない」が25.2%、「現在、活動に参加している」が8.7%となっています。

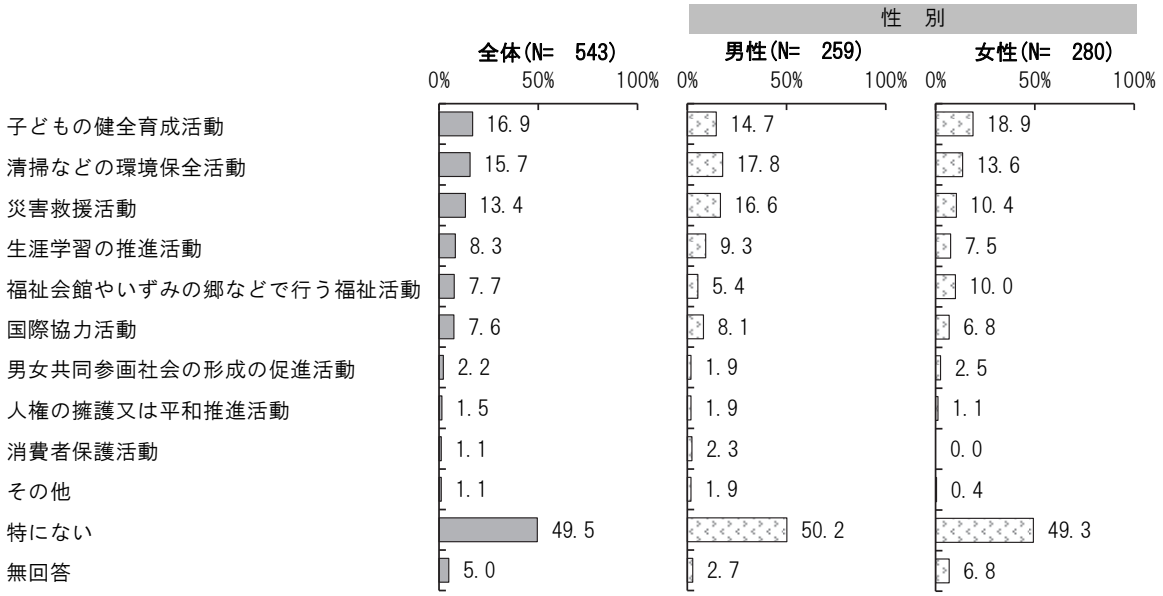
性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、「参加したことはない」が“40代”で75.3%と多くなっています。

年度別にみると、全ての年度において「参加したことはない」が６割を超えて最も多くなっています。

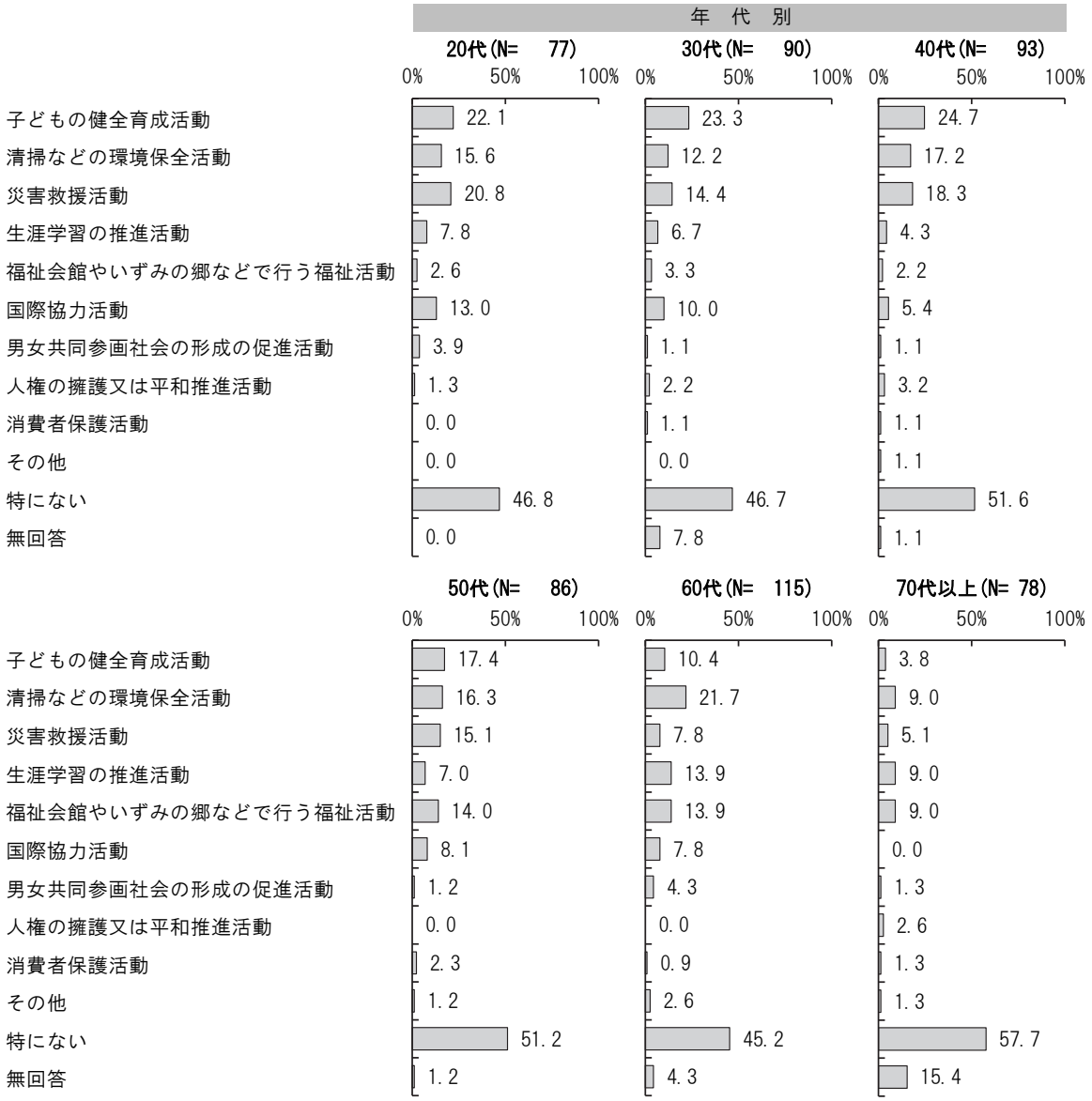
今後、参加してみようと思うボランティア活動

問24　今後、ボランティア活動で参加してみようと思うものがありますか。
（該当する番号に３つ以内で○をつけて下さい）



今後、参加してみようと思うボランティア活動は、「特にない」が49.5%と最も多く、次いで「子どもの健全育成活動」が16.9%、「清掃などの環境保全活動」が15.7%などとなっています。

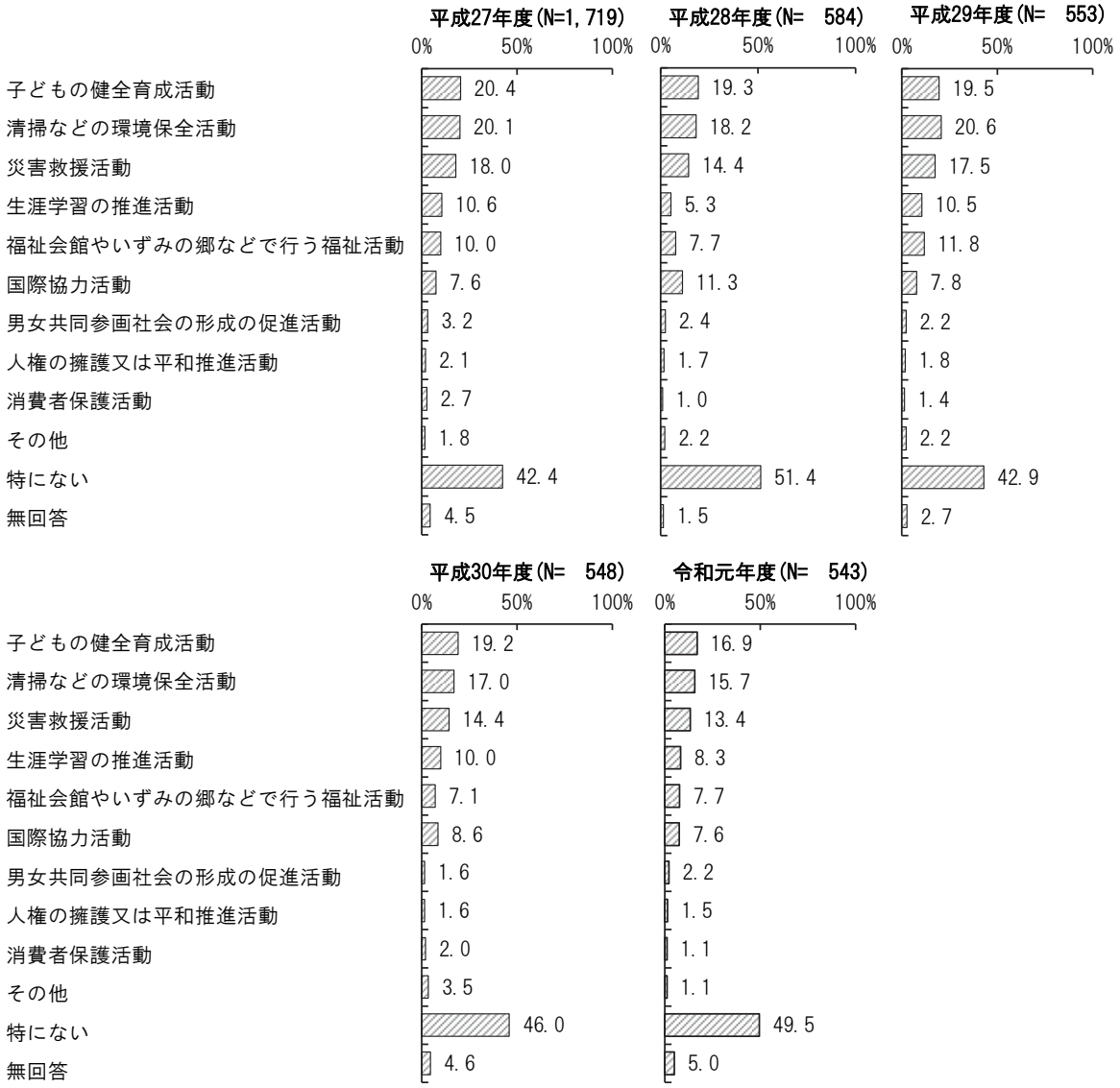
性別にみると、ボランティア活動の内容の中では、“女性”は「子どもの健全育成活動」が、“男性”では「清掃などの環境保全活動」が最も多くなっています。



年代別にみると、全ての年代において「特にない」が４割を超えて最も多くなっています。

また、“20代”では「災害救護活動」が、“60代”では「清掃などの環境保全活動」が他の年代と比べて多くなっています。

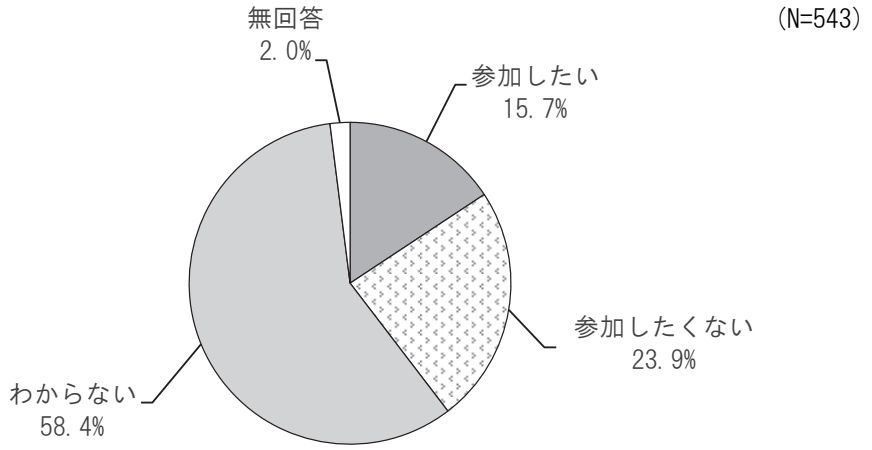
経　年　比　較



年度別にみると、全ての年度において「特にない」が４割を超えて最も多くなっています。

町政のあり方やまちづくりを考える場の参加意向

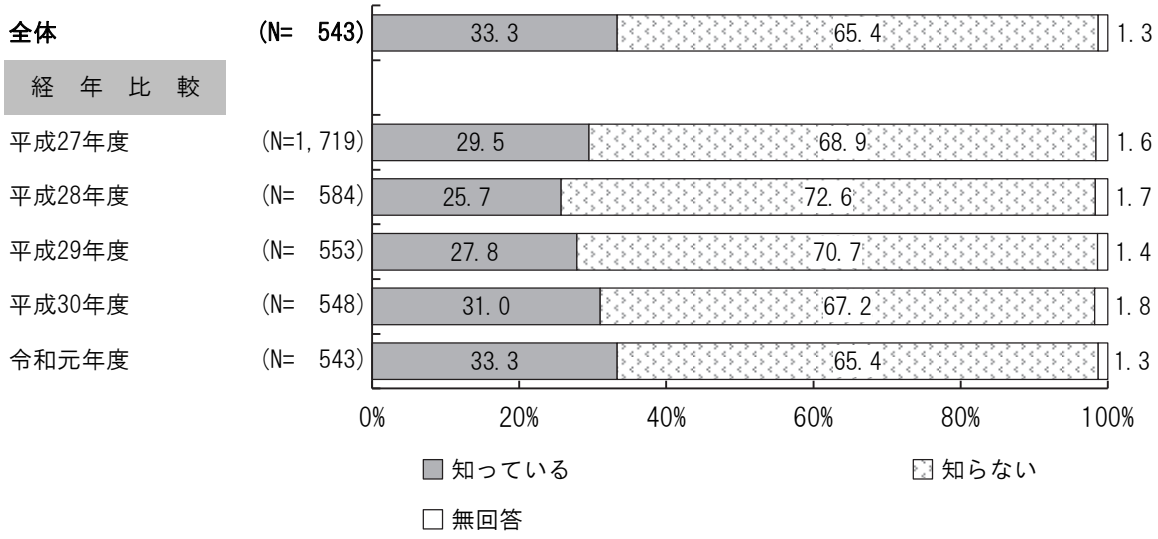
問25　あなたは、町政のあり方やまちづくりを考える場へ参加したいと思いますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



町政のあり方やまちづくりを考える場の参加意向は、「わからない」が58.4%と最も多く、次いで「参加したくない」が23.9%、「参加したい」が15.7%となっています。

総合相談センターの認知状況

問26　町が役場内に設置している「総合相談センター」では、総合相談員が住民の日常生活での悩みごとや町行政に対する相談や消費生活相談などを行っています。あなたは、「総合相談センター」があることをご存知ですか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

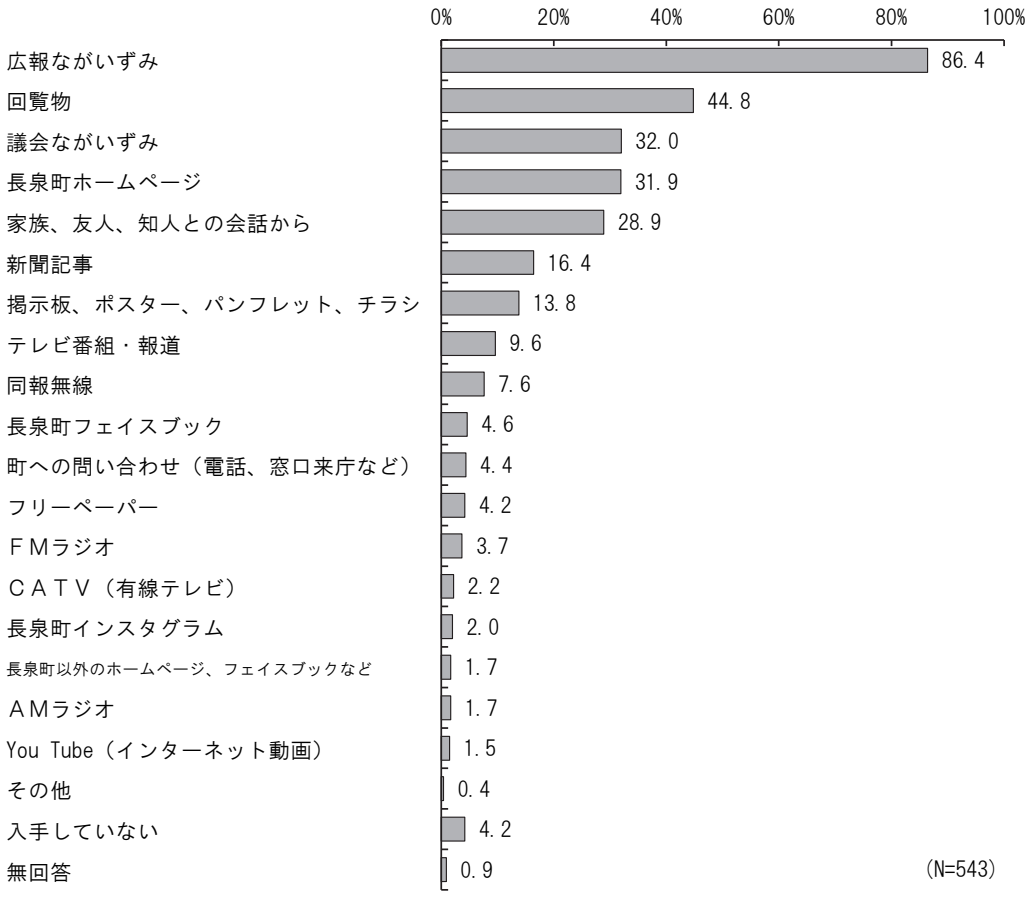


総合相談センターの認知状況は、「知っている」が33.3%、「知らない」が65.4%となっています。

年度別にみると、全ての年度において「知らない」が６割を超えて最も多くなっていますが、「知っている」は、平成28年度以降年々増加傾向にあります。

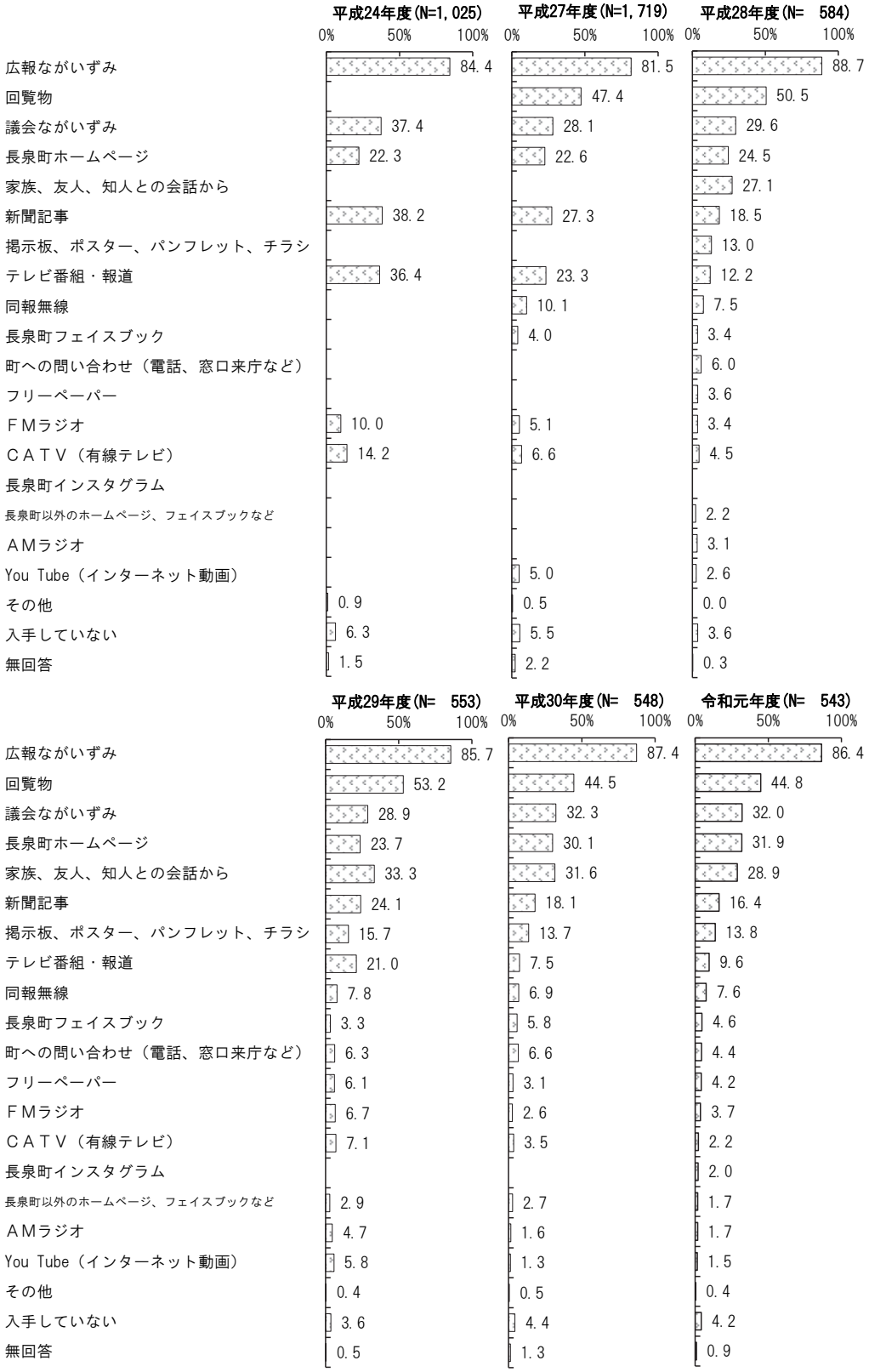
利用している情報媒体

問27　町では、各種情報媒体を利用して情報の提供を行っていますが、日常、あなたが町の情報を入手するために利用されているものはどれですか。（該当する番号すべてに○をつけて下さい）



利用している情報媒体は、「広報ながいずみ」が86.4%と最も多く、次いで「回覧物」が44.8%、「議会ながいずみ」が32.0%などとなっています。

経　年　比　較



※「回覧物」、「同報無線」、「You Tube（インターネット動画）」、「長泉町フェイスブック」は平成 27 年度、「家族、友人、知人との会話から」、「掲示板、ポスター、パンフレット、チラシ」、「町への問い合わせ（電話、窓口来庁など）」、「フリーペーパー」、「ＡＭラジオ」、「長泉町以外のホームページ、フェイスブックなど」は平成 28 年度から追加された選択肢です。

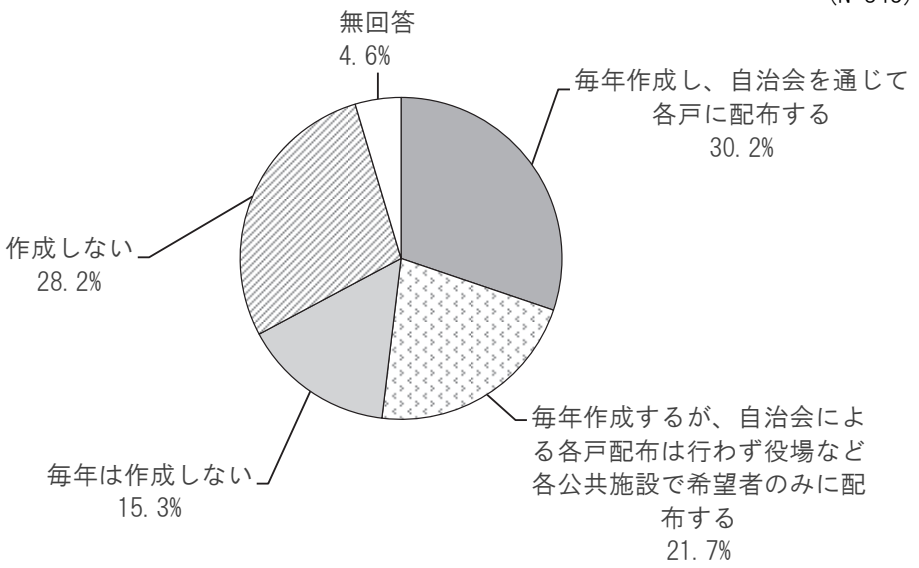
※平成 27 年度の「長泉町フェイスブック」の選択肢は、元々「フェイスブック（Facebook）」という選択肢で長泉町に限定していませんでしたが、ここでは便宜上「長泉町フェイスブック」の数値として掲載しています。

年度別にみると、全ての年度において「広報ながいずみ」が８割を超えて最も多くなっています。
また、「長泉町ホームページ」は、“平成30年度”以降３割と多くなっています。

ながいずみ情報ファイルの作成方法

問28　町では、広報ながいずみを綴る「ながいずみ情報ファイル」を毎年作成し、自治会を通じて各戸に配布していますが、前年の調査結果（使っていない59.7%、使っている39.1%）を受け、今後の作成方法についてご意見を伺います。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

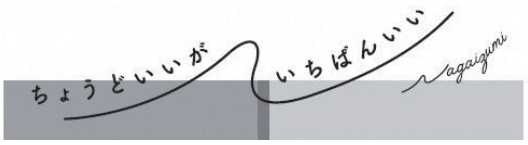
(N=543)



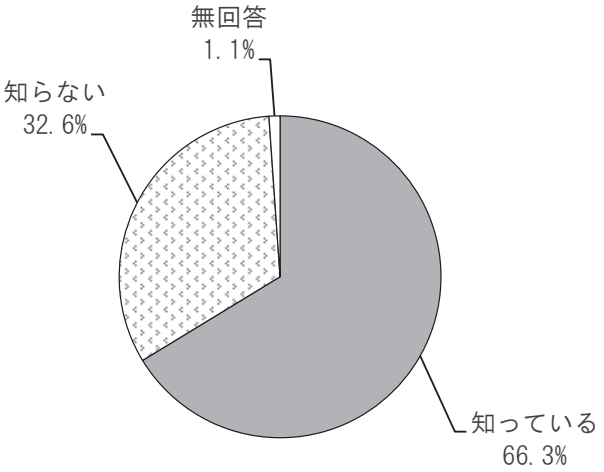
ながいずみ情報ファイルの作成方法は、「毎年作成し、自治会を通じて各戸に配布する」が30.2%で最も多く、次いで「作成しない」が28.2%、「毎年作成するが、自治会による各戸配布は行わず役場など各公共施設で希望者のみに配布する」が21.7%などとなっています。

町のブランドメッセージの認知状況

問29　あなたは、町のブランドメッセージ「ちょうどいいが　いちばんいい　Nagaizumi」をご存知ですか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



(N=543)

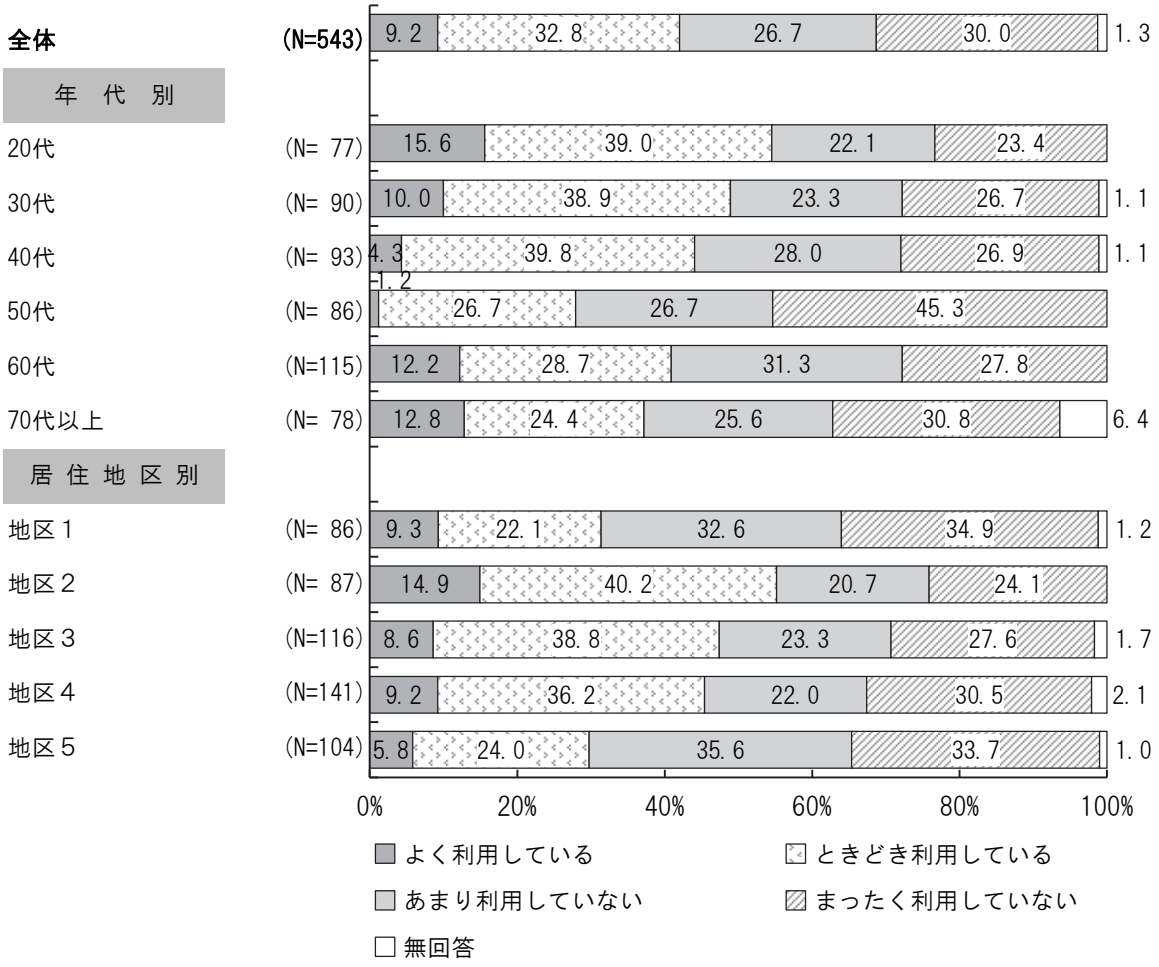


町のブランドメッセージの認知状況は、「知っている」が66.3%、「知らない」が32.6%となっています。

Ⅵ　あなたの身近な緑について

町内の緑や水辺に親しめる場所の利用状況

問30　公園や川沿いの遊歩道など、町内の緑や水辺に親しめる場所を利用していますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



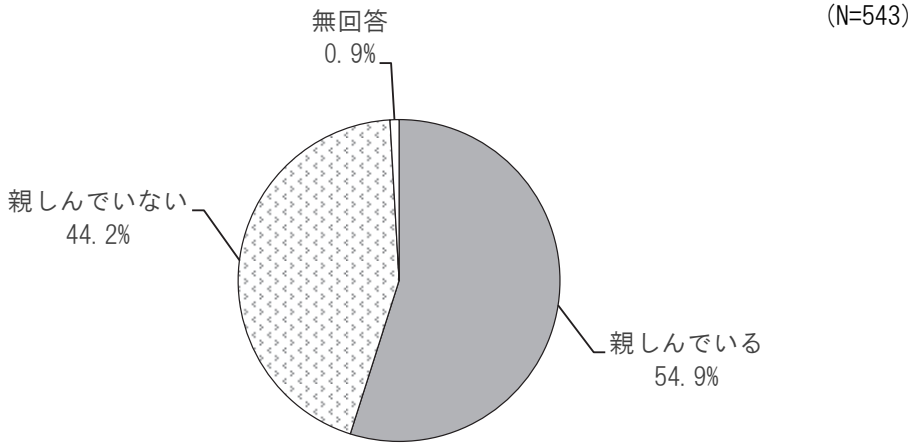
町内の緑や水辺に親しめる場所の利用状況は、「ときどき利用している」が32.8%と最も多く、次いで「まったく利用していない」が30.0%、「あまり利用していない」が26.7%などとなっています。また、『利用している』（「よく利用している」＋「ときどき利用している」）は42.0%、『利用していない』（「あまり利用していない」＋「まったく利用していない」）は56.7%となっています。

年代別にみると、『利用している』は“20代”で54.6%と多くなっています。また、『利用していない』は“50代”で72.0%と多くなっています。

居住地区別にみると、「よく利用している」が“地区２”で14.9%と多くなっています。

自宅で植物に親しんでいるか

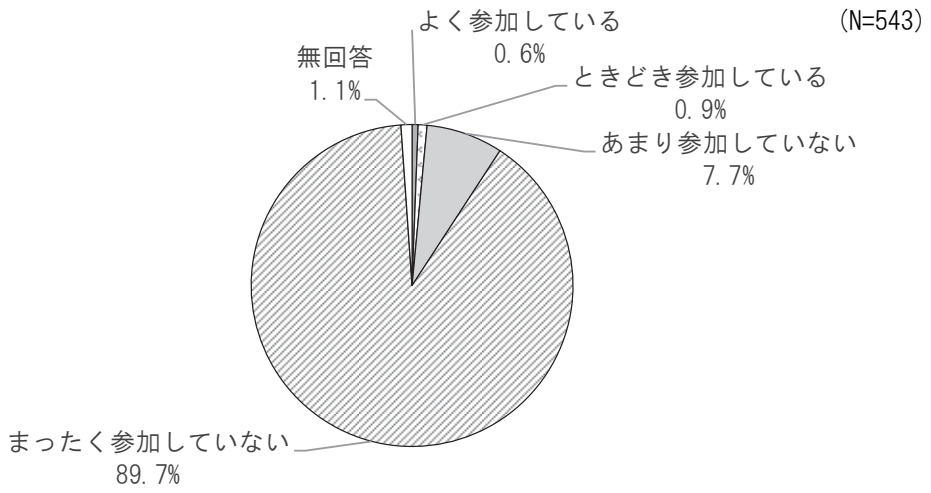
問31　ご自宅で、庭や菜園づくり、ベランダや室内での植物の栽培、生垣など、植物に親しんでいますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



自宅で植物に親しんでいるかは、「親しんでいる」が54.9%、「親しんでいない」が44.2%となっています。

公園や河川敷、道路などで花植えなどを行う活動の参加状況

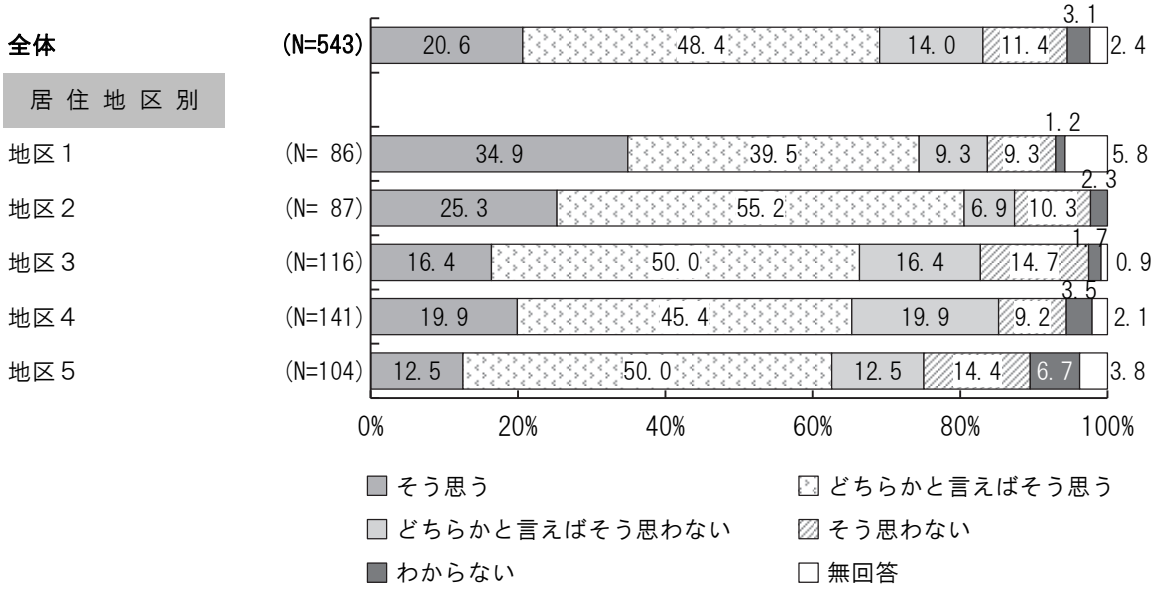
問32　公園や河川敷、道路などで、花植えなどを行う活動へ参加していますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



公園や河川敷、道路などで花植えなどを行う活動の参加状況は、「まったく参加していない」が89.7%と最も多く、次いで「あまり参加していない」が7.7%、「ときどき参加している」が0.9%などとなっています。また、『参加している』（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）は1.5%、『参加していない』（「あまり参加していない」＋「まったく参加していない」）は97.4%となっています。

緑について

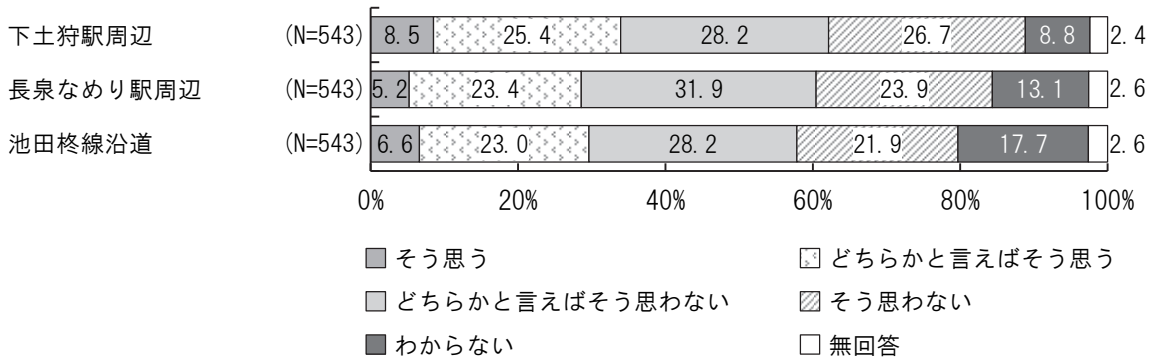
問33　町の拠点、市街地が「緑豊か」だと思いますか。
（それぞれの項目について、該当する番号に１つ○をつけて下さい）
森林や川、農地、公園、街路樹や花壇、庭や店先の花や緑など、あなたの住まいのまわりが「緑豊か」だと思いますか。



住まいのまわりが「緑豊か」だと思うかは、「どちらかと言えばそう思う」が48.4%と最も多く、次いで「そう思う」が20.6%、「どちらかと言えばそう思わない」が14.0%などとなっています。また、『思う』（「そう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）は69.0%、『思わない』（「どちらかと言えばそう思わない」＋「そう思わない」）は25.4%となっています。

居住地区別にみると、『思う』が“地区２”で80.5%と多くなっています。

下土狩駅周辺、長泉なめり駅周辺、池田柊線沿道（フレスポ長泉南側道路）が「緑豊か」だと思いますか。

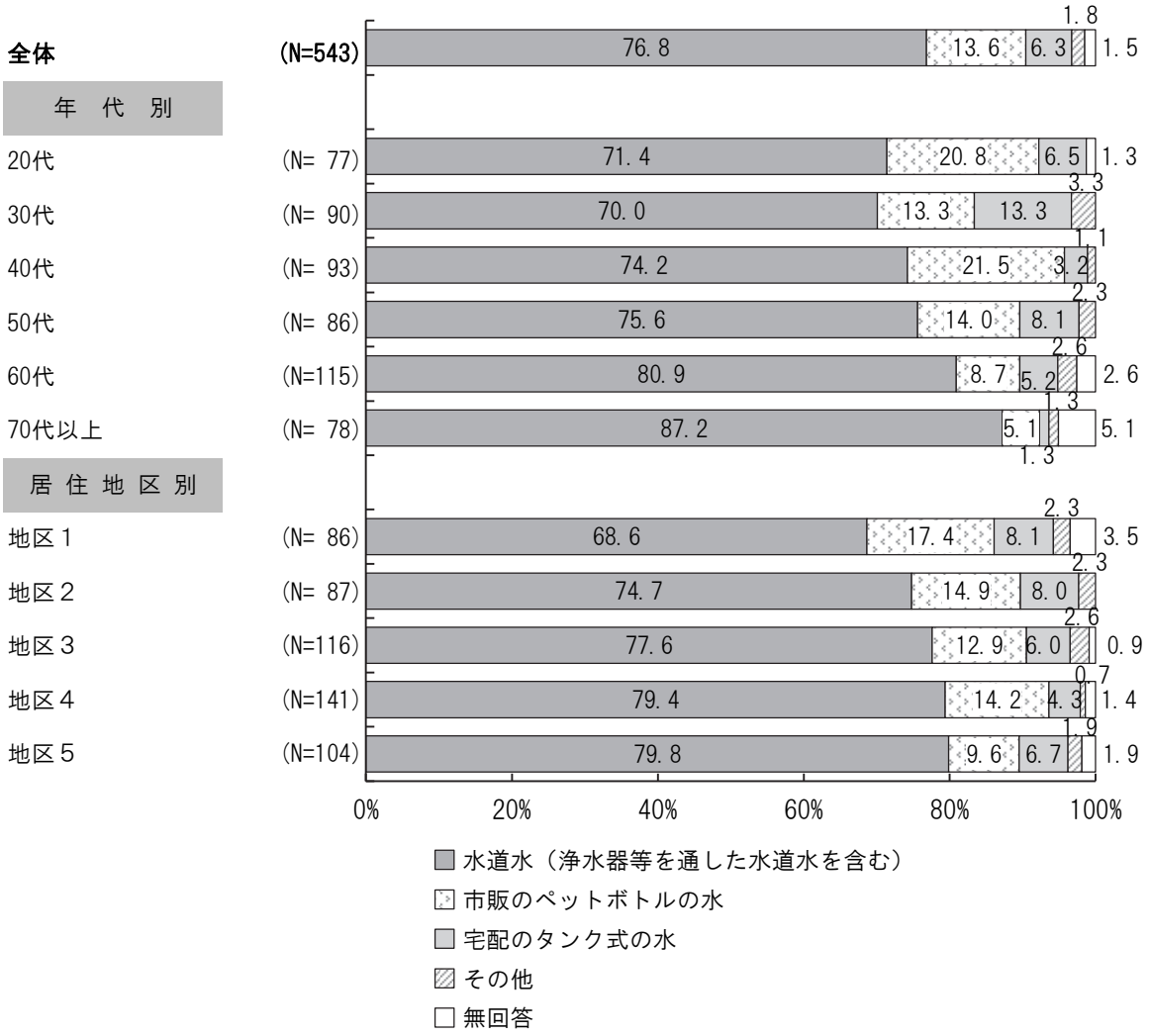


下土狩駅周辺、長泉なめり駅周辺、池田柊線沿道（フレスポ長泉南側道路）が「緑豊か」だと思うかは、いずれの場所においても「どちらかと言えばそう思わない」が最も多くなっています。『思う』は、“下土狩駅周辺”で33.9%、“長泉なめり駅周辺”で28.6%、“池田柊線沿道”で29.6%となっています。

Ⅶ　上水道について

普段、飲み水として主に利用しているもの

問34　あなたは、普段、飲み水として主に何を利用していますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



普段、飲み水として主に利用しているものは、「水道水（浄水器等を通した水道水を含む）」が76.8%と最も多く、次いで「市販のペットボトルの水」が13.6%、「宅配のタンク式の水」が6.3%となっています。

年代別にみると、概ね年代が上がるほど「水道水（浄水器等を通した水道水を含む）」が多くなる傾向があります。

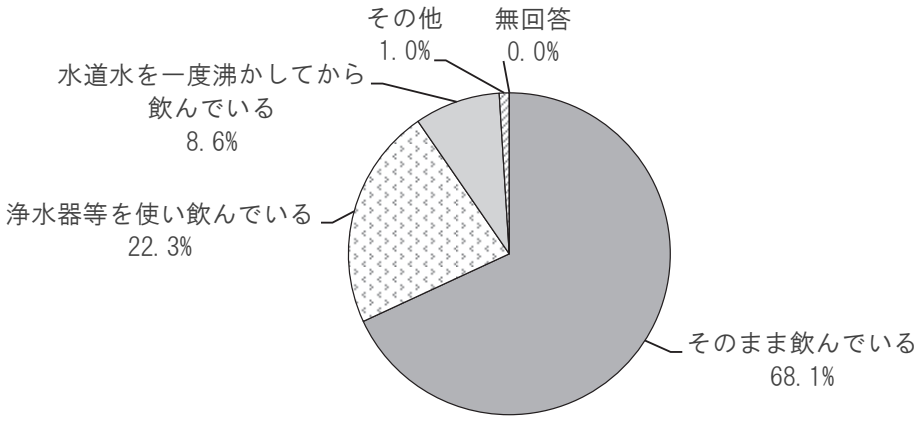
居住地区別にみると、「水道水（浄水器等を通した水道水を含む）」は“地区１”で６割台、そのほかの地区では７割を超えています。

水道水の利用の仕方として当てはまるもの

※問34で「水道水」とお答えの方にお伺いします。

補問34－１　水道水の利用の仕方として、当てはまるものはどれですか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

(N=417)

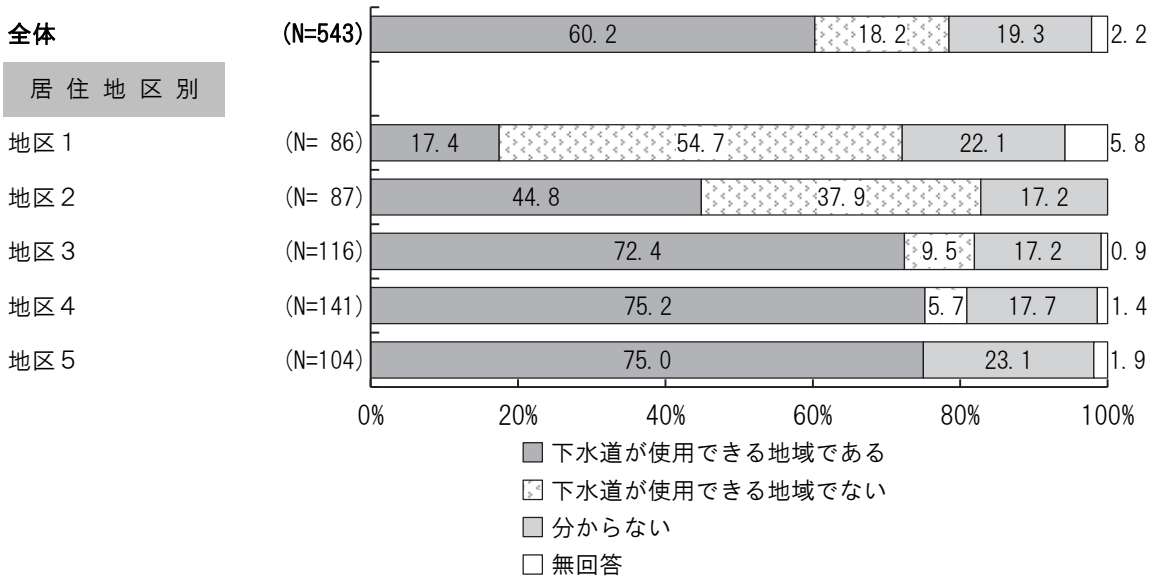


水道水の利用の仕方として当てはまるものは、「そのまま飲んでいる」が68.1%と最も多く、次いで「浄水器等を使い飲んでいる」が22.3%、「水道水を一度沸かしてから飲んでいる」が8.6%となっています。

Ⅷ　下水道について

お住いの地域は下水道が利用できる地域か

問35　あなたのお住まいの地域は、下水道が使用できる地域ですか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



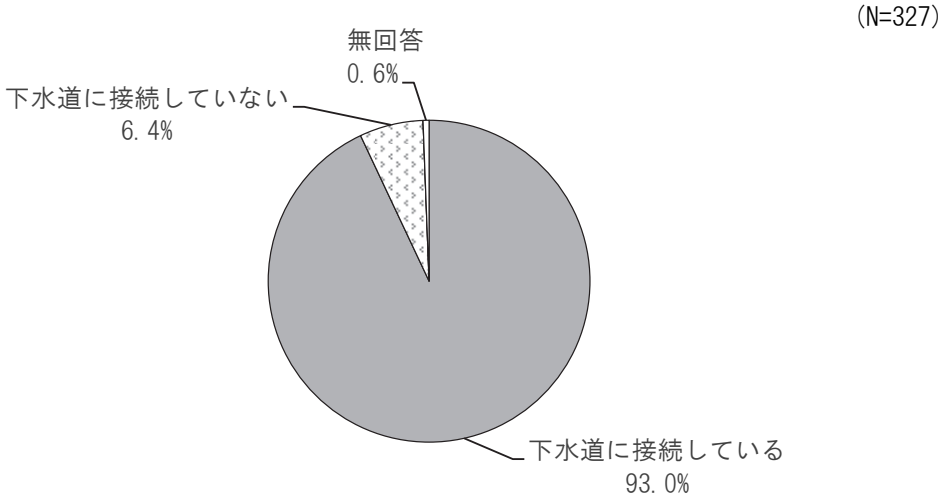
お住いの地域は下水道が利用できる地域かは、「下水道が使用できる地域である」が60.2%、「下水道が使用できる地域でない」が18.2%、「分からない」が19.3%となっています。

居住地区別にみると、「下水道が使用できる地域である」は“地区１”で17.4%と少なくなっています。

既に下水道に接続しているか

※問35で「下水道が利用できる地域である」とお答えの方にお伺いします。

補問35－１　既に下水道に接続をしていますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

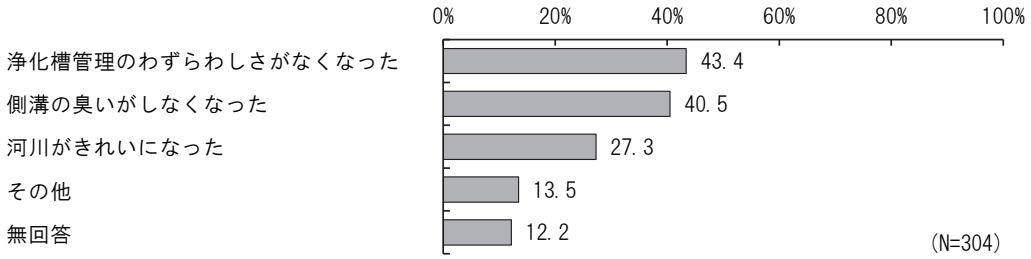


既に下水道に接続しているかは、「下水道に接続している」が93.0%、「下水道に接続していない」が6.4%となっています。

下水道接続で改善したと思うこと

※問35－１で「下水道に接続している」とお答えの方にお伺いします。

補問35－２　下水道接続で改善したと思うことには何がありますか。
（該当する番号すべてに○をつけて下さい）

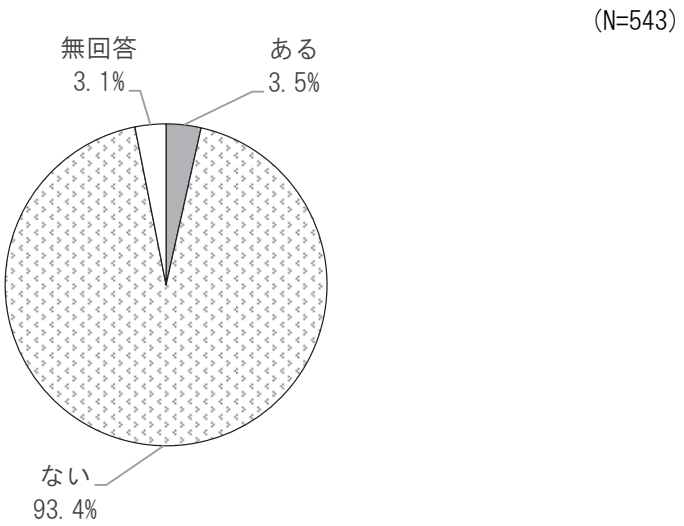


下水道接続で改善したと思うことは、「浄化槽管理のわずらわしさがなくなった」が43.4%と最も多く、次いで「側溝の臭いがしなくなった」が40.5%、「河川がきれいになった」が27.3%となっています。

Ⅸ　町議会について

議会を傍聴したことの有無

問36　議会の本会議（全議員が集まり議場で行う会議）は自由に傍聴ができます。議会を傍聴したことはありますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

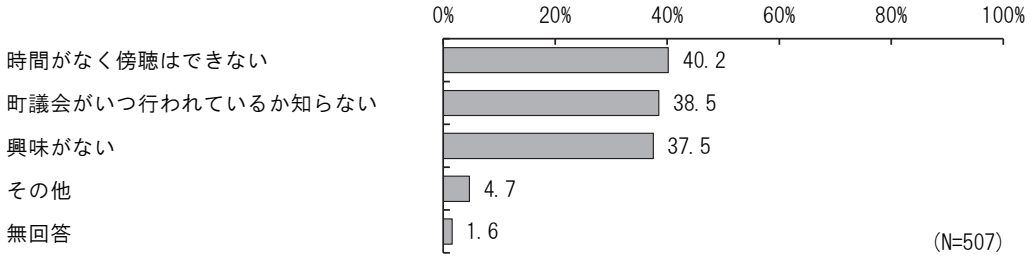


議会を傍聴したことの有無は、「ある」が3.5%、「ない」が93.4%となっています。

議会を傍聴したことがない理由

※問36で「ない」とお答えの方にお伺いします。

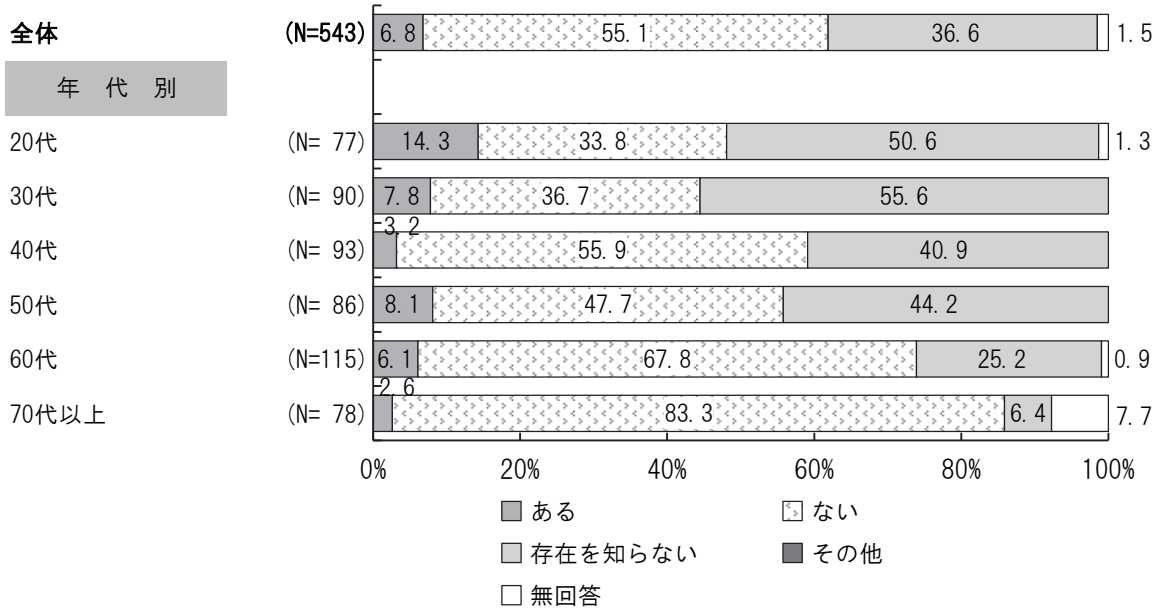
補問 36－１　その理由は何ですか。（該当する番号にすべて○をつけて下さい）



議会を傍聴したことがない理由は、「時間がなく傍聴はできない」が40.2%と最も多く、次いで「町議会がいつ行われているか知らない」が38.5%、「興味がない」が37.5%となっています。

インターネットで本会議の映像配信を見たことがあるか

問37　本会議はインターネットで生配信しているほか、過去の録画映像をご覧いただくこともできます。インターネットでの映像配信をご覧になったことはありますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

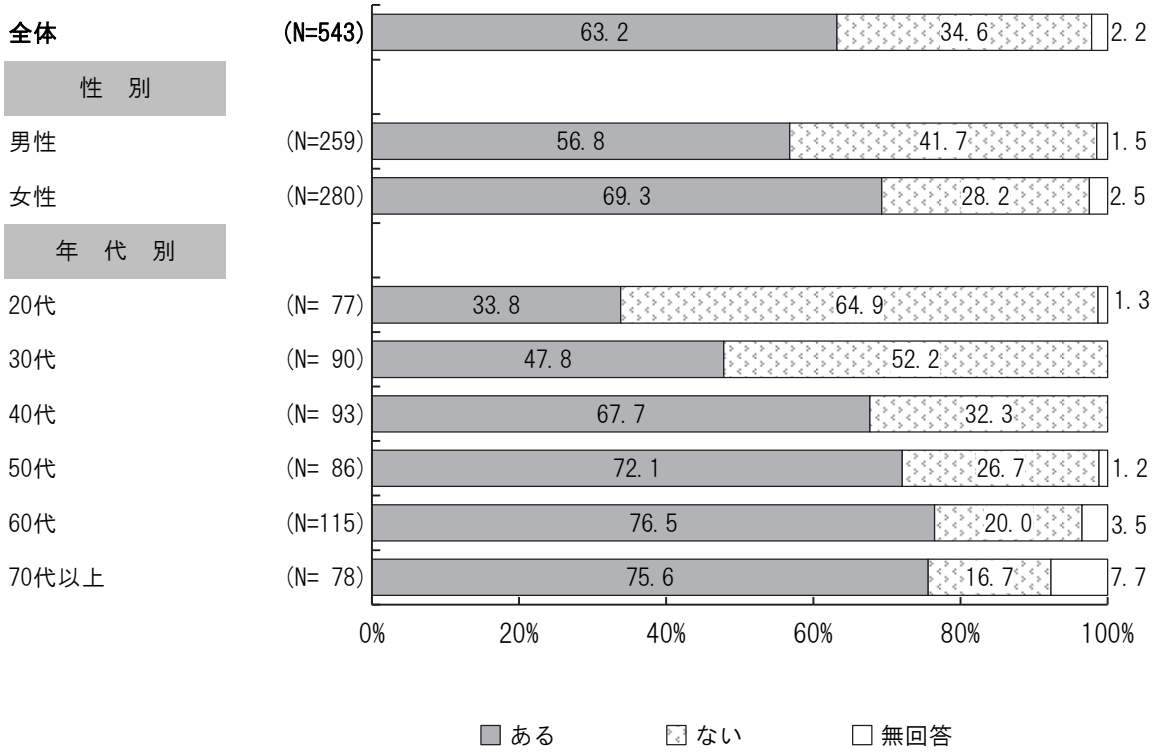


インターネットで本議会の映像配信を見たことがあるかは、「ない」が55.1%と最も多く、次いで「存在を知らない」が36.6%、「ある」が6.8%となっています。

年代別でみると、“70代以上”で「ない」が83.3%と多くなっています。

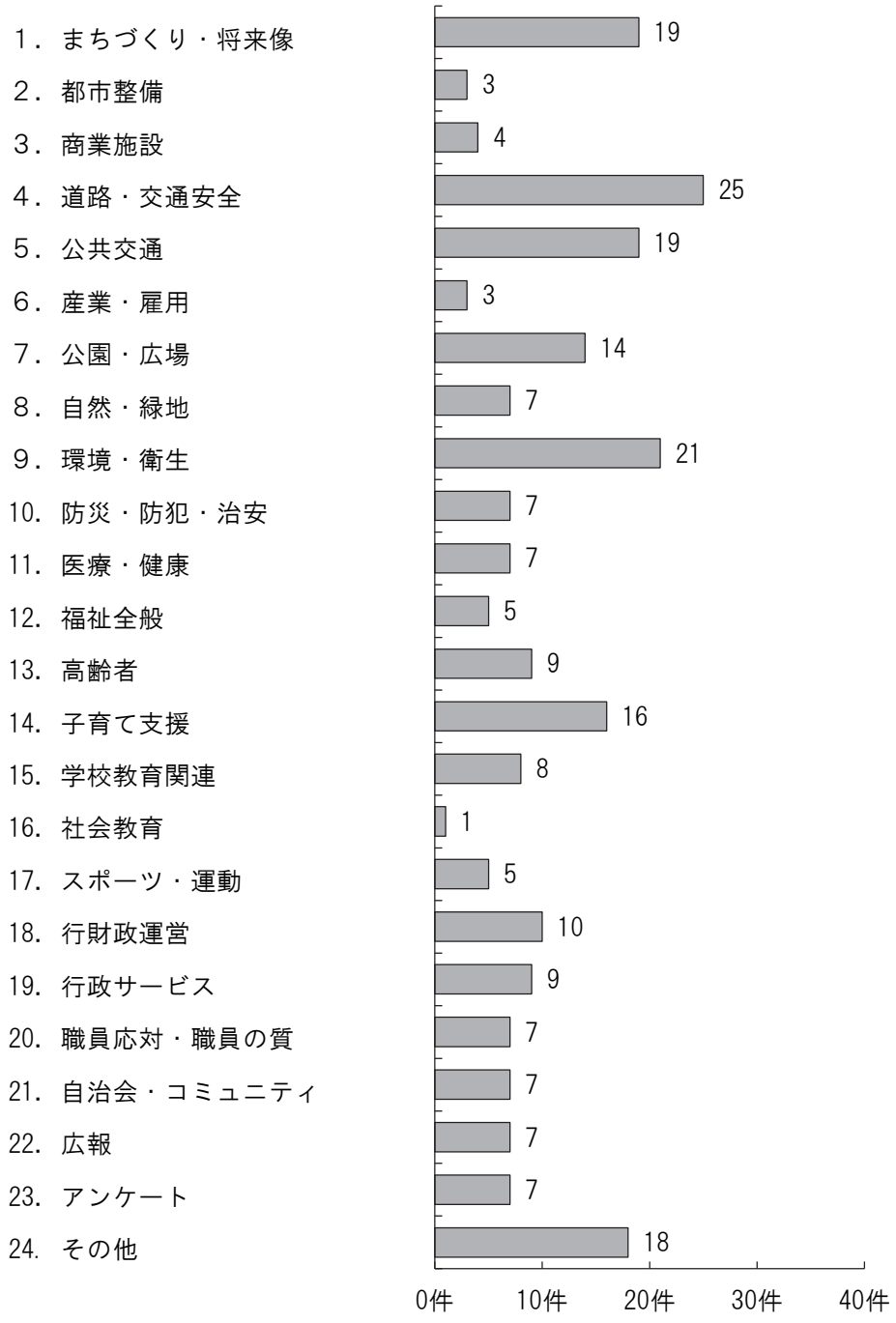
議会ながいずみを読んだことがあるか

問38　議会の審議内容などは議会ながいずみにて概要をお知らせしています。議会ながいずみを読んだことはありますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）



議会ながいずみを読んだことがあるかは、「ある」が63.2%、「ない」が34.6%となっています。
性別にみると、「ある」は“女性”で69.3%と多くなっています。
年代別にみると、年代が上がるほど「ある」が多くなる傾向がみられます。

３．自由意見のまとめ



長泉町に対するご意見やご要望を上記の項目に整理・分類した結果は、「道路・交通安全」が25件と最も多く、次いで「環境・衛生」が21件、「まちづくり・将来像」、「公共交通」が19件などとなっています。

４．調査結果のまとめと分析

Ⅰ　あなたの定住意識について

現在の地区に住んでいる理由は、例年同様「通勤・通学の便がよいため」が最も多くなっています。次いで「手頃な家、土地があったため」、「買い物等の日常生活（通勤・通学を除く）の便がよいため」が多くなっており、定住意識を高めるためにも、住環境の整備や生活利便性の維持・改善を図る取り組みが必要です。

現在の地区における継続居住意向は、20代～40代で約１割が「町外に移りたいと考えている」と回答しています。また、年代が上がるほど「ずっと住みたいと考えている」が多くなる傾向にあります。

住まいを移したい理由として、違うところに住んでみたいため、まわりの環境がよくないため、故郷に戻りたいためといった意見が多くみられました。一方、日常生活に対する不便さや仕事や通勤、通学に対する不便さを理由とする回答も１割みられ、住み続けたいまちとして発展するために、利便性をどのように向上させていくかを探っていくことが必要です。

Ⅱ　あなたが持っている「長泉町の印象」について

長泉町の印象については、“イメージの良い町である”で『思う』※1が多くなっています。一方、“来訪について、町外の友人や知人に対して勧めたい”、“町の魅力や良いところを積極的に発信している”で『思う』※1が少なくなっていることから、町の魅力の積極的、効果的なＰＲ方法を模索してくことが必要です。

Ⅲ　あなたの住む地区の生活環境や自治会活動について

居住地区の満足状況は、前回調査同様、“街中の文化、芸術（彫刻）環境のよさ”、“公民館、地区集会施設の利用しやすさ”で『満足』※2が少なくなっています。地区別にみると、地区１と地区２では“緑豊かな自然環境の良さ”の『満足』※2が多く、“工場、車等の振動、騒音等のない環境”では『不満』※5が地区５で多くなっているなど、各地区で異なる特徴が見られるため、地区ごとの課題やニーズを踏まえた取り組みが必要です。

自治会活動への参加状況は、20代と30代で『参加していない』※3が多く、若年層に対し、自治会活動の意義の啓発を含め、参加を促進していく取り組みが必要です。また、参加している自治会活動の行事や活動は、「清掃などの環境美化活動」が最も多くなっています。自治会活動に参加していない理由は、「忙しいため」が最も多く、多くの人に参加してもらうための日時や負担の調整を図る必要があります。

Ⅳ　町の取り組みについて

町が行う施策の満足状況は、各項目で「普通」が多くなっているものの、“健康相談、健康教育、各種健（検）診の充実”で『満足（充足）』※4が半数を超えて多くなっています。一方、“バスなどの公共交通の充実”で『不満（不足）』※5が「普通」を上回っており、長泉町にふさわしい公共交通の新たな体系づくりが求められます。

Ⅴ　「総合計画の指標に関する項目」などについて

運動習慣の有無は、女性や30～40代で「運動習慣がない」が多くなっており、対象者の特徴に応じた運動習慣を定着させるための取り組みが必要です。

ラジオ体操を週１回以上行うことの有無は、「ない」が全ての年代において８割を超えて多くなっています。ラジオ体操を行う機会としては、「勤務先」が多くなっており、地域や職場におけるラジオ体操活動の把握や支援をするとともに、誰もが気軽にできる運動として、ラジオ体操の普及・啓発を行うことが必要です。

町が主催しているスポーツ・レクリエーション活動の参加状況は、『参加していない』※6が８割を超えて多くなっています。参加していない理由は、「忙しいため」が最も多くなっていることから、参加者を増やすには、忙しい人でも気軽に参加できるようにプログラムを工夫していく必要があります。また、地域や住民が主体となって行う健康づくり活動には「まったく参加していない」という人が約７割と多くなっています。

かかりつけ医の有無は、「いる」が半数を超えています。また、かかりつけ医がいたらいいと思うかは、「いいと思う」が８割を超えて多くなっています。かかりつけ医の必要性は多くの人に認知されているものの、実際にはかかりつけ医がいない人もいるため、今後、かかりつけ医を持たない理由を探っていくことが重要です。

男女の役割を固定的に考えることについては、女性で「反対である」がやや多くなっているものの男女の回答で大きな差がみられなくなっています。また、年代別にみると、年代が上がるほど『反対』※7が少なくなる傾向にあり、若年層では性別役割分担意識が低くなってきています。経年比較すると、年々『賛同』※8が少なくなっている傾向にあり、男女共同参画の理念は徐々に浸透してきていると思われます。

町内で実施した平成30年総合防災訓練の参加状況は、「参加していない」が約半数となっており、参加していない理由は、「仕事」が多くなっています。広報等により訓練参加者の増加を図っていくとともに、平常時から町や事業所、ボランティア等が相互に連携協力しあうネットワークを充実していく必要があります。また、防災訓練の必要性を事業所等にも働きかけることで、参加しやすい環境を整えることも重要です。

住宅用火災警報器の設置状況は、「必要な場所すべてに設置している」が約６割となっています。また、半年以内の住宅用火災警報器の作動確認は「行っていない」が約６割となっています。住宅用火災警報器の作動確認の結果では、「電池切れ・故障したものがあった」が5.9%でした。住宅用火災警報器の設置を促進していくとともに、設置後の作動確認の必要性を周知していくことも重要です。

食料や飲料水の備蓄状況は、「７日分以上を備蓄している」が食料で4.1%、飲料水で11.6%となっています。経年比較すると、「備蓄していない」を含めて備蓄状況には変化がみられません。災害時の十分な備蓄の必要性を啓発していく必要があります。

大きな地震が発生した場合の家具などが転倒する心配の有無は、「心配している」が半数を超えているにもかかわらず、家具の固定状況は、「固定していない」が３割を超えています。固定が一部である、または固定していない理由は、「家具や壁などに穴や傷をつけたくないため」が最も多くなっています。家具を固定することが災害時に命を守ることにつながる可能性があることを、町として周知していくことが重要です。

地域のハザードマップについては、「見たことがある」が６割を超えて多くなっています。「見たことがない」は20代、30代で半数程度と若い世代で多い傾向にあることから、特に若年層に向けた普及、啓発の取り組みが必要となっています。

地域における広域避難所については、「どこかを知っている」が８割を超えて多くなっていますが、救護所、福祉避難所の認知度については１割前後と低くなっています。ハザードマップや各避難所等、広く町民に周知が図れるよう、様々な手法を用いて防災知識の普及、啓発活動を推進していく必要があります。

今後学びたいこと、学び続けたいことは、「健康・スポーツ（各種スポーツ、ジョギングなど)」が70代でやや少なくなっているものの、全ての年代で最も多くなっています。各年代に応じた教室の企画や開催等、スポーツを楽しめる機会の充実を図る必要があります。

町政のあり方やまちづくりを考える場への参加意向は、前回調査同様「わからない」が半数を超えて多くなっています。引き続き、この考える場がどのようなものなのかを町民に広く周知することが必要です。

総合相談センターの認知状況は、「知らない」が６割超となっています。経年比較すると、平成28年度以降、「知っている」が微増傾向にあり、今後も継続して総合相談センターの認知度向上につとめていく必要があります。

町の情報を入手するために利用している情報媒体は、「広報ながいずみ」が突出して多くなっています。また、平成30年度以降「長泉町ホームページ」が増加傾向にあることから、情報化に対応した広報の方法や内容を検討していくことが重要です。

ながいずみ情報ファイルの作成方法は、「毎年作成し、自治会を通じて各戸に配布する」以外の回答が６割を超えているため、作成・配布方法の見直しに向けた検討が必要です。また、町のブランドメッセージの認知状況は、「知っている」が６割を超えて多くなっています。

Ⅵ　あなたの身近な緑について

町内の緑や水辺に親しめる場所の利用状況は、年代別にみると、20代で『利用している』※9が最も多くなっており、子育て世代が子どもを連れて利用していることが伺えます。地区別にみると、地区５で『利用している』※9が29.8%と少なくなっています。地区の特性を踏まえて、緑や水辺に親しむ場所を整備していくことが重要です。

自宅で植物に親しんでいるかは、「親しんでいる」が半数を超えて多くなっています。公園や河川敷、道路などで花植えなどを行う活動の参加状況は、「まったく参加していない」が約９割と多くなっています。

町の拠点、市街地が「緑豊か」だと思うかについては、“森林や川、農地、公園、街路樹や花壇、庭や店先の花や緑など、あなたの住まいのまわり”では、地区２で『思う』※10が多く、地区３で『思わない』※11が多くなっています。“下土狩駅周辺、長泉なめり駅周辺、池田柊線沿道”では、下土狩駅周辺で『思う』※10がやや多くなっています。

Ⅶ　上水道について

普段、飲み水として主に利用しているものは、全ての年代、地区において「水道水（浄水器等を通した水道水を含む)」が最も多くなっています。水道水の利用の仕方としては、「そのまま飲んでいる」が６割を超えて多くなっています。

Ⅷ　下水道について

下水道が利用できる地域では、「下水道に接続している」が９割を超えています。下水道接続により改善したと思うことは、「浄化槽管理のわずらわしさがなくなった」、「側溝の臭いがしなくなった」がいずれも約４割となっており、今後も下水道の整備を推進していく必要があります。

Ⅸ　町議会について

議会を傍聴したことの有無は、「ない」が９割を超えており、傍聴したことがない理由は、「時間がなく傍聴はできない」、「町議会がいつ行われているか知らない」が４割程度を占めています。

インターネットで本会議の映像配信を見たことがあるかは、「ない」が５割超、「存在を知らない」が３割超とその活用度と認知度は低くなっています。

議会ながいずみを読んだことがあるかは、「ある」が６割を占めていますが、年代別にみると、年代が下がるほど「ない」が多い傾向がみられます。若い世代にも読んでもらえるような工夫が必要です。

調査結果のまとめと分析に使用している複数の選択肢を合わせた選択肢一覧

※１『思う』(「そう思う」＋「ややそう思う」)
※２『満足』(「満足」＋「ほぼ満足」)
※３『参加していない』(「あまり参加していない」＋「参加していない」)
※４『満足（充足)』(「満足（充足)」＋「ほぼ満足（充足)」)
※５『不満（不足)』(「やや不満（不足)」＋「不満（不足)」)
※６『参加していない』(「あまり参加していない」＋「まったく参加していない」)
※７『反対』(「どちらかといえば反対である」＋「反対である」)
※８『賛同』(「賛同である」＋「どちらかといえば賛同である」)
※９『利用している』(「よく利用している」＋「ときどき利用している」)
※10『思う』(「そう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」)
※11『思わない』(「どちらかと言えばそう思わない」＋「そう思わない」)

５．調査票

長泉町のまちづくりについて、あなたのご意見をおきかせ下さい　　長泉町住民意識調査

長泉町住民意識調査へのご協力のお願い

日頃から町政の推進にご理解・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、町では、日常生活における町民の皆様の意識と行政に対する要望や評価を把握し、今後の町政運営に反映させていくため、毎年、住民意識調査を実施しています。

今回の調査の実施にあたりましては、**20歳以上の皆様の中から無作為に1,000人を選ばせていただきました。**

ご回答いただいた内容は、統計的に処理を行いますので、あなたの意見が外部に漏れたり、他の目的に使用されることはありません。

つきましては、趣旨をご理解の上、このアンケート用紙に記入し、下記の期日までに指定の方法で返送いただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和元年８月　　長泉町長　　池田　修

◆アンケートの回答は、**あて名の方**がご記入下さい。
　あて名の方の記入が難しい場合には、代理の方がご記入下さい。
◆各質問については、原則として当てはまる回答項目の番号を○で囲んで下さい。
◆回答項目に当てはまるものがない場合は、「その他」の欄をご利用になり、ご意見、ご回答をお願いいたします。
◆質問によっては、回答できる○の数が決められていますので、ご注意下さい。
◆前の質問の回答によって、回答する質問が異なる箇所があります。矢印や誘導文に従ってご回答下さい。
◆ご記入いただいたアンケートは、８月19日（月）までに、同封の返信用封筒に入れ、封をし、切手を貼らずに郵便ポストに投函して下さい。（期限内であれば、切手は不要です。）
◆アンケートについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。

長泉町行政課　行政情報チーム
〒411-8668　長泉町中土狩８２８番地
電話：055-989-5500
E-mail:gyousei@nagaizumi.org
担当：中村

あなたのことについてお伺いします

ア　あなたの性別を教えて下さい。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．男性　　２．女性

イ　あなたの年齢を教えて下さい。【８月１日現在】（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．20代　　２．30代
３．40代　　４．50代
５．60代　　６．70代以上

ウ　お住まいの自治会を教えて下さい。（お住まいの区名に１つ○をつけて下さい）

1	元長窪、上長窪、屋代住宅、下長窪、池田、尾尻住宅、谷津
2	南一色、東べ南一色、納米里、駿河平、八分平
3	上土狩、惣ヶ原、エンゼル、シャリエ中土狩、中土狩、東レ自治会、東
4	荻素、新屋町上、新屋町中、新屋町下、鮎壺、駅上、駅中、駅下、薄原上、薄原下、西、原、シャルマン、シャリエ南、シャリエ東
5	三軒家、エンゼル西、グランツ、杉原、原分、高田、竹原、シャルマン竹原、本宿

エ　あなたの職業を教えて下さい。（複数該当する場合は、主な番号に１つ○をつけて下さい）

１．農業　　２．会社員・公務員・団体職員
３．自営業･自由業(開業医･弁護士･会計士など)　　４．教員・保育士・看護師など
５．パート･アルバイト･フリーター･派遣社員　　６．専業主婦（主夫）
７．学生　　８．無職
９．その他（具体的に：　　）

※現在働かれている方にお伺いします。

オ　現在の勤務地を教えて下さい。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．長泉町　　２．静岡県東部
３．静岡県中部・西部　　４．東京都・神奈川県
５．その他（具体的に：　　）

カ　あなたのお住まいの形態を教えて下さい。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．持ち家（戸建て）　　２．持ち家（マンション）
３．賃貸住宅（アパート・マンション・借家）　　４．公営住宅、社宅、寮
５．その他（具体的に：　　）

キ　長泉町にお住まいの年数を教えて下さい。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）
＜通算年数をお答え下さい。一時的に町外に住んだ時期は除きます。＞

１．５年未満　　２．５～10年未満
３．10～20年未満　　４．20～30年未満
５．30年以上

Ⅰ　あなたの定住意識についてお伺いします

問１　現在の地区にお住まいの理由は何ですか。（該当する番号に３つ以内で○をつけて下さい）

１．通勤・通学の便がよいため
２．買い物等の日常生活（通勤・通学を除く）の便がよいため
３．スポーツや趣味などの活動がしやすいため
４．手頃な家、土地があったため
５．自然環境がよいため
６．雰囲気がよいため
７．地域や近所との関係がよいため
８．子育てがしやすく子どもの教育環境がよいため
９．医療環境が充実しているため
10．防災・治安の面で安心であるため
11．勤務先の社宅、寮があるため
12．結婚相手の家があるため
13．親がいる（親の出身地）ため
14．老後も住みやすそうなため
15．生まれた時から住んでいるため
16．その他（具体的に：　　）
17．特に理由はない

問２　あなたは現在の地区に、今後もずっと住みたいとお考えですか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．ずっと住みたいと考えている　　２．できれば住みたいと考えている
３．町内の他地区に移りたいと考えている　　４．町外に移りたいと考えている
５．わからない

※問２で３または４とお答えの方にお伺いします。

補問２－１　その理由は何ですか。（該当する番号に３つ以内で○をつけて下さい）

１．仕事や通勤、通学に不便であるため
２．現在の地区に適当な物件がないため
３．違うところに住んでみたいため
４．日常生活が不便であるため
５．子どもの教育のため
６．まわりの環境がよくないため
７．人間関係がよくないため
８．防災面で不安があるため
９．故郷に戻りたいため
10．その他（具体的に：　　）

Ⅱ　あなたが持っている「長泉町の印象」についてお伺いします

問３　長泉町について（以下の１～８の項目）お答え下さい。

（それぞれの質問項目について、該当する番号に１つ○をつけて下さい）

質問項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
１．イメージの良い町である	1	2	3	4	5	6
２．愛着を持っている	1	2	3	4	5	6
３．住んでいることに誇りを持っている	1	2	3	4	5	6
４．居住について、町外の友人や知人に対して勧めたい	1	2	3	4	5	6
５．来訪について、町外の友人や知人に対して勧めたい	1	2	3	4	5	6
６．町外の友人や知人などから羨ましいと思われる	1	2	3	4	5	6
７．町の魅力や良いところを積極的に発信している	1	2	3	4	5	6
８．長泉町での今の生活に満足している	1	2	3	4	5	6

Ⅲ　あなたの住む地区の生活環境や自治会活動についてお伺いします

問４　あなたが住む地区の生活環境（以下の１～６の項目）についてお答え下さい。

（それぞれの質問項目に対する満足度について、該当する番号に１つ○をつけて下さい）

質問項目	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	わからない
１．緑豊かな自然環境のよさ	1	2	3	4	5	6
２．街中の文化、芸術（彫刻）環境のよさ	1	2	3	4	5	6
３．公民館、地区集会施設の利用しやすさ	1	2	3	4	5	6
４．ばい煙、排気ガス等のない環境	1	2	3	4	5	6
５．工場、車等の振動、騒音等のない環境	1	2	3	4	5	6
６．悪臭の発生のない環境	1	2	3	4	5	6

問５　あなたは現在、自治会活動に参加していますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．参加している
２．ときどき参加している
３．あまり参加していない
４．参加していない

※問５で１または２とお答えの方にお伺いします。

補問５－１　どのような行事や活動に参加していますか。（該当する番号すべてに○をつけて下さい）

１．自然保護などの環境保全活動
２．清掃などの環境美化活動
３．お祭りなどの文化、地域おこし活動
４．運動会などスポーツ行事
５．自治会等の会議・話し合い
６．防災訓練などの自主防災活動
７．自治会や班の新年会・忘年会などの懇親会
８．子ども会の行事
９．高齢者の見守りなどの福祉活動
10．その他（具体的に：　　）

※問５で３または４とお答えの方にお伺いします。

補問５－２　参加していない理由としても最も当てはまるものはどれですか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．忙しいため
２．何をやっているかわからないため
３．人付き合いがいやであるため
４．自治会からの要請がないため
５．興味のある活動がない（少ない）ため
６．その他（具体的に：　　）

Ⅳ　町の取り組みについてお伺いします

問６　町が行っている施策に対する満足（充足）度についてお答え下さい。（それぞれの質問項目に対する満足（充足）度について、該当する番号に１つ○をつけて下さい）

	質問項目	満足（充足）	ほぼ満足（充足）	普通	やや不満（不足）	不満（不足）	わからない
健康福祉	１．健康相談、健康教育、各種健（検）診の充実	1	2	3	4	5	6
	２．地域や住民主体の健康づくり活動の促進、支援	1	2	3	4	5	6
	３．救急医療体制の充実	1	2	3	4	5	6
	４．高齢者の生きがい対策、社会参加の促進	1	2	3	4	5	6
	５．障がい者への支援	1	2	3	4	5	6
	６．子育て世帯への支援	1	2	3	4	5	6
	７．働きながら産み育てるための支援	1	2	3	4	5	6
教育学習	８．幼児教育の充実	1	2	3	4	5	6
	９．小･中学校の教育の充実	1	2	3	4	5	6
	10．地域全体で子どもの成長を見守る環境	1	2	3	4	5	6
	11．生涯学習機会の充実や活動支援	1	2	3	4	5	6
	12．文化芸術活動の普及促進	1	2	3	4	5	6
	13．スポーツ・レクリエーション活動の推進	1	2	3	4	5	6
生活環境	14．環境教育･実践活動の推進	1	2	3	4	5	6
	15．ごみの適正処理、資源の再利用の推進	1	2	3	4	5	6
	16．公共下水道の整備	1	2	3	4	5	6
	17．地震・水害などへの防災対策	1	2	3	4	5	6
	18．消防・救急体制の充実	1	2	3	4	5	6
	19．犯罪が発生しにくい防犯体制の整備	1	2	3	4	5	6
	20．交通安全対策の推進	1	2	3	4	5	6
都市整備	21．主要幹線道路の整備	1	2	3	4	5	6
	22．生活道路の整備	1	2	3	4	5	6
	23．歩道の整備	1	2	3	4	5	6
	24．バスなどの公共交通の充実	1	2	3	4	5	6
	25．公園広場の整備と緑化の推進	1	2	3	4	5	6
	26．美しい景観（都市･自然）の保全、形成	1	2	3	4	5	6
産業経済	27．企業誘致の推進、働く場の提供	1	2	3	4	5	6
	28．買い物がしやすい環境	1	2	3	4	5	6
	29．農林業の振興	1	2	3	4	5	6
	30．特産品（四ッ溝柿、白ねぎなど）の振興	1	2	3	4	5	6
	31．観光地の整備、観光ＰＲなどの観光振興	1	2	3	4	5	6
	32．わくわくまつり等イベントの充実	1	2	3	4	5	6
協働・行政財	33．広報ながいずみ等による情報提供の充実	1	2	3	4	5	6
	34．町民の意見を聞く機会の充実	1	2	3	4	5	6
	35．協働（町民参画）によるまちづくり活動の推進	1	2	3	4	5	6
	36．自治会活動への支援	1	2	3	4	5	6

Ⅴ　「総合計画の指標に関する項目」などについてお伺いします

問７　あなたは運動する習慣がありますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

※運動習慣ありの定義…１回30分、週２日、１年以上運動を継続している。

１．運動習慣がある

２．運動習慣がない

３．わからない

問８　あなたは平均的な１週間で10分以上続けて歩くことは何日ありますか。

（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

※歩くとは仕事や日常生活で歩くこと、ある場所からある場所へ移動すること、あるいは趣味や運動としてのウォーキング、散歩などを含みます。

１．毎日

２．週５、６日

３．週３、４日

４．週１、２日

５．ない

※問８で１～４とお答えの方にお伺いします。

補問８－１　１日の平均的な歩行時間を選んで下さい。

＜10分以上続けて歩いた時の合計時間をお答え下さい。＞

１日 [　　] 時間 [　　] 分

問９　あなたはラジオ体操を週１回以上行うことがありますか。

（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．ある　　２．ない

※問９で１とお答えの方にお伺いします。

補問９－１　行う機会として当てはまるもの全てに○をつけて下さい。

１．勤務先　　２．区の事業

３．家族　　４．友人・知人

５．その他（　　）

問10　あなたは、町が主催しているスポーツ・レクリエーション活動（地域総合型スポーツクラブ等）に参加していますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

1．よく参加している
2．たまに参加している
3．あまり参加していない
4．まったく参加していない

※問10で１または２とお答えの方にお伺いします。

補問10－１　町が主催しているスポーツ・レクリエーション活動（地域総合型スポーツクラブ等）に満足していますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

1．満足している　　2．ほぼ満足している
3．普通　　4．やや不満である
5．不満である　　6．わからない

※問10で３または４とお答えの方にお伺いします。

補問10－２　参加していない理由としても最も当てはまるものはどれですか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

1．忙しいため
2．何をやっているかわからないため
3．人付き合いがいやであるため
4．要請がないため
5．興味のある活動がない（少ない）ため
6．高齢のため
7．自身の体調のため
8．町主催以外の活動に参加しているため
9．その他（具体的に：　　）

問11　あなたは、地域や住民が主体となって行う(町主催以外)健康づくり活動に参加していますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

1．日常的に参加している
2．時々参加している
3．あまり参加していない
4．まったく参加していない

※問11で１または２とお答えの方にお伺いします。

補問11－１　どのような団体が主体となっている活動ですか。（該当する番号すべてに○をつけて下さい）

1．自治会が主催しているもの
2．友人が主催しているもの
3．民間のスポーツジム等が主催しているもの
4．その他（具体的に：　　）

問12　かかりつけ医の有無についてお伺いします。あなたは、身近に体調や健康について相談できる「かかりつけ医」がいますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．いる
２．いない
３．わからない

※問12で２とお答えの方にお伺いします。

補問12－１　「かかりつけ医」がいたらいいと思いますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．いいと思う
２．いいと思わない
３．わからない

問13　あなたは「男は仕事、女は家庭」というような男女の役割を固定的に考えること（性別役割分担意識）について、どう思いますか。（自分の考えに近い番号に１つ○をつけて下さい）

１．賛同である
２．どちらかといえば賛同である
３．どちらともいえない
４．どちらかといえば反対である
５．反対である
６．わからない

問14　あなたの家庭では、「節電」を実践していますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．実践している　　２．一部実践している
３．実践していない　　４．わからない

問15　あなたは、町内で実施した平成30年総合防災訓練（８月最終日曜日）に参加しましたか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．地域で行う訓練に参加した
２．地域以外（事業所など）の訓練に参加した
３．参加していない

※問15で３とお答えの方にお伺いします。

補問15－１　防災訓練に参加していない理由をお聞かせください。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．仕事　　２．外出・旅行
３．町外で実施した防災訓練に参加した　　４．防災訓練に興味が無い
５．防災訓練の日を知らなかった　　６．防災訓練の情報がなかった
７．その他（　　）

問16　あなたがお住まいの住宅では、住宅用火災警報器の設置はお済みですか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．必要な場所すべてに設置している
２．一部に設置している
３．設置していない

※問16で１または２とお答えの方にお伺いします。

補問16－１　この半年以内に住宅用火災警報器の作動確認を行いましたか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．行った　　２．行っていない　　３．わからない

※補問16－１で１とお答えの方にお伺いします。

補問16－２　住宅用火災警報器の作動確認を実施した際の結果はどうでしたか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．すべて異常なし
２．電池切れ・故障したものがあった
３．わからない

問17　あなたの家庭では、非常持ち出し用を含めて、家族の何日分の食料や飲料水を備蓄していますか。（それぞれの項目について、該当する番号に１つ○をつけて下さい）

質問項目	7日分以上を備蓄している	3～6日分を備蓄している	1～2日分を備蓄している	備蓄していない
１．「食料」の備蓄状況	1	2	3	4
２．「飲料水」の備蓄状況	1	2	3	4

問18　ご自宅では、大きな地震が発生した場合に、家具などの転倒の心配がありますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．心配していない
２．心配している
３．わからない

問19　ご自宅の家具などの固定をしていますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．全て固定している（固定する必要がある家具がない）
２．一部固定している
３．固定していない
４．わからない

※問19で２または３とお答えの方にお伺いします。

補問19－１　固定していない部分のある主な理由は何ですか。
（該当する番号に２つ以内で○をつけて下さい）

１．固定する必要性を感じないため
２．固定の仕方がわからないため
３．費用をかけたくないため
４．家具や壁などに穴や傷をつけたくないため
５．面倒なため
６．借家の大家、管理会社の許可が必要なため
７．その他（具体的に：　　）

問20　あなたは、お住まいの地域のハザードマップを見たことがありますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．見たことがある
２．見たことがない

問21　あなたは、お住まいの地域における広域避難所、救護所、福祉避難所の場所を知っていますか。（該当する番号すべてに○をつけて下さい）

１．広域避難所がどこかを知っている
２．救護所がどこかを知っている
３．福祉避難所がどこかを知っている
４．上記について全て知らない

問22　町では「生涯学習」に関する取組を推進していますが、今後学びたい、または今後も学び続けたいことは何ですか。（該当する番号に３つ以内で○をつけて下さい）

１．健康・スポーツ（各種スポーツ、ジョギングなど）
２．文化・芸術等（伝統工芸・音楽・美術・華道・書道など）
３．実用的な技能（料理、育児、介護など）
４．語学（外国語検定など）
５．文学、歴史、自然科学等に関する知識
６．ボランティア活動等の地域活動に活用できる知識・技能
７．その他（具体的に：　　）

問23　あなたは、ボランティア活動に参加していますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．現在、活動に参加している
２．過去に参加したことはあるが、現在はしていない
３．参加したことはない

問24　今後、ボランティア活動で参加してみようと思うものがありますか。
（該当する番号に３つ以内で○をつけて下さい）

１．災害救援活動
２．福祉会館やいずみの郷などで行う福祉活動
３．子どもの健全育成活動
４．清掃などの環境保全活動
５．生涯学習の推進活動
６．消費者保護活動
７．国際協力活動
８．人権の擁護又は平和推進活動
９．男女共同参画社会の形成の促進活動
10．その他（具体的に：　　）
11．特にない

問25　あなたは、町政のあり方やまちづくりを考える場へ参加したいと思いますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．参加したい
２．参加したくない
３．わからない

問26　町が役場内に設置している「総合相談センター」では、総合相談員が住民の日常生活での悩みごとや町行政に対する相談や消費生活相談などを行っています。あなたは、「総合相談センター」があることをご存知ですか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．知っている
２．知らない

問27　町では、各種情報媒体を利用して情報の提供を行っていますが、日常、あなたが町の情報を入手するために利用されているものはどれですか。（該当する番号すべてに○をつけて下さい）

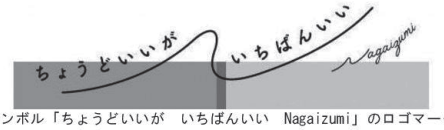
１．広報ながいずみ
２．議会ながいずみ
３．長泉町ホームページ
４．長泉町フェイスブック
５．長泉町インスタグラム
６．長泉町以外のホームページ、フェイスブックなど
７．You Tube（インターネット動画）
８．ＣＡＴＶ（有線テレビ）
９．ＦＭラジオ
10．ＡＭラジオ
11．掲示板、ポスター、パンフレット、チラシ
12．町への問い合わせ（電話、窓口来庁など）
13．フリーペーパー
14．新聞記事
15．テレビ番組・報道
16．回覧物
17．同報無線
18．家族、友人、知人との会話から
19．その他（具体的に：　　）
20．入手していない

問28　町では、広報ながいずみを綴る「ながいずみ情報ファイル」を毎年作成し、自治会を通じて各戸に配布していますが、前年の調査結果（使っていない59.7%、使っている39.1%）を受け、今後の作成方法についてご意見を伺います。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．毎年作成し、自治会を通じて各戸に配布する
２．毎年作成するが、自治会による各戸配布は行わず役場など各公共施設で希望者のみに配布する
３．毎年は作成しない
（作成例　年度を空欄にするなどして、複数年使用できるようファイルを作成するなど）
４．作成しない

問29　あなたは、町のブランドメッセージ「ちょうどいいが　いちばんいい　Nagaizumi」をご存知ですか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．知っている
２．知らない



長泉町ブランドシンボル「ちょうどいいが　いちばんいい　Nagaizumi」のロゴマーク

Ⅵ　あなたの身近な緑についてお伺いします

問30　公園や川沿いの遊歩道など、町内の緑や水辺に親しめる場所を利用していますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．よく利用している
２．ときどき利用している
３．あまり利用していない
４．まったく利用していない

問31　ご自宅で、庭や菜園づくり、ベランダや室内での植物の栽培、生垣など、植物に親しんでいますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．親しんでいる
２．親しんでいない

問32　公園や河川敷、道路などで、花植えなどを行う活動へ参加していますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．よく参加している
２．ときどき参加している
３．あまり参加していない
４．まったく参加していない

問33　町の拠点、市街地が「緑豊か」だと思いますか。
（それぞれの項目について、該当する番号に１つ○をつけて下さい）

質問項目	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない
１．森林や川、農地、公園、街路樹や花壇、庭や店先の花や緑など、あなたの住まいのまわりが「緑豊か」だと思いますか。	1	2	3	4	5
２．下土狩駅周辺が「緑豊か」だと思いますか。	1	2	3	4	5
３．長泉なめり駅周辺が「緑豊か」だと思いますか。	1	2	3	4	5
４．池田柊線沿道（フレスポ長泉南側道路）が「緑豊か」だと思いますか。	1	2	3	4	5

Ⅶ　上水道についてお伺いします

問34　あなたは、普段、飲み水として主に何を利用していますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．水道水（浄水器等を通した水道水を含む）
２．市販のペットボトルの水
３．宅配のタンク式の水
４．その他（　　）

※問34で１とお答えの方にお伺いします。

補問34－１　水道水の利用の仕方として、当てはまるものはどれですか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．そのまま飲んでいる
２．浄水器等を使い飲んでいる
３．水道水を一度沸かしてから飲んでいる
４．その他（　　）

Ⅷ　下水道についてお伺いします

問35　あなたのお住まいの地域は、下水道が使用できる地域ですか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．下水道が使用できる地域である
２．下水道が使用できる地域でない
３．分からない

※問35で１とお答えの方にお伺いします。

補問35－１　既に下水道に接続をしていますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．下水道に接続している
２．下水道に接続していない
３．下水道に接続する準備をしている

※補問35－１で１とお答えの方にお伺いします。

補問35－２　下水道接続で改善したと思うことには何がありますか。
（該当する番号すべてに○をつけて下さい）

１．河川がきれいになった
２．側溝の臭いがしなくなった
３．浄化槽管理のわずらわしさがなくなった
４．その他（　　）

Ⅸ　町議会についてお伺いします

町議会では、年４回定例議会を行い（これ以外に臨時で行う場合もあり。）、町長から提案される予算、決算、条例の制定・改廃、町が締結する契約などを審議したり、町が実施している事業などへの提言を行ったりしています。

問36　議会の本会議（全議員が集まり議場で行う会議）は自由に傍聴ができます。議会を傍聴したことはありますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．ある
２．ない

※問36で２とお答えの方にお伺いします。

補問36－１　その理由は何ですか。（該当する番号すべてに○をつけて下さい）

１．町議会がいつ行われているか知らない
２．時間がなく傍聴はできない
３．興味がない
４．その他（　　）

問37　本会議はインターネットで生配信しているほか、過去の録画映像をご覧いただくこともできます。インターネットでの映像配信をご覧になったことはありますか。
（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．ある
２．ない
３．存在を知らない
４．その他（　　）

問38　議会の審議内容などは議会ながいずみにて概要をお知らせしています。議会ながいずみを読んだことはありますか。（該当する番号に１つ○をつけて下さい）

１．ある　　２．ない

問39　町議会に期待することは何ですか。ご自由にお書き下さい。

＜自由意見欄＞

最後に町に対するご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書き下さい。

以上で質問は終わりです。ご協力いただきましてありがとうございました。
誠に恐縮ですが、**８月19日（月）**までに、返信用封筒に入れて返送くださるようお願いいたします。

令和元年度　長泉町住民意識調査報告書

長泉町　行政課　行政情報チーム

〒411-8668　長泉町中土狩828番地
TEL：055-989-5500
FAX：055-986-5905
E-mail：koho@town.nagaizumi.lg.jp